

市勢要覽

昭和 28 年(1953 年)版

広島市

2/2

7・4	広島市長杯近県高校男子バスケ	11・14	第1回中学校総合体育大会
7・5	ソフトボール大会	11・15	
7・7	全日本バレーボール総合選手権大会広島市予選	12・6	第14回市民ハイキング
7・12	第10回市民ハイキング	7・7	市内一周継走大会
7・18/19	第8回広島市職域体育大会	12・13	森沢旗争奪市内一周継走大会
7・22	ラジオ体操講習会		

施設利用状況

市営中央テニスコート			市営中央バレーコート		
総数	一般	学生・生徒	総数	一般	学生・生徒
14,230人	6,442人	7,788人	13,767人	6,433人	7,334人

- 備考 1. 各種大会参加者及び練習使用者の合計である。
2. バレーコートは4月～12月までの利用者数である。

第8回国民体育大会（開催地四国地方）

選手出場人員

種目	(内)		種目	(内)		種目	(内)	
	県総数	広島市		県総数	広島市		県総数	広島市
総数	573人	299人	ソフトボール	25人	13人	柔道	12人	4人
バレーボール	54	28	軟式庭球	25	11	弓道	11	3
ボート	45	21	ボクシング	22	—	フェツシング	9	—
陸上	39	11	ラグビー	21	21	山岳	8	8
体操	31	4	レスリング	19	16	射撃	7	5
軟式野球	30	15	バドミントン	18	1	ウエイトリフティング	7	—
ホッケー	30	30	自転車	18	13	しな	5	1
サッカー	28	28	相撲	15	2	馬術	11	5
卓球	28	18	ハンドボール	14	1			
バスケットボール	28	28	庭球	13	12			

大会の成績

順位	種目	陸上	ホッケー	サッカー	卓球	ソフトボール	軟式庭球	弓道
第1位		—	山陽高校	修道高校	女子高校	安田女子高校	—	一般女子
2	800米	—	—	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—	—	—	—

備考 4位以下は省略

第13編 社会福祉

障がい児福祉



広島市立産院



市立身体障害者授産場（江波町）



児童福祉施設新生学園

保
育
園



保
育
園
遊
戲



動
物
と
子
供
達



食
屋

原爆被害者治療



手
術
驗



皮
膚
移
植
手
術
前

同
手
術
後

概 説

社会福祉事業法に基づいて社会福祉の増進を図るために、こんにちいわゆる福祉3法（生活保護法・児童福祉法・身体障害者福祉法）或いは戦傷病者戦没者遺族等援護法等これら一連の法律によつて行われる社会福祉事業は、戦後の日本特に都市においては緊急かつ最重要課題の一つである。

戦後8年国民生活は全般的にみてやや安定したようであるが、今なお一部には多くの恵まれない人達が、日々貧困におびえながら生活している有様である。このような薄幸な人々を保護し更には自立更生の促進に努めるのが本事業の使命であるが、窮迫せるこんにちの国家・地方財政の状況からして各関係当局の努力にもかかわらず、その前途には幾多の難問題が山積し早期解決は望めない。

しかし本市の社会福祉施設はようやくその体系が整備され、その運営もまた一段と充実した感が深い。また社会福祉事務所の整備拡充と、民生委員更には各地区に生まれた社会福祉協議会の活動等と相まつて今後の発展が注目される。

児童福祉事業

保 育 施 設

(社会課調)

施 設 名	所 在 地	保 母 数	託 児 数		
			総 数	男	女
総 数		人 176	人 4,003	人 2,066	人 1,937
市 営 計		74	1,963	1,073	950
青 崎 保 育 園	仁保町洋	3	79	36	43
仁 保 〃	〃 淵崎	3	95	45	50
楠 那 〃	〃 楠那	3	86	41	45
大 河 〃	〃 大河	4	115	54	61
元 宇 品 〃	元宇品町	2	62	33	29
南 観 音 〃	南観音町2丁目	3	73	41	32
基 町 〃	基町	5	168	81	87
己 斐 〃	己斐上町	7	198	97	101
草 津 〃	草津東町	10	220	129	91
江 波 〃	江波南町	4	119	65	54
神 崎 〃	河原町	3	80	41	39
古 田 〃	古田町高須	3	60	32	28
竹 屋 〃	竹屋町	3	83	50	33



引揚船(興安丸)
広島港から出帆



五月の赤十字募金



母子相談(広島市未亡人会の活動)

三篠保育園	楠木町3丁目	3	56	29	27
こぼと	宇品町3丁目	3	90	40	50
東隣保館	尾長町	3	77	34	43
西	福島町	3	87	46	41
庚午	庚午北町2丁目	3	71	31	40
わかくさ	若草町	2	31	18	13
南三篠	南三篠町	2	58	32	26
千田	千田町2丁目	2	55	38	17
民 営 計		102	2,040	1,053	987
宇品学園	宇品町7丁目	8	190	107	83
曙光園	曙町1丁目	4	62	27	35
小百合園	楠木町4丁目	7	185	97	88
天使園	〃	5	48	26	22
ひかり保育園	西天満町	4	77	39	38
みなみ愛児園	皆実町3丁目	4	80	41	39
知恩保育園	猫屋町	6	164	79	85
若葉	東観音町2丁目	5	128	51	77
ときは	牛田町	4	80	46	34
まこと	皆実町2丁目	5	104	54	50
三立山	牛田町	4	77	46	31
法輪	南観音町	7	106	46	60
真和	寺町	5	92	45	47
和光園 保育所	基町	4	84	44	40
さくら 保育園	草津東町	4	50	22	28
微妙	東雲町	5	76	48	28
ゆりかご	大手町7丁目	7	136	75	61
京橋	比治山町	3	50	25	25
報恩	舟入幸町	3	60	27	33
二葉	二葉の里	2	53	27	26
中島	木挽町	3	72	49	23
比治山	比治山本町	3	66	32	34

備考 1. 上記受託児童数の中には、被保護世帯の児童 292名、失対労務者世帯児童39名が含まれている。

2. 民営施設には、別に自由契約児童149名がいる。

養護施設

施設名	所在地	経営者	職員数	収容者					措置原因別					
				総数	5才未満	5才9才	10才~14	15~19	総数	原爆	震災	一般	その他	(内)混児血
総数			89	530	75	125	203	127	530	110	99	122	199	9
広島市戦災 児育成所	佐伯部 五日市町	市	12	55	1	5	30	19	55	41	1	3	10	—
似島学園	似島町	民	28	197	2	54	84	57	197	42	57	26	72	1
新生	基町	〃	10	89	11	14	36	28	89	11	24	36	18	1
広島修道院	若草町	〃	21	104	40	24	23	17	104	11	16	33	44	4
光の園	基町	〃	18	85	21	28	30	6	85	5	1	24	55	3

児童相談施設

施設名	所在地	経営者	職員数	相談・通告取扱件数									
				保護者からの相談			その他からの通告						
総数	教育	養護	教護	総数	触少年	家出児	監不適児	浮浪児	その他				
広島県立中央児童相談所	基町	県	1	481	245	167	69	647	221	213	117	50	46

一時保護施設

施設名	所在地	経営者	職員数	収容者数		
				総数	男	女
広島県立中央児童相談所 附設一時保護所	基町	県	1	91	62	29

精神薄弱・身体不自由児施設

施設区分	施設名	所在地	経営者	職員数	収容者					措置原因別					
					総数	5才未満	5才9才	10才~14	15~19	総数	原爆	震災	一般	その他	(内)混児血
精神薄弱	六方学園	古田町 高須	民	20	96	1	13	55	28	96	15	3	11	67	1
身体不自由	わかくさ園	尾長町	県	25	69	4	30	26	9	—	—	—	—	—	

母子寮・母子住宅

施設名	所在地	経営者	職員数	収容者					
				収容者総数	措置原因別				
				世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯
総数			19	478	746	23	37	41	45
広島市母子寮	基町	市	5	94	30	3	3	9	15
和光園	〃	民	5	190	57	9	20	13	15
さくら	草津東町	〃	7	85	25	7	6	4	8
大芝住宅	大芝町	市	1	29	11	1	1	6	3
江波母子	江波町	民	1	80	23	3	7	9	4

母子福祉資金貸付状況 (昭和28年度)

種目	件数	金額	種目	件数	金額
総数	785	3,792,800	支度資金	5	75,000
修学資金	98	958,800	技能習得	2	46,500
生業	43	1,820,000	生活	2	46,500
事業継続	29	750,000	修業	6	96,000

助産施設

施設名	所在地	経営者	職員数				利用状況		
			総数	医師	薬剤師	看護婦	総数	入院患者	延外患者
広島市産院	宇品町3丁目	市	10	1	1	8	7,907	4,730	3,177

乳児施設

施設名	所在地	経営者	職員数	収容者												
				総数	2才未満	総数	捨児	家庭の困窮	父の受刑	母の死亡	父の離婚	母の労働	家庭の核	その他	その他	
総数			22	37	14	23	37	5	1	1	7	7	2	4	4	6
広島市乳児院	宇品町3丁目	市	15	26	13	13	26	1	1	1	6	6	1	4	3	3
広島修道院 附属乳児院	若草町	民	7	11	1	10	11	4	-	-	1	1	1	-	1	3

里親に委託されている年齢別児童

性別	年齢別	総数	3才未満	3才~6才	6~12	12~15	15~18
			人	人	人	人	人
総数		53	2	-	73	76	22
男		30	1	-	6	10	13
女		23	1	-	7	6	9

精神養子

アメリカのノーマン・カズンズ氏(ニューヨーク市在住、土曜評論社主筆)の提唱あつた旋にかかるアメリカの篤志家と戦災孤児との精神養子縁組は昭和25年1月から始められ、こんにちでは国内でも「広島子供を守る会」が結成され、精神養子縁組に協力している。施設ごとの現況は次の通りである。

施設名	28年末現在収容者	25年から現在までに縁組された養子	現在までに送金を受けた資金の配分状況		
			総額	一般養育資金	特別指定資金
総数	625	409	ドル 27,950.50 (10,062,780円)	ドル 24,958.00 (8,984,880円)	ドル 2,992.50 (1,077,300円)
光の園	85	17	1,345.00	1,161.00	184.00
新生学園	89	62	3,574.50	3,502.50	72.00
広島市 戦災児育成所	56	72	9,177.75	6,789.75	2,388.00
広島修道院	105	44	3,353.00	3,343.00	10.00
似島学園	194	142	8,588.00	8,381.00	207.00
六方学園	96	3	115.00	115.00	-
ピースセンター 一般原爆孤児	-	69	1,797.25	1,665.75	131.50

生活保護事業

保護施設(養老施設)

施設名	所在地	経営者	職員数	収容者						
				総数	60才未満	60~64	65~69	70~74	75~79	80以上
喜生園	佐伯郡観音村	市	5	88	2	7	13	23	28	15

備考 この施設は在米同胞の寄附金を基にして、昭和26年4月当地にモデル施設として建設された。総面積約3,600坪

医療保護施設

施設名	所在地	経営者	職員数	収容者					
				総数	16才未満	17~30	31~50	51~70	71以上
総数			102	553	54	83	193	186	37
養護院	宇品町/3丁目	市	14	33	—	—	3	13	17
比治山病院	東雲町	民	7	29	—	2	12	10	5
同愛会病院	水主町	〃	29	97	45	25	18	7	2
静養院	安芸郡府中町	〃	52	394	9	56	160	156	13

行旅病人・死亡者及び困窮者

病人		死亡者							困窮者						
昨の年より	新入救護員	処置				現収容者	総数	変死	溺死	い死	病死	凍死	その他	人員	一時扶助支給額
		総数	解放	死亡	引渡										
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	円	
33	61	55	42	10	3	39	25	12	6	1	1	1	4	778, 88,130	

身体障害者更生事業

身体障害者更生施設

施設名	所在地	経営者	職員数	収容者				
				総数	肢体不自由者	ろあ	う者	盲人
総数			18	17	12	5	—	
広島市身体障害者更生授産所	福島町	市	3	17	12	5	—	
広島県立身体障害者更生相談所	出汐町	県	7	—	—	—	—	
広島県立身体障害者更生指導所	旭町	〃	7	—	—	—	—	
身体障害者更生寮	宇品町	〃	1	—	—	—	—	

援護取扱件数

区分	総数	肢体障害	視力障害	聴力障害	言語障害
手帳交付数	1,508	824	414	259	11
運賃割引証交付数	2,421	1,258	649	491	23
（総数）	1,619	584	477	556	2
更生生活指導	394	262	54	78	—
職業	146	105	11	30	—
生租税問題	66	33	10	22	1
（補装具等給付）	201	89	75	36	1
指施設入所	17	13	1	3	—
専売品販売	5	4	1	—	—
導売店設置	—	—	—	—	—
（その他）	790	78	325	387	—

備考 1. 補装具等の給付に要した経費総額は704,918円。
 2. 戦傷病者に対しては、別に補装具等 79件511,283円更生医療器具 4件を給付した。

隣保事業

隣保施設

施設名	所在地	経営者	職員数	利用状況						
				利用延人員	トラホーム治療	簡易治療その他	青少年指導集会	図書閲覧	生活相談	
総数			8	144,834	19,155	2,066	37,588	19,875	1,919	
東隣保館	尾道町	市	4	65,096	5,864	1,860	13,053	7,579	231	
西	福島町	〃	4	79,738	13,291	206	24,535	12,296	1,688	
利用状況										
音楽会	映画会	貯蓄奨励	町内各種団体集会	保育事業	成人教育講座	婦人会	早起ラジオ体操			
15,966	471	10,737	19,227	2,642	2,385	12,809				
7,205	289	5,788	18,845	2,392	1,990	—				
8,761	182	4,949	376	250	395	12,809				

診療事業

診療施設

施設名	所在地	経営者	職員	治療状況						
				総数	内科	外科	小児科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科
総数			人 6	人 14,990	人 9,782	人 976	人 2,998	人 718	人 326	人 190
東診療所	尾長町	市	3	6,091	4,349	196	840	387	282	37
西	福島町	市	3	8,899	5,433	780	2,158	331	44	153

経済保護事業

公益質屋

施設名	所在地	経営者	職員	貸付		弁済	
				口数	金額	口数	金額
総数			人 2	口 6,427	円 6,568,900	口 5,290	円 6,112,000
東公益質屋	稲荷町	市	1	2,633	3,549,400	2,059	3,460,600
西	天満町	市	1	3,794	3,019,500	3,231	2,651,400

授産施設

施設名	所在地	経営者	事業内容	収容員
総数				人 390
鯉城会授産場	仁保町淵崎	民	自動車修理・縫製	95
宇品	宇品町	市	縫靴・クリーニング・理髪	50
江波製菓	江波町	市	菓子・佃煮製造	60
江波鉄工	江波町	市	ボルト・ナット加工	45
千田	千田町	市	縫製	30
広島ろうあ木工	宇品町	市	木工・家具	50
広島	大須賀町	市	縫製	60

遺族援護事業

遺族年金・弔慰金の交付状況

区	分	請求	交付	不適格により却下	未裁定
軍人・軍属の公務による死没	遺族年金	件 4,849	件 3,766	件 178	件 895
	弔慰金	5,906	5,096	220	590
国民義勇隊員・学徒の疎開作業中原爆による死没	〃	5,218	3,657	32	1,529
学徒・徴用工・女子挺身隊員の公務による死没	〃	423	—	—	423

引揚者

中共地区引揚者

引揚者総数				引揚者住宅の建設状況	
世帯	人員	大人	小人	戸数	備要
世帯 67	人員 143	大人 98	小人 45	戸数 20	木造平屋建(内)8戸は昭.29.3に完成予定

備考 昭和28年中に中共地区から帰国した者で広島市内に定着する者。

募金

募金成績(昭和27年度)

種類	目標額	募金額	百分比
共同募金	円 5,079,150	円 5,030,905	99%
日赤	2,437,446	1,683,804	69%

共同募金配分状況(共同募金会広島支会)

施設名	配分額	施設名	配分額
総額	円 1,186,128	小百合園	円 41,300
保育施設計	557,000	天使園	12,950
宇品学園	68,250	ひかり保育園	21,350
曙光園	24,500	みなみ愛児園	38,250

智恩保育園	51,100	報恩保育園	17,500
ときほ	34,650	社会事業団体計	629,128
まこと	32,200	尾長協和会	13,000
若葉	34,650	帰還促進連盟	30,000
三立山	20,650	未亡人連合会	30,000
比治山	21,000	社会福祉協議会	300,000
法輪	29,400	保護司会	43,000
真和	32,550	福島一致協会	17,000
微妙	33,100	身体障害者福祉協会	26,000
京橋	17,150	民生委員連盟	124,128
二葉	16,450	遺族更生	26,000
矢賀農繁託児所	10,000	保育	20,000

原爆障害者治療対策

原爆障害者

本市が悲惨な原爆の洗礼を受けて、尊い生命を絶つた多数の即死者を出した後、身体に影響を強く受けた人々の85%は3ヵ月以内にその後を追つたと言われる。然るに、被爆以来9年を経過したこんにちにおいて、当時身体に受けた影響が比較的軽かつたと思われた人や健康をかなり回復したと思われた人達の上にも、大きな不安と死に対する恐怖が覆いかぶさっている。

被爆後1年間は火傷者・負傷者共に極めて緩慢ではあるが創は治療に向い、放射能の影響による脱毛・出血・その他急性放射線症候部を示した人々も次第に活力を取り戻し、大部分の者は一見健康人と区別出来ない程よくなつて、生存の喜びを味わつたのであつた。

ところが、その後傷の癒つた人々は自分の創こんがひどく隆起しこれを切りとつても再び同様な醜いケロイドが発生しているのに驚き、かつ当惑させられた。また、急性放射線障害から立ち直つた者の中には徐々に健康が衰えはじめているのに気づき、中には死亡する者も相当出てくるようになり、医師もまたその人々の病氣に対する抵抗力が弱まつてきているのに気づいた。そしてこの傾向は被爆後3年目頃には明瞭な形を取りはじめ悪性の貧血・白血病・その他の血液疾患が續々と現われ、回復の喜びに浸つていた人々の間に大きな不安を呼び起し、更にこの頃眼科的には水晶体のこん濁による「原爆白内障」が目目されるようになった。従つて、それらのために多くの人々は肉体的に或いは精神的に圧迫を受けひどく苦しめられ、遂には社会の片隅にかくれるが如くにして生きるようになった。とりわけ一層哀れを止め世間の人々から同情を寄せられているのは、被爆時女学生と

して市街地の建物疎開作業に動員されていた当時4・5才の可れんな多数の少女達であろう。年々成長するにつれて自分の醜形に人知れず悲嘆の涙を流し、人生への希望を失ない社会の表面から逃避し、或るいは宗教団体に加わり信仰によつて苦痛からの解放を求める者が多くなつた。

これに対する医療対策は、世界最初の経験であるだけに種々最善の治療を試みるも、結果は思うに任せずただ対症療法に終始せざるを得なかつた。一方、国立予防研究所とアメリカのA・B・C・C（原爆障害調査委員会）合同による機関が昭和24年本市（比治山公園）に設けられたが、その本来の目的上治療は一切行われずただ障害者のたどる運命が見守られたに過ぎなかつた。

昭和29年8月31日現在により原爆障害者実態調査を行つた結果、市内において完全に調査出来た者は約3千人に及んでいる。

原爆障害者実態調査

（原爆障害者治療対策協議会調）

性別	区分	完全調査人員	治療希望者数	治療科別			
				内科	外科	眼科	その他
総数		2,934	1,387	747	684	120	48
男		1,319	588	291	307	46	21
女		1,615	799	450	377	74	27

原爆障害者治療対策協議会（略称=原対協）

昭和27年春頃、前述の如く障害者の中で最も悲惨と言われる「原爆乙女」の団体を率いる広島市流川教会の谷本牧師は、障害者を精神的・肉体的苦痛から救うために各界を東奔西走して治療費のきよ金を募り、これによつて東京・大阪の病院で治療を受けさせ世間の注視を集めた。

この頃復興期に入つた本市の外科医会は、これに強く刺戟され医療費全額は医師の負担においてでも地元医師としての義務を果すべく結束して立ち上り、市当局と協力することを約しこれが「原対協」の発足の因となつた。

他方、広島県医学界も原爆症に関する研究を活潑に行い原爆症治療の態勢もようやく軌道に乗つてきた。翌28年1月には市・県及び市医師会役員よりなる原対協発足の準備委員会が擧かれ、この機構を「広島市原爆症治療対策協議会」と定め、会長（広島市長）副会長（広島県医師会長）を始め幹事20名を選任して本格的活動に入つた。この間3回にわたり市民病院並びに市役所において患者の診察会が開かれ、取りあへず75名（外科的原爆症患者）が治療対象に選ばれ3月に治療を開始した。

なお、原対協は発足早々社会の認識を一層深めるために報道陣の絶大なる協力を得て啓蒙宣伝に努め、続く2月末には市役所において合同診察会を行い、取りあへず先に行われた治療対象患者の中から再選択された16名の患者について一斉に治療を開始した。この頃

より世論もこの事に注視するようになり8月には中央募金会・NHK・郵政省の好意により全国たすけ合い運動が展開され、これに併行して原対協の啓蒙宣伝もともに活潑となつた。たすけ合い運動の結果は全国より5百余万円の浄財が寄せられ一応財政的裏付を確立することができたが、しかし、原爆症の治療は単にありふれた治療とは違い別記の治療を希望者に一応施すだけで約6千万円を要する計算となり前途が憂慮されている。

原爆症治療の現況

昭和29年9月10日現在の治療状況は次の通りである。

科 目	治療承認者数	一応治療を終了した者	治療中の者	左記のうち入院している者	未治療者
総 数	630	90	222	24	378
内 科	279	21	160	12	98
外 科	289	56	49	11	184
眼 科	61	13	13	1	35
そ の 他	1	—	—	—	1

また、現在までに支払われた治療費は総額3百14万2千百円で内訳は次の通りである。

(昭和29年6月15日迄支払額)

外科 1,138,512円
内科 1,861,945円
眼科 141,643円

生活保護法による保護状況

保 護 人 員

昭和26年以降における保護人員(月間延人員)の推移を眺めると、同年11月(14,844人)を頂点として本年3月までは、その間に多少の起伏はあつたが減少傾向を示していた。しかし4月よりは再び漸増気配にあり、昭和28年12月現在の保護延人員は12,290人で、これは最高を示した時(昭和26年11月)に比べると17%強の減少である。また年間延保護人員を27年に比較すると11,970人(7.4%)の減少を示した。

次に年間における扶助別人員をみると、生活扶助70,537人・住宅扶助30,827人・教育扶助23,809人・医療扶助23,564人………の順となつている。

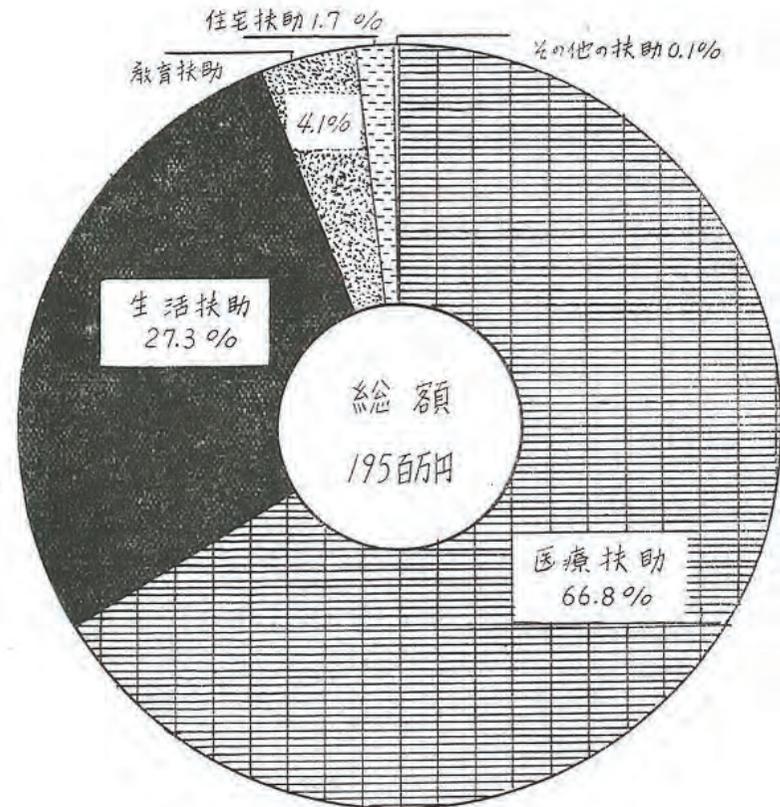
扶 助 費

扶助費は昭和26年1億1千7百万円、27年1億6千9百万円、28年1億9千5百万円と年々予算総額(一般会計)の10%内外を占めており、この内の大半は医療扶助費である。

本年中も扶助総額の66.8%を占め、次いで生活扶助の27.3%で両扶助合わせると全体の94%に当る。

次に本年中における扶助別による1人当りの1ヵ月平均扶助額は、医療扶助5,530円・生活扶助755円・教育扶助333円・住宅扶助105円・その他の扶助3,527円となつており、医療扶助が極めて大きな比重を持つている。

扶 助 費 の 内 訳



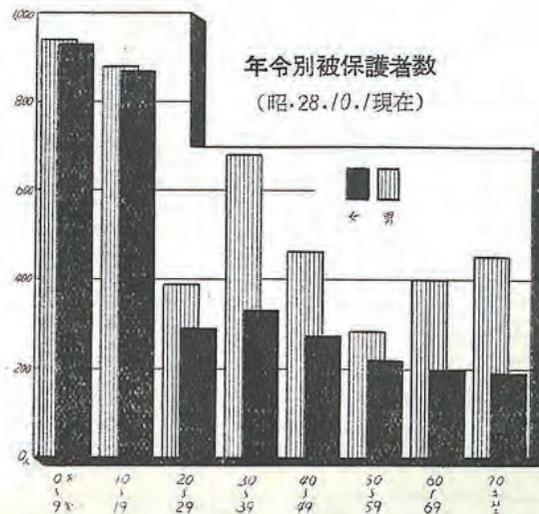
月別保護人員並びに扶助費

年 月 別	総 数	医療扶助	生活扶助	教育扶助	住宅扶助	葬祭扶助	出産扶助	生業扶助
昭和 26年	72,672	18,784	27,332	15,195	11,099	155	74	33
1 世帯	155,214	19,344	76,073	30,144	29,391	155	74	33
2 人	117,226,926	57,888,090	42,689,091	5,153,462	1,005,238	292,579	99,466	99,000
3 扶助額(円)	75,198	17,123	29,959	13,911	14,077	84	32	12
1	160,839	18,050	80,799	28,553	33,309	84	32	12
2	168,596,901	106,361,354	51,123,353	8,245,741	2,375,799	380,525	64,054	46,075
3	73,099	21,761	27,847	12,503	10,856	93	28	11
1	148,869	23,564	70,537	23,809	30,827	93	28	11
2	195,216,806	130,330,864	53,244,008	7,931,176	3,245,157	363,966	61,450	40,185
3	5,868	1,621	2,180	1,048	1,006	9	1	3
1	12,502	1,706	6,054	2,108	2,621	9	1	3
2	17,716,207	12,875,357	4,193,981	388,772	223,436	22,661	—	12,000
3	5,879	1,706	2,121	1,027	997	24	2	2
1	12,225	1,797	5,763	2,065	2,572	24	2	2
2	11,054,274	6,206,652	4,016,504	680,110	142,423	2,585	6,000	—
3	5,811	1,726	2,081	1,014	981	3	5	1
1	11,845	1,818	5,556	1,971	2,491	3	5	1
2	12,640,078	11,816,052	457,327	333,693	1,442	19,533	10,500	4,415
3	5,617	1,541	2,276	992	803	1	3	1
1	11,893	1,715	5,842	1,944	2,387	1	3	1
2	20,293,931	14,313,665	4,297,399	1,416,722	218,245	39,900	4,000	4,000
3								

5	1	5,770	1,600	2,342	1,024	795	5	2	2
2	12,066	1,806	5,903	1,940	1,940	2,408	5	2	2
3	15,043,778	4,662,279	9,084,360	771,272	453,256	60,201	5,410	7,000	
1	5,921	1,676	2,378	1,044	810	10	2	1	
2	11,900	1,859	5,786	1,885	2,357	10	2	1	
3	17,779,698	12,688,028	4,191,649	663,693	192,213	34,845	7,500	1,770	
1	6,215	1,917	2,374	1,024	886	10	4	—	
2	12,641	2,072	5,969	1,954	2,632	10	4	—	
3	17,128,285	11,547,304	4,186,624	1,035,993	321,264	37,100	—	—	
1	6,186	1,943	2,343	1,033	867	—	—	—	
2	12,533	2,033	5,792	2,192	2,515	—	—	—	
3	23,816,464	18,515,001	4,400,280	539,350	325,533	30,300	6,000	—	
1	6,409	1,981	2,416	1,095	904	11	2	—	
2	12,669	2,176	5,913	1,948	2,619	11	2	—	
3	10,512,066	5,099,011	4,713,936	308,851	331,927	42,341	12,000	4,000	
1	6,441	2,004	2,436	1,063	929	6	2	1	
2	12,744	2,188	5,946	1,922	2,679	6	2	1	
3	14,833,489	9,649,910	4,257,970	554,199	337,640	24,000	2,770	7,000	
1	6,451	2,005	2,441	1,064	931	8	2	—	
2	12,861	2,222	5,965	1,929	2,735	8	2	—	
3	18,450,979	12,745,126	4,745,040	611,685	343,958	2,400	2,770	—	
1	6,531	2,041	2,459	1,075	947	6	3	—	
2	12,990	2,172	6,048	1,951	2,810	6	3	—	
3	15,947,557	10,212,479	4,698,938	626,836	356,704	48,100	4,500	—	

年齢別被保護者数(昭・28.10./現在)

年齢	総数	男	女	年齢	総数	男	女
総数	7,820	3,374	4,506	13才	201	110	91
0才	77	42	35	14	198	98	100
1	104	62	42	15	161	85	76
2	132	67	65	16	99	45	54
3	179	80	99	17	81	37	44
4	202	107	95	18	94	42	52
5	224	114	110	19	73	38	35
6	228	109	119	20~29	686	294	392
7	224	106	118	30~39	1,021	333	688
8	227	112	115	40~49	738	274	464
9	275	130	145	50~59	505	222	283
10	288	136	152	60~69	599	199	400
11	291	143	148	70以上	645	192	453
12	268	137	131				



全国被保護世帯の世帯主の状態別割合

総数	労働力に属する場合						
	合計	自営業者	被用者		家内労働者	完全失業者	
			常雇	日雇			
100.0	55.7	17.8	8.9	19.3	8.8	1.9	
労働力に属しない場合							
合計	60才以上の の老若	身体障害者	傷病者	乳幼児をかかえた 妻	妊婦	15才未満の 児童	その他
43.3	19.4	2.8	14.7	2.5	0.1	1.8	2.0

備考 生活保護法によるもの

社会福祉協議会

社会福祉の活動を、より効果的に運営するためには、まず事業面においての連絡調整或いは啓蒙普及を図ることが重要であり、この役割を果す機関として生まれたのが社会福祉協議会である。

広島市社会福祉協議会(会長鈴木貫一氏)は、昭和27年3月15日に結成され、またその活動の推進母体として現在市内に25の地区社会福祉協議会が結成され(未結成地区は4地区あるが、いずれも近く結成される運びである)、社会福祉に関する諸問題と取り組んでいづれも強力な動きを見せ今後の活躍が期待される。

主要行事

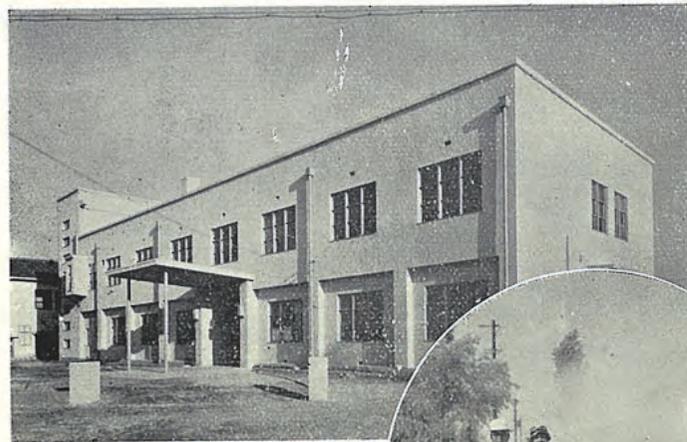
- 1 不遇児童の慰問(児童福祉週間)
- 2 社会事業従事者の研修会
- 3 生活困窮家庭児童の林間学校開設
- 4 巣鴨戦犯者の慰問
- 5 高令者の慰問(としよりの日)
- 6 養老施設・収容施設の慰問(歳末たすけあい運動)
- 7 共同募金運動に対する協力

広島市地区社会福祉協議会結成状況

地 区 名	会 長 名	事 務 所 々 在 地
三篠地区社会福祉協議会	西 川 文 二	市役所三篠出張所
江 波 ヲ ヲ	佐 藤 進	江波町三二〇山科辰司方
観 音 ヲ ヲ	田 頭 新太郎	市役所観音出張所
比治山 ヲ ヲ	波多野 秀 男	〃 比治山 ヲ
段 原 ヲ ヲ	森 下 泉	〃 段 原 ヲ
皆 実 ヲ ヲ	岩 岡 寛	〃 皆 実 ヲ
大 河 ヲ ヲ	桜 井 実	〃 大 河 ヲ
己 斐 ヲ ヲ	升 川 秀 雄	〃 己 斐 ヲ
広 瀬 ヲ ヲ	西 脇 沢 登	〃 十日市 ヲ
草 津 ヲ ヲ	森 沢 雄 三	〃 草 津 ヲ
白 鳥 ヲ ヲ	森 弘 助 治	〃 基 町 ヲ
福南三篠	福 原 岫 次	〃 西隣保館
基 町 ヲ ヲ	角 和 雄	〃 基 町 出張所
尾 長 ヲ ヲ	今 田 庫 吉	市 役 所 尾 長 出 張 所
古 田 ヲ ヲ	前 理 一	〃 草 津 ヲ
荒 神 ヲ ヲ	象 面 軍 藏	〃 段 原 ヲ
鞆 町 ヲ ヲ	宮 地 憲 三	〃 基 町 ヲ
本 川 ヲ ヲ	原 田 清 藏	〃 十 日 市 ヲ
牛 田 ヲ ヲ	任 都 栗 司	〃 牛 田 ヲ
国泰寺 ヲ ヲ	新 田 行 太	小町五五
天中満広	鬼 武 国 男	西天満町五一二
竹 屋 ヲ ヲ	永 井 重 義	富士見町五
仁 保 ヲ ヲ	津 村 数 一	仁保町古城浜
千 田 ヲ ヲ	宮 本 福 松	千田町三丁目
中 島 ヲ ヲ	関 根 龍 雄	木挽町十二番地

第14編 保健衛生

東海地方の発展

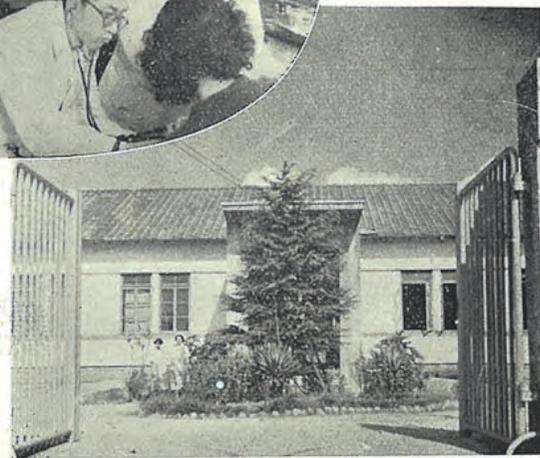


広島東保健所庁舎

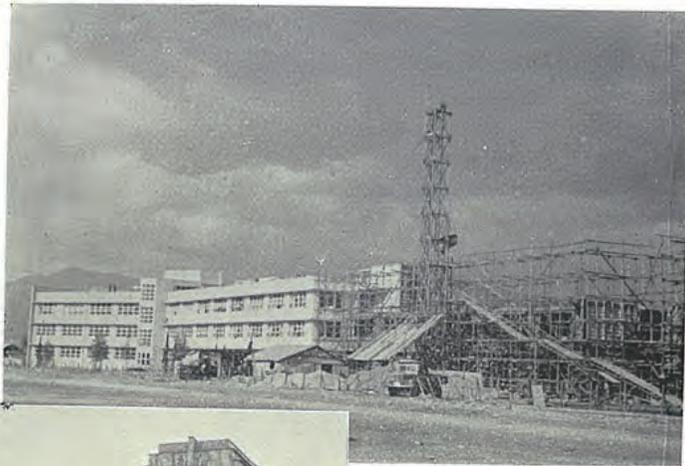
乳児検診



自動噴霧器



市立舟入病院並びに西保健所



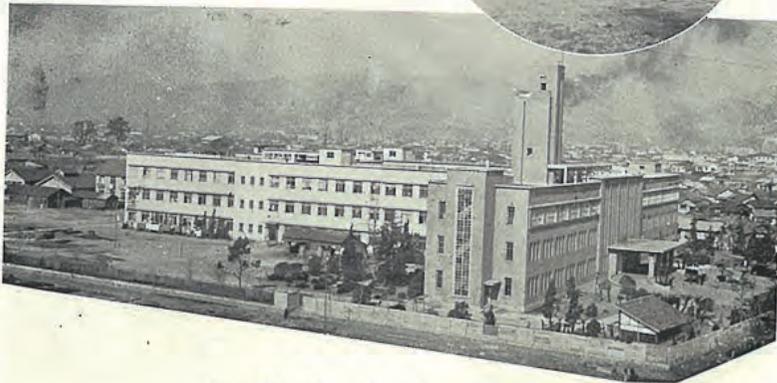
社会保険広島市民病院



国立広島病院



県立広島病院



広島赤十字病院

医療機関

家族全員がそろって健康であることは、その家庭においてはこの上ない幸福であると同様に都市においても市民の一人々々が心身ともに健康で明るい生活を送れることはその都市を繁栄に導びく大要素であろう。市は市民の健康の増強保持には常に最大の努力と細心の注意とを払わなければならない。

本市には、市民の健康管理の前線を担当する東・西保健所(西保健所は本年12月に新設)をはじめ、病院・診療所その他各種の医療機関が年々次第に整備充実されて来ている。

医療施設

(保健所調)

年 別	病院	診療所	歯科診療所	薬局	医薬品販売業者	助産所	施術所	理容所	美容所
昭和26年	43	283	151	125	278	163	307	343	192
27	44	287	151	135	390	73	297	366	221
28	46	221	119	145	464	174	240	472	324

医療施設従事者

年 別	医師	歯科医師	薬剤師	保健婦	助産婦	看護婦	レントゲン技術者	栄養士	医療類似行為者	理容師	美容師
昭和26年	493	174	277	109	962	524	62	21	307	688	418
27	517	191	300	123	545	1,121	82	31	405	782	578
28	527	150	307	127	508	1,350	75	111	370	989	745

経営主体別病院及び病床数

経営別	病院数	病床総数	普通病床	伝染病床	結核病床	精神病床
総 数	46	2,685	1,779	91	774	41
国 立	4	513	332	5	176	—
県 立	3	445	213	—	232	—
市 立	4	256	113	86	57	—
法人立	5	616	400	—	216	—
会社附属	3	154	109	—	45	—
個人立	27	701	612	—	48	41

備考 病床数20床以上の病院

衛生指導教育

衛生教育並びに広報活動実施状況

講演会	講習会	映画会	展示会	広報車によるもの	おしらせ(広報機紙)掲	新聞掲載	ラジオ放送	資料貸出	印刷物配付
64回	88回	32回	20回	40回	12回	42回	21回	63回	12種類 122,066枚

相談・訪問・治療件数

区分	総数	結核	性病	歯科	妊産婦	乳児	幼児	その他
栄養相談	5,503件	749件	—	—	316件	3,305件	585件	98件
健康ク	24,717	10,423	2,826	1,526	3,330	3,374	846	2,392
家庭訪問	30,912	29,246	50	—	105	494	105	912
治療	6,357	—	3,656	445	—	—	—	2,256

清掃事業

人口・住宅の増加に伴つて、市街地はますます混雑の度を深めて行くので、清掃事業は市街地の美化・病疫の未然防止のために、防疫事業と並んで保健衛生上緊急を要する問題である。

現在1日に市内において排出されるじんかい・し尿の量は、じんかい3万2千貫・し尿1,815石(いずれも推定)で、これに対して市の設備による処理能力はじんかい40%・し尿27%と云う低い率であるが、次年度にはこれを50%及び40%にそれぞれ引き上げるよう種々対策を講じている。

また、懸案の下肥処理場の設置問題も、ようやく関係当局との折衝を終り総工費6,000万円(第1期工事1,600万円)をもつて、南千田町に加熱処理施設を有する消化槽が設置されることになった。

清掃事業設備

(衛生課調)

事業別	貨物自動車	真空式ポンプ自動三輪車	普通自動三輪車	船舶	作業員
総数	5台	7台	22台	5隻	89人
じんかい処理	4	—	18	4	70
し尿ク	1	1	4	1	19

備考 船舶5隻の内2隻は借船

清掃作業状況

年次別	じんかい処理作業				し尿処理作業						
	しゅう集延人員	しゅう集延戸数	搬出量	しゅう集対象世帯数	しゅう集延人員	しゅう集延戸数		搬出量			
						計	無料	有料	計	無料	有料
昭和26年	12,574人	193,942戸	1,629.388貫	61,160個	688人	1,629戸	980戸	649戸	3,287.6石	2,426.0石	861.6石
27	18,141人	1,601,431戸	2,393.210貫	73,590個	2,423人	5,632戸	1,004戸	4,628戸	10,736.6石	5,231.0石	5,505.6石
28	20,696人	1,730,910戸	3,290.476貫	76,472個	2,913人	2,018戸	752戸	1,266戸	16,750.6石	5,369.2石	11,381.4石

備考 1. し尿処理作業中の無料は、公共造営物及び災害浸水家屋の処理である。
2. 昭和26年は8月~12月までの期間

食品衛生

食品業種別営業許可件数

(保健所調)

総数	飲食店	喫茶店	氷菓菓子業	食肉販売業	魚介類販売業	氷雪販売業
1,287件	856件	165件	84件	30件	64件	82件

食品衛生監視及び乳肉衛生件数

食品衛生監視件数	牛肉検査件数	と畜検査件数
10,833件	197件	20,126件

と畜頭数

と畜種類	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
総数	20,128頭	1,732頭	1,535頭	1,609頭	1,374頭	1,342頭	1,560頭	1,835頭	1,922頭	1,742頭	1,739頭	1,648頭	2,090頭
牛	9,275	700	635	725	602	633	665	815	945	767	889	809	1,090
こうし	1,932	108	135	130	131	94	156	102	199	185	208	176	308
馬	1,691	105	71	79	76	96	158	218	161	195	164	144	224
豚	7,221	819	694	675	565	519	580	700	616	595	471	519	458
羊	9	—	—	—	—	—	1	—	1	—	7	—	—

防疫事業

防疫件数

(保健所調)

区分	月別												
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
検病調査	998 6,546	94 94	80 356	57 379	50 50	35 968	53 3,164	58 646	86 108	56 460	54 98	36 181	39 42
防疫措置指導	698	94	80	57	50	35	53	58	86	56	54	36	39
防疫措置実施数	4,568	94	80	57	50	35	3,923	58	85	56	54	36	39

備考 検病調査欄の上段は患家、下段は患家附近

各種予防接種実施状況

種別	月別												
	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
腸・ペラ チフス	773,790	—	—	110	522	21,171	24,686	45,831	4,250	13,271	420	556	2,973
百日咳	8,857	1,568	1,546	207	106	71	41	139	3,890	343	337	164	445
デフテリ ア	19,544	3,541	4,121	655	121	46	40	1,214	3,155	152	106	1,541	4,851
種痘	16,443	3,577	2,967	639	44	175	88	162	2,286	27	11,499	4,978	

狂犬病予防状況

登録件数	予防注射	捕獲犬			人的被害	
		捕獲犬数	返還犬数	処分犬数	届出件数	検査犬数
7,802件	11,821頭	6,950頭	2,549頭	4,233頭	712件	428頭

そ族・こん虫駆除薬剤使用状況

消毒の場所	件数	面積	使用薬剤名及び数量					
			D.D.T.油剤	D.D.T.粉剤	除虫菊乳剤	テリゾール	クレゾール	ネオメツソ
昭和26年	—	295,694	1,455	2,069	6,216	—	—	—
27	—	598,466	1,148	2,785	2,358	302	182.00	—
社会事業施設	1,451	71,214	458	243	—	12	8.26	—
公衆便所	279	7,740	69	5	—	5	1.31	—
下水	6,249	2,076,560	952	124	1,679	—	—	—

池・沼・野壺	6,771	253	81	224	10	395	—	—
じんかい集積場	36,928	66,637	762	1,290	—	—	—	—
人体さん布	1,808	—	—	180	—	—	—	—
無償配付	88,625	—	3,918	—	—	7,112	—	—
一斉駆そ	6,539	—	—	—	—	—	—	(1個15グラム) 1,149

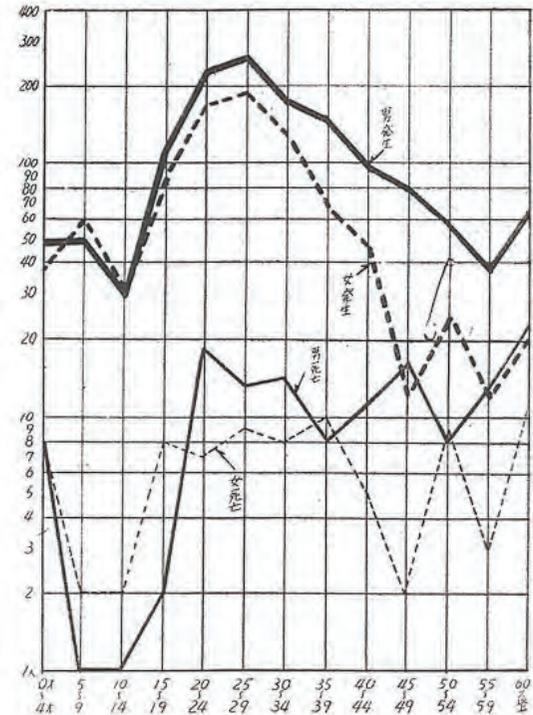
備考 無償配付は蠅・蚊のいない街造り用として配付

結核・性病

結核患者の発生数及び(死亡数)は、24年3,837人(350人)、25年3,204人(331人)、26年3,018人(333人)、27年2,499人(241人)、28年2,253人(220人)と、医薬業界の著しい進歩にともなつてともに急激な減少をみせている。

また、性病患者も世相が落ちつき道義が回復するにつれて大幅に減少しているが、現在なお5千人前後の感染発病者がいる。

年齢別結核患者発生及び死亡数



結核患者届出数及び死亡数

(保健所調)

年令別	昭和 23 年		昭和 24 年		昭和 25 年		昭和 26 年		昭和 27 年		昭和 28 年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	3,596	2,256	7,587	7,928	7,276	7,847	7,177	7,480	7,079	7,390	863	84
0才~	—	42	31	51	45	61	47	63	48	49	37	—
4才	—	15	21	11	19	11	10	9	11	8	8	—
5~9	—	64	59	43	41	60	51	52	70	50	60	—
10~14	—	85	77	29	34	33	35	46	38	30	31	—
15~19	—	189	152	139	120	143	123	94	88	116	85	—
20~24	—	557	425	407	294	371	251	279	191	231	163	—
25~29	—	436	342	410	284	396	273	281	211	260	183	—
30~34	—	288	194	283	197	224	158	196	145	172	124	—
35~39	—	194	126	202	106	176	96	152	85	146	66	—
40~44	—	139	66	122	65	146	45	97	43	98	45	—
45~49	—	81	37	95	34	76	26	64	34	79	12	—
50~54	—	63	17	59	28	60	19	61	27	57	24	—
55~59	—	39	15	40	5	43	14	42	12	38	12	—
60~64	—	33	16	—	—	29	17	26	16	27	11	—
65~69	—	—	—	—	—	16	7	15	7	23	4	—
70~74	—	26	9	48	23	4	4	10	2	10	4	—
75以上	—	9	1	16	9	3	1	2	2	4	2	—
不詳	—	20	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—

備考 上段=発生・下段=死亡

結核予防法による予防状況

健康診断

予防接種

ツベルクリン 反応検査	レントゲン間接撮影	レントゲン 精密検査	B. C. G 接種
4,921人	36,726人	654人	6,678人

全国年令別(5才別)結核患者死亡者数

年 別	昭和 5年	10	15	18	22	23	24	25	26
計	119,635	132,751	153,754	177,473	146,247	143,909	138,713	127,769	93,654
総数									
男	59,748	67,238	80,599	49,623	79,640	77,705	74,267	65,089	50,374
女	60,487	64,913	72,555	76,850	66,607	66,204	63,846	56,680	43,280
4才未 満									
男	2,552	2,679	2,689	3,325	3,227	3,020	3,647	3,548	2,991
女	2,199	2,463	2,325	2,921	3,005	2,941	3,513	3,531	3,024
5~9									
男	1,643	1,859	1,834	1,521	1,716	1,561	1,458	1,393	960
女	2,097	2,089	1,989	1,696	1,918	1,602	1,695	1,565	1,062
10~14									
男	2,162	2,375	2,685	1,998	1,370	1,195	1,014	854	732
女	4,811	5,266	5,323	3,953	2,303	2,027	1,767	1,568	1,115
15~19									
男	10,584	10,824	15,601	15,508	7,449	6,276	5,266	4,119	2,735
女	14,265	14,301	17,569	16,538	9,344	8,135	7,244	5,645	3,743
20~24									
男	12,154	14,444	16,692	19,038	15,661	15,004	13,413	9,765	6,059
女	12,319	13,954	14,388	15,940	14,284	14,300	12,579	9,978	6,502
25~29									
男	8,195	10,053	12,323	14,013	11,130	11,335	10,670	8,911	6,419
女	7,992	8,864	10,601	11,058	10,555	10,988	10,806	9,212	6,735
30~34									
男	5,119	6,293	7,765	10,031	9,447	9,098	8,211	6,462	4,717
女	4,817	5,342	6,200	7,431	7,525	7,562	7,222	6,344	4,979
35~39									
男	3,524	4,249	5,216	6,894	7,635	7,547	7,238	6,168	4,501
女	2,971	3,410	3,858	4,541	5,035	5,315	5,318	4,913	3,816
40~44									
男	3,053	3,238	3,749	5,484	5,712	5,854	5,790	5,348	4,206
女	2,383	2,305	2,629	3,359	3,422	3,652	3,654	3,483	2,956
45~49									
男	2,712	2,982	3,131	4,409	4,817	4,975	4,824	4,642	3,819
女	1,915	2,020	2,033	2,490	2,678	2,863	2,837	2,758	2,198
50以上									
男	7,447	8,240	8,914	12,402	11,428	11,806	12,724	13,863	13,225
女	4,718	4,898	5,640	6,923	6,498	6,791	7,209	7,777	7,143
不詳									
男	3	2	—	—	48	34	11	16	10
女	—	1	—	—	34	28	2	6	7

病種別性病患者届出数

年令別	総数		梅毒		りん病		軟性下かん		そけいりんば 肉芽しゆ症	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
昭和26年	1,075	4,424	229	222	678	4,108	168	94	—	—
27	664	4,699	121	81	455	4,520	88	98	—	—
28	482	4,482	57	53	298	4,230	127	799	—	—
0才~4才	1	1	1	—	—	1	—	—	—	—
5~9	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—
10~14	1	1	1	—	—	1	—	—	—	—
15~19	44	989	—	2	30	951	14	36	—	—
20~24	190	2,424	14	9	120	2,287	56	128	—	—
25~29	114	739	14	13	75	701	25	25	—	—
30~34	42	265	6	8	25	250	11	7	—	—
35~39	37	41	5	9	20	31	12	1	—	—
40~44	21	11	3	4	16	6	2	1	—	—
45~49	14	4	5	2	5	1	4	1	—	—
50~59	15	4	7	3	7	1	1	—	—	—
60以上	3	2	1	2	—	—	2	—	—	—

性病接触者及び調査訪問件数

区分	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
接触者調査	142	6	7	23	5	8	15	11	24	11	13	14	5
調査訪問	8,935	550	769	500	503	800	513	750	650	650	650	650	1,950

伝染病

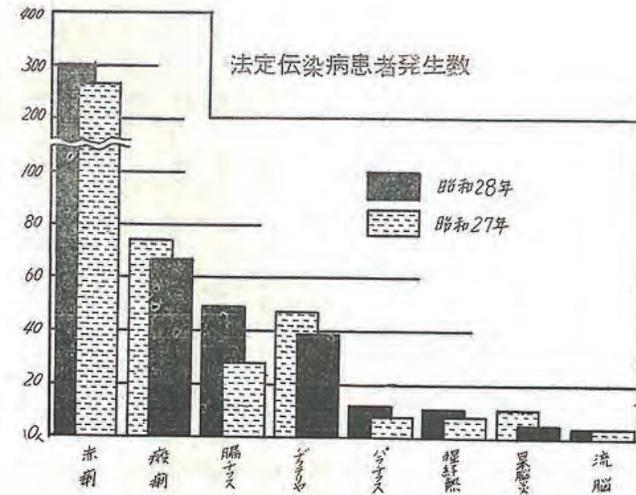
伝染病の発生は年々増加の傾向にあつて、本年の発生患者数は法定488人、届出1,681人で昨年に比較すると、法定8.9%・届出5.9%の増加を示している。この内増加した主な病種は、法定では赤痢33人(12.3%)、チフス21人(75%)で届出では、1年おきに流行するましんが633人(5倍)となつている。本年の法定伝染病発生数で主なもの、赤痢の301人(61.7%)、次いで疫痢67人(13.7%)、腸チフス49人(10.0%)、ヂフテリア39人(8.9%)一方の届出伝染病は、ましん792人(47.1%)、トラコーマ415人(24.7%)、肺炎227人(13.5%)、百日せき204人(12.1%)となつている。また死亡数は、法定41人・届出179人合わせて220人で死亡者も昨年よりは44人(25%)増えている。

法定伝染病患者発生及び死亡数

(保健所調)

病種別	年月別														
	昭和26年	27	28	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
総数	324 56	448 42	488 47	43 5	30 7	50 7	20 2	27 —	47 3	34 5	78 17	49 6	47 2	27 2	36 3
赤痢	148 5	268 3	301 3	29 —	22 —	23 —	11 —	16 —	28 —	16 —	54 —	27 —	36 —	17 —	22 —
疫痢	59 27	74 29	67 29	8 5	— —	5 —	1 —	2 —	5 2	6 3	17 7	13 3	6 2	1 2	3 3
腸チフス	31 5	28 3	49 1	1 —	2 —	15 —	5 —	3 —	7 —	2 —	1 —	1 —	3 —	5 —	4 —
パラチフス	19 4	8 —	12 —	1 —	1 —	— —	— —	— —	3 —	4 —	— —	— —	— —	1 —	1 —
しよう紅熱	21 1	8 —	11 —	— —	1 —	3 —	— —	2 —	1 —	— —	1 —	1 —	1 —	— —	1 —
ヂフテリア	32 7	47 2	39 2	4 —	4 —	3 —	3 —	3 —	3 —	5 —	3 —	4 —	— —	3 —	4 —
日本脳炎	7 4	11 4	5 5	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 —	2 —	2 —	— —	— —	— —
流脳	7 3	4 1	4 —	— —	— —	— —	— —	1 —	— —	— —	— —	1 —	1 —	— —	1 —

備考 上段=発生・下段=死亡



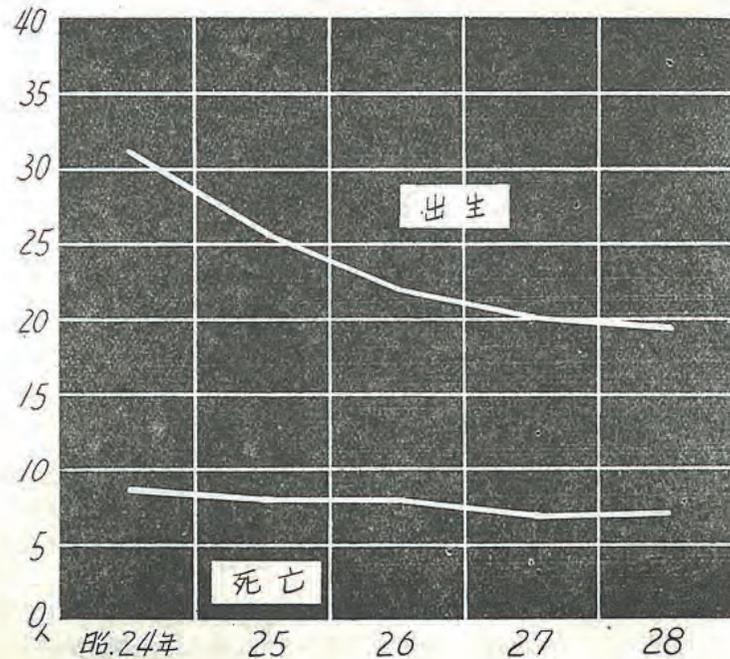
人口動態

(保健所課)

年次別	出生			死亡			死産				婚姻	離婚
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	不詳		
昭和22年	6,419	3,366	3,053	2,340	1,260	1,080	—	—	—	—	2,787	318
23	6,872	3,532	3,340	2,139	1,157	982	—	—	—	—	3,190	298
24	8,103	4,169	3,934	2,307	1,218	1,089	856	457	368	31	2,972	342
25	7,104	3,648	3,456	2,310	1,213	1,097	915	485	371	59	2,437	425
26	6,483	3,388	3,095	2,386	1,295	1,091	953	516	383	54	2,343	423
27	6,105	3,140	2,965	2,205	1,147	1,058	1,019	536	434	49	2,357	449
28	6,300	3,333	2,967	2,297	1,276	1,021	1,094	582	462	50	2,371	445

備考 広島市内で発生した日本人のみの数字である。

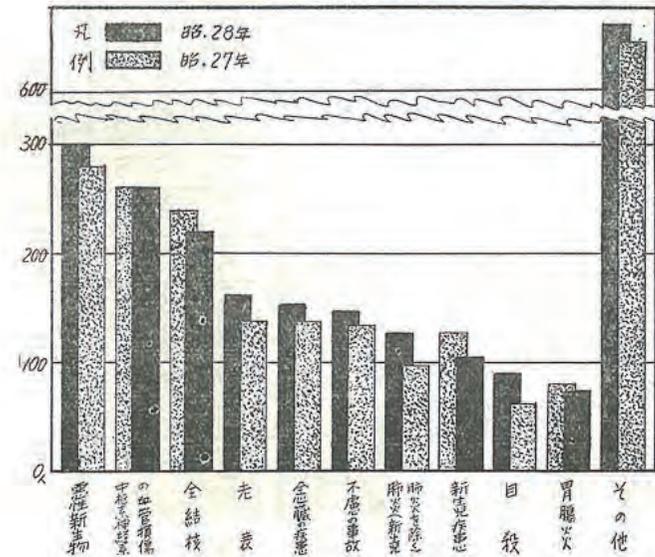
年別出生及び死亡率



死因別死亡数

主要死因	昭和28年		昭和27年	
	死亡数	百分比	死亡数	百分比
総数	2,297	100.0	2,205	100.0
1 悪性新生物	299	13.0	281	12.7
2 中枢神経系の血管損傷	261	11.3	262	11.8
3 全結核	220	9.6	241	10.9
4 老衰	162	7.2	138	6.2
5 全心臓の疾患	152	6.6	137	6.2
6 不慮の事故	147	6.4	134	6.1
7 肺炎(新生児肺炎を除く)	127	5.5	98	4.4
8 新生児疾患	105	4.6	127	5.9
9 自殺	90	3.9	63	2.9
10 胃炎・十二指腸炎・腸炎及び大腸炎	74	3.2	80	3.6
その他	660	28.7	644	29.3

死因別死亡数



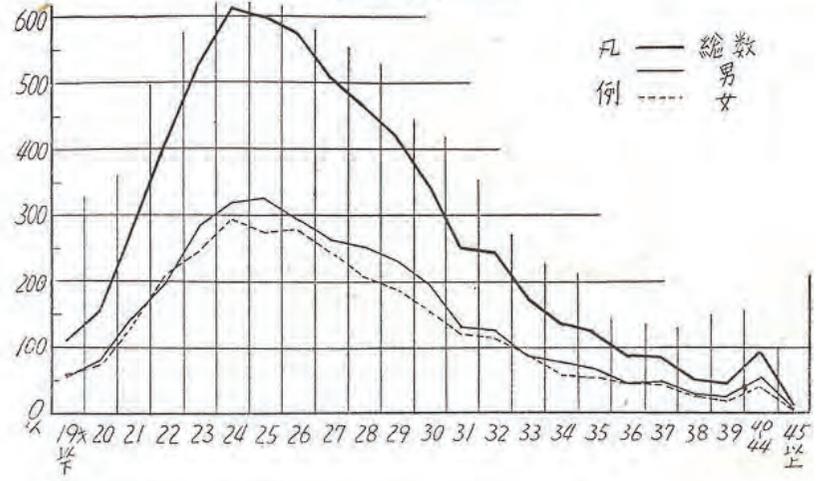
年齢別死亡数

性別	年齢別																
	0才以下	5才以下	9才以下	10才以下	14才以下	19才以下	24才以下	25才以下	29才以下	34才以下	35才以上						
昭和27年計	2,205	383	58	26	84	98	98	91	93	113	103	152	172	206	165	120	69
28	2,297	352	56	25	49	98	79	74	103	106	72	147	181	227	222	121	78
男	1,276	191	34	13	26	61	48	42	57	70	70	100	106	133	96	51	25
女	1,021	161	22	12	37	31	31	32	46	36	52	47	75	94	126	70	53

母の年齢別出生数

出生児の性別	総数	母の年齢別																						
		19才以下	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40-44	45以上
総数	6,300	177	756	279	470	528	610	598	573	508	463	479	347	251	241	176	137	123	88	50	43	91	72	
男	3,333	54	81	146	199	282	318	325	294	263	254	230	194	131	127	87	79	68	44	28	25	52	7	
女	2,967	57	75	133	211	246	292	273	279	245	209	189	153	120	114	89	58	55	44	22	18	39	5	

母の年齢別出生数



妊娠回数別自然・人口死産胎別数

回数別	総数	自然死産										人口死産												
		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
胎数	1,094	胎	胎	胎	胎	胎	胎	胎	胎	胎	胎	胎	胎	胎	胎	胎	胎	胎	胎	胎	胎	胎	胎	胎
		469	161	97	90	44	35	21	10	8	1	2	625	300	99	71	43	39	29	29	8	4	3	

夫妻の年齢別初・再婚別数

年齢別	初婚		再婚		年齢別	初婚		再婚	
	夫	妻	夫	妻		夫	婦	夫	婦
総数	1,927	2,040	444	337	26	235	123	13	11
15才~19才	8	138	—	1	27	259	102	19	18
20	19	175	—	—	28	211	52	17	23
21	40	241	—	1	29	150	46	13	14
22	79	299	1	5	30	104	30	17	19
23	132	287	2	10	31	64	19	11	14
24	196	248	2	12	32	57	15	23	23
25	199	155	9	10	33	37	14	19	18

34	28	17	13	14	43	2	12
35	19	10	15	17	44	3	9
36	10	11	14	13	45	2	15
37	11	12	21	10	46	1	11
38	8	4	14	5	47	3	7
39	9	6	26	10	48	1	8
40	4		14		49	—	8
41	3		14	50 ~ 59	20		60
42	8	18	11	28 60 以上	5	8	26

継続期間別離婚数

継続期間	総数	1月未満	1月2	2月3	3月4	4月5	5月6	6月7	7月8	8月9	9月10	10月11	11月12	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年以上
組数	445	3	5	8	2	7	3	5	—	2	2	4	35	32	48	38	40	41	27	15	18	108	

妊婦届出件数

昭25年	26	27	28	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
人	7,015	6,371	6,077	6,297	400	521	648	549	526	501	585	501	553	600	499	414

人工妊娠中絶及び精神障害者取扱件数

区分	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
人工妊娠中絶	6,366	569	397	554	505	538	523	628	501	659	327	616	549
優生手術	596	45	35	49	32	57	50	77	40	58	16	85	52
精神障害者	97	8	5	5	6	9	6	10	8	9	8	7	10

試験・検査

保健所における各種試験検査件数

細菌学的検査	血清学的検査	臨床病理検査	食品衛生試験			水質試験	一般食品分析	薬品試験	空気試験	その他化学試験	試験指導	試験成績書交付
			食品	添加物	器材							
23,976	14,372	72	630	44	29	149	1	113	39	1	18	6,395

社会保険広島市民病院

社会保険広島市民病院は昭和27年6月市内基町(旧西練兵場跡)に診療棟・病棟・管理棟・炊事棟その他附属施設の完成をみて、同年8月15日から内科・外科・小児科・産婦人科の4科をもつて開院し本年に入つて更に病棟3棟(3階建、延坪43坪、工事費2,930万円)、看護婦宿舎(木造2階建)の増築を計画し、29年5月を完成目標に現在工事を急いでいる。この病棟が完成すれば、病床数も従来のものと合わせて総数250床となる。

また、この年新設科目として、耳鼻咽喉科・眼科・放射線科・歯科の4科目を増設して一大総合病院としての体制の整備に努め、一方病院検査の強化・完全看護・完全給食を実施して对患者サービスの改善にも努力を払っている。

職員数

(市民病院調)

科目	総数	事務職員	医師	助手	看護婦	科目	総数	事務職員	医師	助手	看護婦
総数	118	47	24	5	42						
事務局	47	47	—	—	—	眼科	2	—	1	—	1
内科	8	—	5	—	3	放射線科	3	—	1	2	—
外科	8	—	5	—	3	歯科	3	—	2	1	—
小児科	4	—	2	—	2	病理室	2	—	1	1	—
産婦人科	5	—	2	—	3	薬局	4	—	3	1	—
耳鼻咽喉科	4	—	2	—	2	病棟	28	—	—	—	28

科目別利用患者数(延人数)

総数	内科	外科	小児科	産婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	放射線科	歯科
69,397	19,038	10,163	9,227	7,723	13,584	8,335	105	1,222
48,757	20,331	20,239	2,833	1,919	2,652	177	—	—

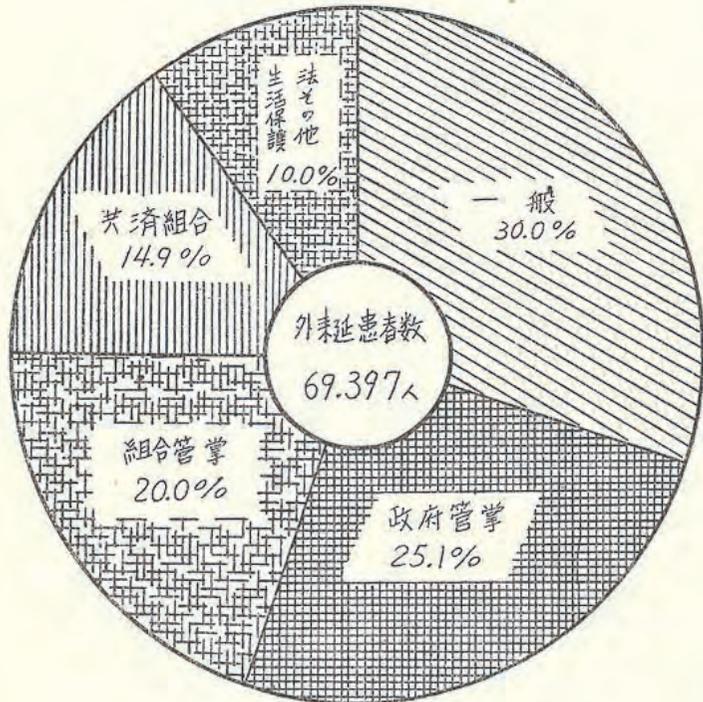
備考 1. 上段—外来患者・下段—入院患者
2. 耳鼻咽喉科・放射線科は6月に歯科は11月にそれぞれ新設。

管掌別利用者数 (延人数)

総数	政府管掌 健康保険	組合管掌 健康保険	共済組合	生活保護法 その他	一般
69,397 ^人	17,447 ^人	13,845 ^人	10,323 ^人	6,994 ^人	20,788 ^人
48,151	14,348	8,598	8,831	11,597	4,777

備考 上段=外来患者・下段=入院患者

管掌別患者 (外来) 利用状況



第15編 運輸交通

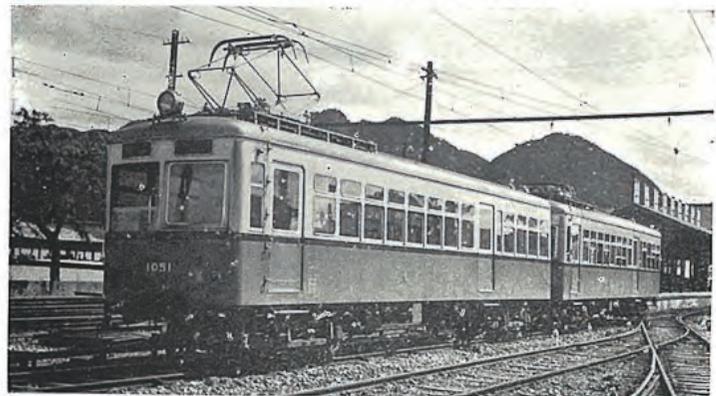
鐵交神聖記



広島鉄道管理局



広島駅と附近市街地



郊外電車(電鉄宮島線)

国 鉄

市内には現在山陽本線並びに支線（芸備線・呉線・宇品線・可部線（電車））合せて12の駅があり、各駅の利用者状況は次表の通りであるが、本年1年間の延利用者数をみると2・3の駅を除いた外は依然としてそれぞれ減少を示している。

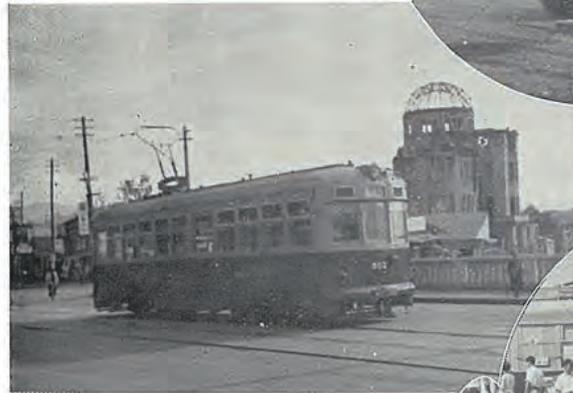
すなわちこの1年間の乗降客は、乗客数約1,600万人（1日平均44,000人）、降客数約1,580万人（1日平均約43,000人）で、これを前年に比較すると乗客数11.6%、降客数7.2%とともに大幅に減少した。また、貨物輸送の方も発送トン数1.1%、到着トン数3.6%とわずかながらも減少している。



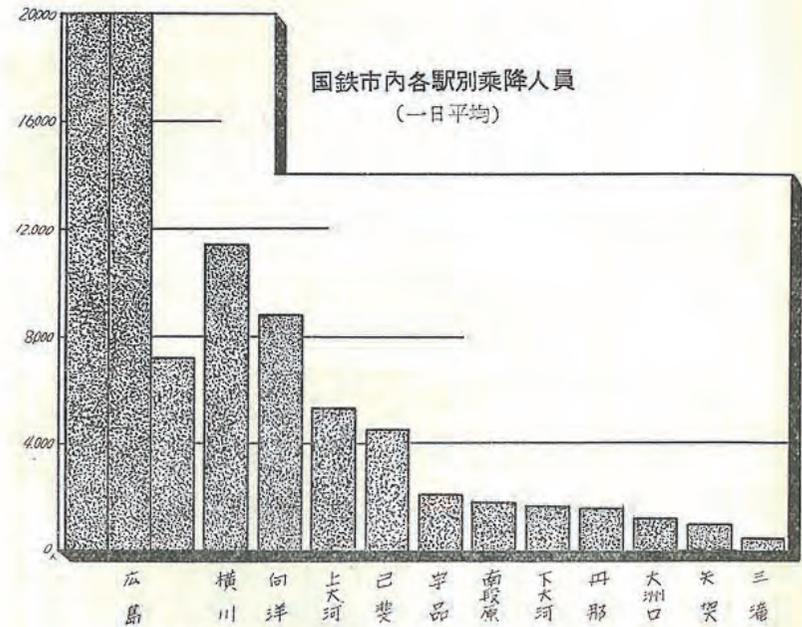
電 鉄 バ ス (青バス)



広島バス (赤バス)



市 内 電 車



国鉄市内駅別乗降人員

(広島鉄道管理局編)

種別 年月別	線別		山陽本線			可部線		宇品線																			
	總數	日平均	広島	山陽	本線	向洋	三浦	大洲口	南段原	上大河	下大河	丹那	宇品														
昭和27年	1,811,861	49,360	9,993	604	2,335	973	844	815	1,592	185	265	936	92	306	220	269	306	966	1,330	396	340	864	356	301	432	246	
28	76,009	5,474	8,740	872	2,710	993	809	383	7,595	138	199	232	89	667	229	029	355	943	930	895	303	947	298	490	376	564	
1月	1,006	860	32,479	546	942	138	158	49	52	254	19	041	5	997	14	430	25	473	75	302	22	909	24	852	32	274	
2	1,521	810	54,350	798	459	188	840	76	230	417	15	406	9	225	22	961	25	981	74	558	23	148	25	991	30	633	
3	1,202	343	38,785	680	138	158	632	62	121	634	12	512	5	680	16	851	18	250	61	318	18	400	21	202	24	882	
4	1,805	586	60,186	985	513	252	492	88	161	630	26	135	10	123	24	100	39	928	106	413	37	993	32	829	39	948	
5	1,289	854	41,608	704	872	172	149	67	131	064	15	098	6	700	18	661	26	505	73	469	21	848	23	030	29	445	
6	1,198	566	39,952	637	944	160	322	61	117	420	15	011	6	427	18	080	28	379	77	487	21	458	24	649	30	200	
7	1,265	661	40,828	690	828	167	914	63	124	066	15	422	5	818	19	116	26	388	74	112	23	218	23	025	32	668	
8	1,205	441	38,885	678	796	162	197	64	115	771	10	667	7	017	19	943	19	521	58	717	17	883	19	844	30	319	
9	1,394	945	46,498	713	077	188	802	73	135	908	16	880	8	777	23	212	36	748	94	869	36	240	29	010	38	099	
10	1,571	623	50,698	901	850	200	154	72	149	230	16	980	8	689	18	431	33	930	82	418	27	597	28	120	31	802	
11	1,255	015	41,834	695	919	160	822	65	126	243	12	896	7	654	15	823	25	230	72	311	23	261	22	040	27	485	
12	1,291	843	41,672	706	534	160	501	65	129	501	13	184	6	954	17	421	29	610	79	921	29	992	23	898	28	789	
昭和27年	17,033	421	46,539	8,950	544	2,235	769	874	1,601	932	251	325	95	587	219	742	311	421	1,349	366	351	699	366	133	425	155	
28	15,805	073	43,302	8,503	057	2,069	782	857	1,717	1,620	205	188	075	84	936	214	738	324	176	955	683	305	310	292	478	388	976

種別 年月別	線別		山陽本線			可部線		宇品線																		
	總數	日平均	広島	山陽	本線	向洋	三浦	大洲口	南段原	上大河	下大河	丹那	宇品													
1月	1,005	052	32,421	542	384	137	995	51	53	634	19	149	5	873	13	758	25	251	76	662	22	981	23	491	32	061
2	1,501	783	53,635	774	745	183	980	81	234	077	15	718	8	925	20	949	24	807	77	105	23	329	24	651	32	198
3	1,181	215	38,104	655	762	153	250	68	123	999	12	397	5	568	15	470	17	459	63	690	17	982	20	639	26	824
4	1,785	166	59,506	962	643	249	521	93	163	997	24	959	9	702	22	748	39	167	108	718	38	188	31	944	40	197
5	1,274	940	41,127	680	351	167	693	70	133	577	15	271	6	258	18	015	26	511	76	551	23	462	24	591	32	032
6	1,171	958	39,065	611	000	157	756	63	117	888	15	386	6	173	17	129	27	782	78	926	21	754	24	252	29	955
7	1,254	406	40,465	676	354	166	234	66	126	066	15	343	5	496	18	037	24	888	76	399	23	087	22	190	33	393
8	1,190	764	38,412	664	011	158	204	68	117	901	10	515	6	454	18	183	17	097	61	230	18	155	18	966	31	987
9	1,383	305	46,110	700	241	185	019	76	137	302	16	840	8	357	21	877	35	715	97	035	36	372	28	801	38	812
10	1,557	361	50,237	884	953	195	614	76	151	495	16	780	8	176	17	339	32	766	83	859	27	526	27	731	34	311
11	1,233	790	41,126	672	489	158	021	69	128	466	12	654	7	495	14	844	23	990	73	561	22	589	21	847	28	302
12	1,265	333	40,817	678	124	156	495	70	131	803	13	063	6	459	16	389	28	743	81	947	29	885	23	315	28	904

備考 定期券利用者を含む。

時間別乗降客数 (国鉄広島駅)

(広島駅調)

時間別	乗降別 総数	乗車			降車		
		計	定期	定期外	計	定期	定期外
総数	47,074	22,294	15,059	7,235	18,720	13,506	5,214
0時～6時	878	402	45	357	476	88	388
6～7	763	362	191	171	401	75	326
7～8	5,662	881	587	294	4,781	4,586	195
8～9	5,254	544	367	177	4,710	4,388	322
9～10	2,514	925	425	501	1,588	1,114	474
10～11	1,410	345	225	120	1,065	391	674
11～12	736	384	235	149	352	140	212
12～13	1,202	419	223	196	783	356	427
13～14	1,495	1,158	519	639	337	101	236
14～15	2,164	2,010	1,430	580	154	61	93
15～16	1,569	1,133	793	340	436	95	341
16～17	3,355	2,618	1,820	798	737	402	335
17～18	7,307	6,211	4,924	1,287	1,096	861	235
18～24	6,705	4,901	3,275	1,626	1,804	848	956

線別乗換客数 (国鉄広島駅) (1日)

年次	線別 総数	本線		呉線	芸備線	宇品線
		上り	下り			
昭和27年調査	20,142	4,341	3,257	2,961	3,351	6,232
28	16,883	4,018	3,075	2,644	3,343	3,803

備考 定期外旅客を含む。

(広島鉄道管理局調)

国鉄駅別貨物発着トン数

駅別	品目別	送		着	
		月別	区別	月別	区別
広島	総数	昭和27年	253,633	送	232,998
		1月	5,182	送	5,821
		2月	6,784	送	7,504
		3月	3,941	送	5,791
		4月	96	送	568
		5月	232	送	162
		6月	32,184	送	33,420
		7月	33,314	送	40,774
		8月	347	送	379
		9月	7,023	送	182
		10月	164,580	送	138,397
		11月	26,795	送	31,895
島	産物	昭和27年	537	送	1,351
		1月	14,326	送	17,203
		2月	695	送	1,155
		3月	8	送	61
		4月	232	送	162
		5月	32,184	送	33,420
		6月	33,314	送	40,774
		7月	347	送	379
		8月	7,023	送	182
		9月	164,580	送	138,397
		10月	26,795	送	31,895
		横	産物	昭和27年	1,586
1月	1,475			送	1,309
2月	92			送	15
3月	71			送	27
4月	2,755			送	2,086
5月	433			送	2,428
6月	433			送	1,844
7月	433			送	2,428
8月	433			送	1,55
9月	433			送	155
10月	433			送	155
11月	433			送	155

品目別	到													
	昭和27年	28	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
化学工業	1,735	155	128	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食料	345	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
繊維	50	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	9,099	1,874	1,402	1,543	475	266	727	697	632	501	699	629	831	—
総数	48,933	2,904	3,049	4,307	3,736	3,963	3,587	4,367	4,645	4,257	5,593	4,216	4,037	—
鉱産	5,169	2,861	230	187	520	200	182	264	235	215	207	236	215	—
林業	4,903	13,159	140	605	971	1,126	1,026	905	1,593	1,237	1,852	1,354	1,156	—
農業	2,939	4,025	308	384	298	319	340	327	218	390	394	388	390	—
畜産	190	239	10	7	14	7	—	—	7	—	86	7	80	—
水産	1,854	1,185	160	78	90	111	84	60	94	84	96	130	78	120
化学工業	1,610	1,595	185	240	308	186	166	108	56	50	20	141	72	63
食料	215	386	—	10	10	36	—	20	—	31	22	50	109	98
繊維	20	110	—	30	10	—	—	—	—	25	10	—	—	—
事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	32,023	25,077	1,871	1,508	2,080	1,751	2,165	1,903	2,536	2,388	2,261	2,733	1,972	1,909
総数	71,699	83,202	7,042	6,435	4,472	8,108	8,736	7,509	4,995	10,958	6,777	4,570	5,700	7,960
鉱産	23,189	19,913	3,308	3,344	930	3,241	188	101	1,402	3,590	1,117	517	1,022	1,153
林業	3,467	8,538	84	592	962	983	887	753	649	531	669	943	614	871

品目別	到													
	昭和27年	28	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
農畜	33,200	43,762	2,695	1,848	2,182	3,457	6,621	5,565	1,808	6,020	4,390	1,306	3,440	4,430
水産	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
化学工業	703	768	30	—	15	54	90	51	85	58	69	75	105	136
食料	3,039	833	160	253	98	24	83	37	13	46	21	13	38	47
繊維	410	130	—	35	10	—	—	—	70	15	—	—	—	—
事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総数	7,681	9,258	765	363	275	349	867	1,002	968	698	511	1,656	481	1,323

品目別	到													
	昭和27年	28	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
総数	476,755	467,730	43,258	34,253	39,550	33,972	41,793	37,143	37,737	41,636	39,741	39,731	39,664	39,252
鉱産	27,936	23,855	2,018	2,051	2,021	1,989	2,396	2,249	1,605	926	2,238	1,821	2,278	2,263
林業	7,308	6,416	355	475	325	525	715	770	581	594	432	601	522	521
農業	49,833	53,194	4,005	3,950	4,254	3,190	2,950	4,032	4,593	6,365	3,541	5,336	5,447	5,531
畜産	274	901	8	32	22	14	43	14	14	11	65	647	11	20
水産	1,547	676	20	98	71	51	14	69	85	30	61	22	75	80
化学工業	49,895	47,007	1,849	2,206	2,549	2,884	4,407	5,122	3,940	5,786	5,202	4,797	4,167	4,098
食料	12,070	14,570	660	425	935	1,137	1,614	1,143	1,832	2,520	1,252	991	1,024	1,037
繊維	9,860	10,848	660	715	763	890	869	1,058	1,102	884	948	879	1,029	1,051

事業用品	167,307/3,485/3,815/6,793/2,248/5,649/2,959/2,913/2,485/4,037/3,988/3,963/3,972	181,348
	142,956/20,198/0,486/1,817/1,044/2,136	9,727/1,072/2,035/1,965/10,649/11,148/10,679
総数	67,896 5,155 4,936 6,611 6,099 5,871 6,351 5,418 5,347 5,671 5,742 5,898 5,057	
鉱産	3,942 515 392 219 227 460 445 234 304 511 223 199 213	
林業	4,202 192 232 513 379 322 655 391 488 293 246 251 240	
農業	10,742 636 803 1,537 1,059 681 837 775 572 676 930 1,161 1,075	
畜産	325 8 29 14 — — — — — 14 166 — — 87	
水産	243 10 20 25 20 30 49 — — — — 20 22 27 20	
化学工業品	19,165 1,316 1,477 2,055 2,123 1,761 2,059 1,790 1,391 1,404 1,263 1,314 1,212	
食料	9,132 397 462 602 642 715 827 910 995 762 984 901 935	
繊維	613 60 30 35 70 25 58 30 25 61 80 81 58	
事業用品	30 — 15 15 — — — — — — — — — —	
その他	19,502 2,021 1,476 1,596 1,579 1,817 1,421 1,281 1,572 1,930 1,828 1,764 1,217	
総数	113,749 10,076 10,009 11,623 9,578 8,478 7,195 8,615 7,577 10,082 10,554 9,107 10,855	
鉱産	7,986 564 566 787 619 887 607 1,075 337 429 742 632 741	
林業	2,438 55 195 180 227 226 170 246 279 136 195 217 312	
農業	14,954 1,246 1,501 1,534 1,021 306 710 648 1,080 2,835 1,729 1,023 1,321	
畜産	4,323 3,250 316 218 321 269 215 183 254 251 259 354 286	
水産	37,055 35,714 3,715 3,420 4,234 3,726 2,572 2,126 2,289 1,805 2,485 2,862 3,250	
化学工業品	3,218 2,682 240 149 319 366 288 213 186 217 218 189 147 150	

横

川

己

事業用品	8,844	13,024	925	1,253	1,015	1,082	1,088	922	1,030	1,120	1,256	1,214	1,013	1,106
	1,338	1,461	120	60	41	65	90	223	161	113	131	162	153	142
繊維	113	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
事業用品	36,796	32,240	2,895	2,647	3,192	2,203	2,806	2,041	2,726	2,375	2,333	3,107	2,368	3,547
その他	29,185	20,292	2,177	2,080	2,245	2,335	2,147	1,189	1,305	1,320	1,607	1,257	1,322	1,368
総数	12,752	8,632	1,156	1,019	755	741	1,054	477	555	656	836	469	442	472
鉱産	541	909	30	35	41	142	61	39	54	58	260	87	35	67
林業	3,092	1,300	147	203	113	56	52	55	54	65	45	60	220	230
農業	44	16	—	—	7	—	—	—	—	—	—	—	9	—
畜産	714	342	36	12	54	24	12	—	72	—	60	36	24	12
水産	1,986	1,561	116	239	160	98	267	255	100	35	40	77	87	87
化学工業品	4,180	1,966	320	275	335	315	240	135	55	35	60	45	70	81
食料	10	35	20	—	—	—	—	—	15	—	—	—	—	—
繊維	151	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
事業用品	5,715	5,531	292	297	780	959	461	228	400	471	306	483	435	419
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

斐

宇

品

電 車

広島電鉄(株)の経営する市内線及び宮島線の電車事業は、現在実稼働車輛数/2/台 (市内線98台 (内大型35台・宮島線23台)、により運転軌道料数は市内線/8.44軒・宮島線/6.99軒の間を運転しており、乗客数はここ数年来バスの攻勢に押され、昭和23年を頂点に以後は逐年減少していたが、この1年間は市内線(6.6%)、宮島線(0.1%)とそれぞれ再び増加を示した。

なお、市街中心区域に延びる軌道は、都市の区画整理事業により、道路の幅員が大幅に拡張されたために道路の端に片寄り、最近交通量の激増している折から早急にその中央部への移設が望まれておりながらも工事費の点で行き悩みの状態にあつたが、ようやくこの問題も解決の見通しがついたので、昭和29年早々まず稲荷大橋一紙屋町間(約1軒)の移設に取りかかり、引き続き紙屋町一十日市間(約1軒)、紙屋町一鷹野橋間(約1.4軒)の工事を施行し、おそくとも昭和29年中には完成を目途されている。

電車乗客数

(広島電鉄株式会社調)

年 月 別	区分	運転延台数	走行延軒数	乗 客 数		
				総 数	定 期 外	定 期
市 内 線	昭和26年	29,826	4,544,822	40,179,126	27,455,106	12,724,020
	27	30,788	4,802,590	37,105,919	24,797,819	12,308,100
	28	30,697	4,938,387	39,555,582	26,420,202	13,135,380
	1月	2,601	418,978	3,100,864	1,983,064	1,117,800
	2	2,398	383,497	2,789,548	1,742,548	1,047,000
	3	2,644	426,421	3,163,529	2,361,269	802,260
	4	2,433	396,497	3,492,682	2,281,762	1,210,920
	5	2,641	422,516	3,464,917	2,210,437	1,254,480
	6	2,562	409,701	3,264,666	2,003,106	1,261,560
	7	2,613	423,143	3,172,452	2,200,032	972,420
	8	2,570	423,698	3,389,984	2,673,524	716,460
	9	2,544	407,642	3,430,362	2,159,922	1,270,440
10	2,662	422,102	3,598,053	2,368,053	1,230,000	
11	2,465	394,572	3,405,030	2,179,950	1,225,080	
12	2,558	409,614	3,283,495	2,256,535	1,026,960	
昭和26年	7,345	1,364,666	8,898,589	5,015,659	3,882,930	
27	7,864	1,387,829	8,907,258	4,478,364	4,428,894	

市 外 線 (宮島線)	28	7,995	1,330,286	8,978,542	4,272,702	4,705,840
	1月	656	118,645	743,885	332,645	411,240
	2	587	105,503	638,861	256,361	382,500
	3	645	118,305	709,768	379,888	329,880
	4	676	115,913	823,331	406,511	416,820
	5	699	118,987	780,446	356,966	423,480
	6	676	112,287	694,005	273,405	420,600
	7	698	119,023	741,823	367,363	374,460
	8	703	115,073	768,316	494,896	273,420
	9	674	101,411	747,029	313,109	433,920
	10	683	105,113	812,470	368,850	443,620
	11	640	100,859	748,745	338,765	409,980
12	658	99,167	709,863	323,943	385,920	

バ ス

最近バスの運賃成績は極めて好調で、現在都市計画により整備中の道路が完了すれば更にその実績の飛躍が予想されている。

市内を運行するバス会社の数は、昨年末地元2社を始め全部で9社であつたのが、本年4月には観光専用として中国観光バス(株)が営業を開始したので、都合10社のバスがそれぞれ激しく競つている。

この1年間の乗客数を市内線(広島電鉄(株)・広島バス(株))のみについて見ても、延乗客総数は約2,970万人(1日平均81,500人)で、昨年約2,224万人(1日平均61,000人)に比べると、約748万人(1日平均20,500人)の増となり、また、走行1軒当りの乗客数も3.9人から4.3人と0.3人の増加を示した。

なお、交通量の激増にかんがみ今後バスの円滑な運転を期するために、バスターミナル(紙屋町)の設置計画が立てられ、近くこれが具体化する予定である。

市内線バス乗客数及び路線別距離

電 鉄 バ ス

(広島電鉄株式会社調)

年 月 別	区分	運転延台数	走行延軒数	乗 客 数		
				総 数	定 期 外	定 期
昭和25年		12,891	1,518,039	6,167,166	6,167,166	
26		15,788	2,178,814	9,635,777	7,851,339	1,784,438

27	23,972	3,246,886	13,525,236	11,046,205	2,479,031
28	31,549	3,881,427	17,552,176	14,196,535	3,355,641
1月	2,529	314,663	1,327,648	1,073,848	253,800
2	2,332	282,381	1,228,245	970,805	257,440
3	2,695	315,278	1,478,190	1,260,690	217,500
4	2,533	317,914	1,452,253	1,172,233	280,020
5	2,701	333,323	1,461,765	1,165,485	296,280
6	2,637	315,866	1,402,172	1,084,032	318,140
7	2,727	340,011	1,458,155	1,201,505	256,650
8	2,738	340,894	1,553,670	1,343,490	210,180
9	2,676	332,325	1,512,686	1,209,826	302,860
10	2,749	342,954	1,595,927	1,271,224	324,703
11	2,503	320,497	1,530,033	1,186,499	343,534
12	2,729	325,321	1,551,432	1,256,898	294,534

路線名	区間	料程	路線名	区間	料程
瀬崎線	広島駅 ~ 杵木	4.75	グランド線	鷹野橋 ~ 綜合グランド	4.35
駅・県庁	〃 ~ 県庁	3.20	江波	〃 ~ 江波	4.15
牛田	〃 ~ 牛田	2.60	宇品	広島駅 ~ 宇品	8.00
横川	〃 ~ 白鳥 ~ 横川	3.00	府中	八丁堀 ~ 府中	5.70
鷹・牛田	鷹野橋 ~ 牛田	4.70	日宇那	鷹野橋 ~ 日宇那	5.80
新庄	新庄 ~ 八丁堀	5.75	宇・県庁	宇品 ~ 県庁	5.08
横・県庁	横川 ~ 県庁	6.20	横・グランド	横川 ~ 綜合グランド	5.40
己斐	己斐 ~ 旭町	8.00			

広島バス

(広島バス株式会社調)

年月別	区分			年月別	区分		
	運転延台数	走行延料数	乗客数		運転延台数	走行延料数	乗客数
昭和25年	台	料	人	5月	台	料	人
	2,483	208,524	672,373		1,697	244,555	1,001,930
26	13,363	1,707,253	5,030,497	6	1,645	242,806	973,750
27	19,031	2,512,486	8,719,532	7	1,749	253,134	985,069

28	20,203	2,981,779	12,167,963	8	1,726	258,422	1,147,530
1月	1,698	249,296	821,491	9	1,642	245,408	1,109,236
2	1,534	229,241	728,739	10	1,712	255,388	1,186,087
3	1,751	252,343	904,531	11	1,695	251,220	1,170,378
4	1,630	238,096	901,404	12	1,724	261,270	1,237,818

路線名	区間	料程	路線名	区間	料程
宇品線	宇品県営橋 ~ 向洋大原	13.28	横川線	横川駅 ~ 広島駅	4.75
草津	〃 ~ 草津	9.40	横・県	〃 ~ 県庁	6.10
吉島	〃 ~ 吉島	6.20	旭町	広島駅 ~ 旭町	5.00
基・県	紙屋町 ~ 広島駅 ~ 県庁	6.20	向宇品	宇品 ~ 向宇品	1.00

市外線バス乗客数及び路線別距離

国鉄バス

(中国地方自動車事務所調)

年月別	線別			線別		
	運転延台数	走行延料数	乗客数	運転延台数	走行延料数	乗客数
昭和26年	台	料	人	台	料	人
	7,050	996,710	1,289,781	12,565	1,883,313	5,829,034
27	8,410	1,184,126	1,486,145	13,307	2,254,459	6,050,825
28	7,787	1,126,306	1,442,822	14,345	2,401,396	7,100,600
1月	695	97,918	128,648	1,121	193,987	523,120
2	624	87,973	114,811	1,044	173,085	472,867
3	685	101,681	132,403	1,141	192,952	554,003
4	718	101,801	154,328	1,283	197,923	614,201
5	727	102,954	131,316	1,223	193,050	551,621
6	620	85,899	92,507	1,160	198,681	552,284
7	623	93,151	100,860	1,249	206,463	603,335
8	612	92,677	110,153	1,233	210,553	641,675
9	601	89,129	118,254	1,197	200,408	610,136
10	654	93,727	124,646	1,216	211,027	669,587
11	608	89,287	121,359	1,193	201,983	635,265
12	620	90,109	113,527	1,285	221,284	672,506

年月別	岩 日 線			雲 芸 線		
	運 延 台 数	走行延料数	乗 客 数	運 延 台 数	走行延料数	乗 客 数
昭和 26 年	9,859	1,181,989	2,224,863	7,036	1,001,298	1,224,443
27	11,317	1,412,034	2,887,549	11,407	1,545,991	1,995,419
28	12,928	1,760,072	3,536,522	13,668	1,902,192	2,643,878
1 月	1,048	147,351	290,984	1,038	137,905	205,351
2	934	131,891	255,258	971	130,372	188,543
3	1,021	146,085	263,573	1,112	149,035	198,900
4	1,076	149,284	355,598	1,112	154,738	237,341
5	1,111	154,464	313,599	1,486	209,510	244,920
6	1,002	135,077	238,262	1,085	148,282	187,142
7	1,144	145,776	265,709	1,134	158,345	211,920
8	1,131	152,438	307,062	1,142	164,233	231,130
9	1,067	142,911	314,000	1,134	159,875	247,902
10	1,126	154,908	345,200	1,193	171,076	231,443
11	1,114	149,541	281,287	1,105	159,146	239,818
12	1,154	150,286	305,990	1,156	159,675	219,468

電 鉄 バ ス

(広島電鉄株式会社調)

年月別	運 延 台 数	走行延料数	乗 客 数		
			総 数	定 期 外	定 期
昭和 25 年	25,717	3,101,089	5,209,534	-	-
26	31,094	4,208,600	8,398,981	8,012,246	386,735
27	35,720	5,032,585	9,021,406	8,354,126	667,280
28	42,797	6,305,534	11,028,571	10,012,073	1,016,498
1 月	3,349	477,990	806,961	721,941	85,020
2	3,066	443,770	744,227	668,507	75,720
3	3,591	514,830	924,515	868,775	55,740
4	3,453	525,860	923,561	844,601	78,960
5	3,684	546,711	871,527	817,767	53,760

6	3,566	528,247	835,467	714,067	121,400
7	3,708	554,100	950,859	875,739	75,120
8	3,801	559,020	1,100,197	1,030,941	69,256
9	3,617	530,685	945,051	853,820	91,231
10	3,769	560,477	1,013,657	906,506	107,151
11	3,513	525,697	920,125	813,045	107,080
12	3,680	538,147	992,424	896,364	96,060

路 線 名	区 間	料 程	路 線 名	区 間	料 程
三段峡線	広島 ~ 三段峡	67.8	岩国線	広島 ~ 岩国	45.1
戸河内	〃 ~ 戸河内	64.6	大竹	〃 ~ 大竹	34.6
筒賀	〃 ~ 筒賀	53.4	上水内	〃 ~ 雲出	44.2
雄ヶ原	〃 ~ 雄ヶ原	77.0	下水内	〃 ~ 久日市	44.1
志路原	〃 ~ 志路原	52.7	湯来	〃 ~ 湯来	38.5
〃(西宗)	〃 ~ 志路原	52.4	打尾谷	〃 ~ 打尾谷	41.9
琴谷	〃 ~ 琴谷	44.8	石内	〃 ~ 細坂	23.2
吉木	〃 ~ 吉木	46.1	奥畑	〃 ~ 奥畑	19.7
八幡	加計 ~ 八幡	20.8	大塚	〃 ~ 大塚	18.0
壬生	〃 ~ 南方	45.6	宇賀	〃 ~ (日浦) ~ 宇賀	27.9
坂原	中津谷 ~ 加計	39.9	布	〃 ~ (久地) ~ 布	25.3
松原	八幡 ~ 戸河内	29.0	戸山	〃 ~ 戸山	28.2
都谷	加計 ~ 壬生	35.8	細坂	〃 ~ 細坂	15.2
寺領	寺領 ~ 加計	51.3	本郷	〃 ~ 本郷	58.2
波佐	〃 ~ 戸河内	14.9	秋掛	〃 ~ 秋掛	46.3
大朝	戸河内 ~ 波佐	9.0	吉和	〃 ~ 吉和	61.4
〃(川戸)	加計 ~ 〃	35.6	津田	〃 ~ 津田	32.9
出羽	広島 ~ 大朝	39.7	玖島	〃 ~ 津田	32.9
南方	〃 ~ 〃	63.7	原	〃 ~ 原	4.8
庄原	〃 ~ 出羽	65.7	栗谷	〃 ~ 原	4.8
三次	上根 ~ 壬生	77.4	〃	〃 ~ 原	4.8
	広島 ~ 庄原	41.3	〃	〃 ~ 原	4.8
	〃 ~ 三次	94.2	〃	〃 ~ 原	4.8
		72.0	〃	〃 ~ 原	4.8

吉田	〃	〃	〜	吉田	45.1	吉和	〃	〃	〜	吉和	48.1
生田	〃	〃	〜	生田	66.1	浅原	〃	〃	〜	浅原	26.0
大林	〃	〃	〜	大林	25.0	津田	〃	〃	〜	津田	19.6
生田	〃	吉田	〜(甲立)	〜生田	21.1	呉	〃	広島	〜	呉	31.0
阿須那	〃	〃	〜	阿須那	46.6	上深川	〃	〃	〜	上深川	16.1
船木	〃	〃	〜	水谷	23.1	熊野	〃	〃	〜	熊野	18.1
吉田口	〃	〃	〜	吉田口	5.4	矢野	〃	〃	〜	矢野	11.0
八重	〃	〃	〜	八重	25.8						

一畑バス(本社 島根県松江市国屋町767) (一畑電鉄株式会社調)

路線名	区間	距離		1日定期往復回数	運転延台数	走行延料数	乗客数
		全長	(内)市内				
松江〜宮島線	松江〜宮島口	22.4	6	4	2,839	593,578	170,607
広島〜宮島	広島〜	25	10	6	1,378	121,942	90,489

芸陽バス(本社 豊田郡豊坂町字清武29) (芸陽自動車株式会社調)

路線名	区間	距離		1日定期往復回数	運転延台数	走行延料数	乗客数
		全長	(内)市内				
広島線	広島〜西条町	50	5	10	1,460	182,500	167,900
	〃〜豊坂町	50	5	2	365	36,500	37,595
	〃〜熊野町	35	5	4	365	51,100	82,125
	〃〜志和畑村	25	5	2	365	18,250	35,770
	〃〜一貫田	19	5	12	1,095	83,220	201,480

石見バス(本社 島根県松江市上吉田96の2) (石見交通株式会社調)

路線名	区間	距離		1日定期往復回数	運転延台数	走行延料数	乗客数
		全長	(内)市内				
広益線	広島〜石見益田	160	9	2	1,460	233,600	110,650

広島郊外バス(本社 広島県安佐郡可部町) (広島郊外バス株式会社調)

路線名	区間	距離		1日定期往復回数	運転延台数	走行延料数	乗客数
		全長	(内)市内				
1号線	広島〜可部	22	7	15	5,475	234,386	605,931
2	〃〜大林	27	6	50	18,250	802,419	1,250,410
三段峡	〃〜三段峡	70	6	5	1,825	238,973	337,658

防長バス(本社 山口県徳山市大字徳山3/2/) (防長バス株式会社調)

路線名	区間	距離		1日定期往復回数	運転延台数	走行延料数	乗客数
		全長	(内)市内				
山口線	広島〜山口小郡	160.8	9	1	1,825	352,152	73,718
徳山	〃〜徳山	110.2	9	1	730	120,669	
高森	〃〜高森	69.1	9	2	800	221,120	
室積	〃〜室積	95.3	9	4	1,390	278,276	
柳井	〃〜柳井	76.0	9	7	245	18,620	

備考 乗客数は広島において乗車したもののみである。

自動車及びその他の車輛数調(昭.28.4.1現在)

種別 用途別	総数	普通					小			型			特	その他				
		乗用	貨物	四輪乗用車	四輪貨物車	自三輪車	自三輪車	自三輪車	自三輪車	自三輪車	自三輪車	自三輪車		自三輪車	自三輪車	自三輪車	自三輪車	自三輪車
総数	8,485	806	871	269	260	2,384	75	195	1,912	154	738	233	48	1,200				
自家用	4,809	180	700	207	203	112	4	195	1,912	96	—	—	—	1,200				
営業用	3,676	626	171	62	57	2,272	11	—	—	58	138	233	48	—				

備考 自家用の中には官公庁用を含む。

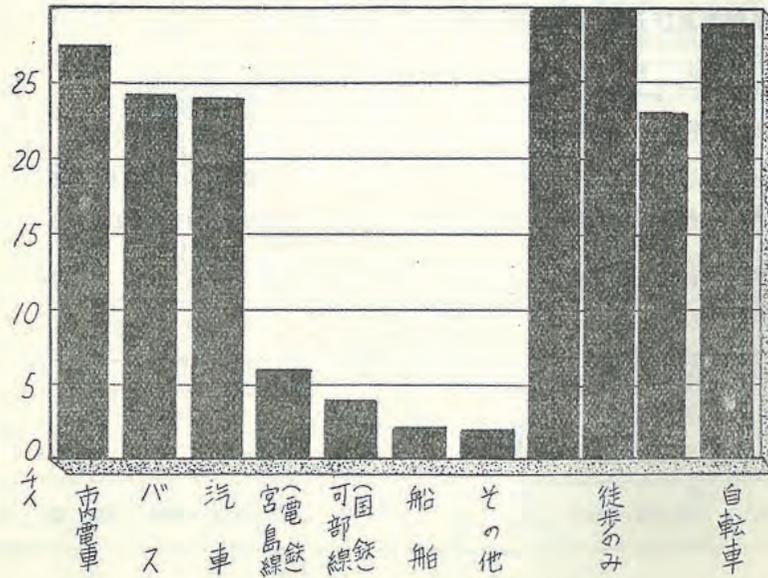
通勤・通学者の交通機関別利用状況

(調査課調)

交通機関別	総 数			市外から通う者			市内に常住する者		
	計	従業者	通学者	計	従業者	通学者	計	従業者	通学者
総 数	202,098	116,897	85,211	48,254	34,803	13,451	153,844	82,084	71,760
汽 車	23,936	17,145	6,791	19,135	13,634	5,501	4,801	3,511	1,290
市 内 電 車	27,565	17,092	10,473	7,267	3,865	3,402	20,298	13,227	7,071
宮 島 線(電鉄)	6,031	3,795	2,236	2,607	1,882	725	3,424	1,913	1,511
可 部 線(国電)	3,900	2,659	1,231	3,424	2,357	1,067	476	312	164
バ ス	24,248	19,058	5,190	8,285	6,725	1,560	15,963	12,333	3,630
船 舶	2,231	1,660	571	1,461	1,020	441	770	640	130
自 転 車	29,065	26,514	2,551	4,182	3,618	564	24,883	22,896	1,987
徒 歩 の み	82,972	26,876	56,096	1,011	830	181	81,961	26,046	55,915
そ の 他	2,150	2,078	72	882	872	10	1,268	1,206	62

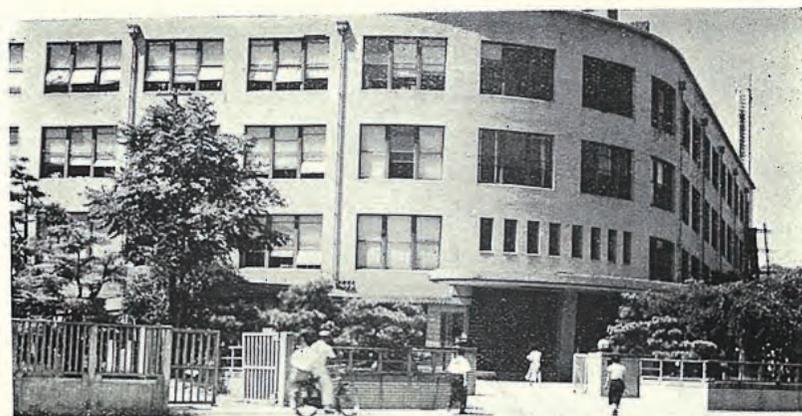
- 備考 1. 昭.28.6.3現在広島市屋間人口調査による。
 2. 調査対象者は当日通勤・通学した者のみである。
 3. 2種類以上の交通機関を利用した者は、それぞれ1人として計算している。
 4. 「その他」とは、公用車・自家用車・オートバイ・スクーター等である。

利用交通機関別屋間人口

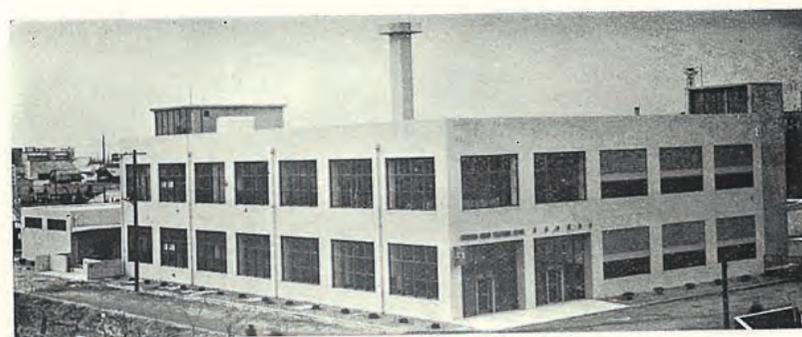


第16編 通 信

新 建築設計



広島郵政局



広島南電話局

概要

市内における昭和28年中の内国郵便物（年賀・選挙用を除く）の引受数は、普通郵便物約2,372万通・小包郵便物約44万個で昨年に比べると普通10.4%、小包21.7%の増となり、1日平均普通約6万5千通、小包約1,200個が出されている。一方配達数は詳細な数字は不明であるが引受数よりは下廻るものと思われる。

内国電報取扱数（有料のみ）は、この1年間に発信95万2千通（1日平均約2,600通）、着信81万3千通（約2,200通）、中継信418万通（約11,400通）、合わせて594万5千通（約16,300通）となり、中継信が全体の70.3%を占めている。

次に国際電報の取扱数は、1年間に発信1,010件・着信857件・中継信4,164件合わせて6,031件となり昨年に比較すると発信56.2%・中継信44.4%とともに減少し着信は21.4%増加し、総数においては42.6%の減少をみせた。この原因は奄美大島の日本復帰に伴ない4月よりこの地区が内国電報としての取扱を受けることになったためである。

本年末現在、市内の電話加入数は11,310台で、昨年より1,985台（21.3%）の増加を示しており通話度数も急激に増加している。なお、本年3月草津局は市内線に編入され、また、昨年から新築中の南電話局の庁舎もほぼ完成し、昭和29年度から新庁舎において業務を開始出来ることになった。

郵便

郵便施設

（広島郵政局調）

普通郵便局	鉄道郵便局	特定郵便局			合計	切手売さばき所	郵便ポスト
		集配局	無集配局	計			
局	局	局	局	局	局	箇所	個
3	1	—	40	40	44	241	269

- 備考 1. 切手売さばき所には収入印紙売さばき所を含む。
2. 郵便ポストには柱・掛箱（私設・公設）を含む。

年別郵便物取扱状況（内国引受）

年 別	普通郵便物		小包郵便物	
	普通扱	特殊扱	普通扱	特殊扱
昭和25年	16,853,292 ^通	992,076 ^通	77,376 ^個	37,920 ^個
26	19,498,260	1,107,948	177,504	78,780
27	20,165,096	1,329,606	265,312	100,077
28	22,217,580	1,506,243	334,592	109,957

備考 年賀・選挙関係郵便物を除く。

電 報

国内電報取扱状況

(広島電気通信部調)

年月別	総 数	発 信	着 信	中 継 信
昭和 27 年	5,560,281	944,550	835,950	3,779,781
28	5,944,806	957,553	813,238	4,180,015
1 月	441,866	68,919	59,585	313,362
2	450,093	71,186	62,044	316,863
3	564,281	91,414	77,962	394,905
4	519,472	84,979	69,918	364,575
5	453,616	73,622	62,294	317,700
6	431,029	73,112	60,519	297,398
7	475,313	77,400	66,446	331,467
8	480,334	76,066	64,327	339,941
9	475,842	76,213	63,815	335,814
10	543,049	82,911	71,681	388,457
11	469,845	74,922	64,187	330,736
12	640,066	100,809	90,460	448,797

備考 28年は有料電報のみの調査である。

国際電報取扱状況

年月別	総 数	発 信	着 信	中 継 信
昭和 27 年	10,508	2,307	706	7,495
28	6,031	1,010	857	4,164
1 月	844	132	122	590
2	739	140	112	487
3	960	143	142	675
4	481	62	62	357
5	403	71	43	289
6	404	75	56	273

7	363	51	46	266
8	325	51	46	228
9	314	65	46	203
10	390	79	61	250
11	375	78	57	240
12	433	63	64	306

備考 28年は有料電報のみの調査である。

電 話

局別電話加入数及び通話状況

(広島電話局調)

局 別	単 独		共 同		通 話 局	公 衆		計
	事務用	住宅用	事務用	住宅用		委 託	簡 易	
総 数	(163) 10,249	(7) 119	(45) 671	(143) 156	(13) 54	73	8	(365) 11,330
中	(118) 5,005	44	(29) 373	(100) 107	(10) 36	34	1	(257) 5,600
西	(42) 4,071	(1) 68	(14) 225	(34) 40	(3) 17	27	7	(94) 4,455
南	(2) 1,141	7	(2) 71	(9) 9	—	12	—	(13) 1,240
草津	—	—	—	—	—	—	—	—
似島	(1) 32	—	2	—	1	—	—	(1) 35

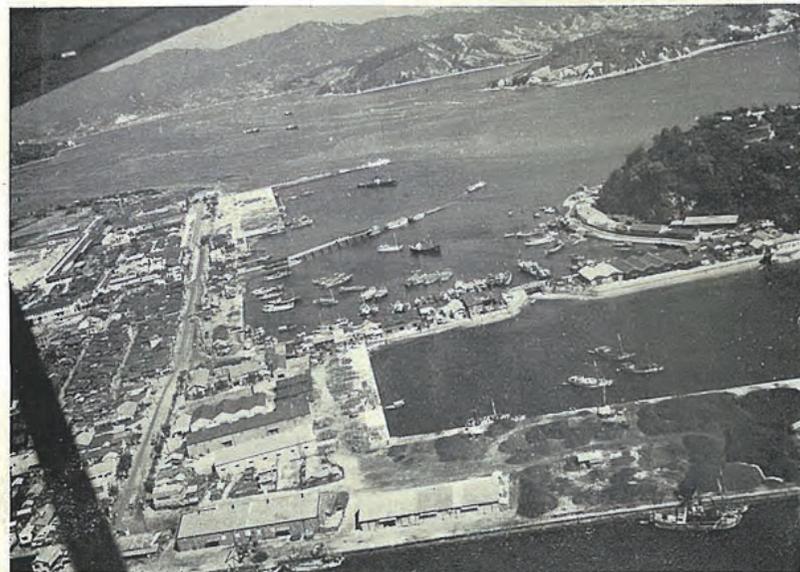
局 別	乙 増 電 話			甲 増 電 話			市内専用電話		通話度数(1ヶ月均)	
	件数	個数	ベル	件数	加入 回線	内線 電話	回線	機数	市 内	市 外
総 数	1,972	2,312	22	122	580	5,073	335	353	3,382,833	658,343
中	1,138	1,322	—	92	439	4,275	335	353	3,382,833	658,343
西	774	906	22	24	101	621				
南	56	80	—	6	40	177				
草津	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
似島	4	4	—	—	—	—	—	—	—	1,830

備考 () 内の数字は無料再掲を示す。

年別	総数	本			電話			増設統電話	公衆用電話		
		計	単独加入	共同加入	話		公衆電話		簡易電話	通話局電話	
					私設交換	増設統電話					
昭和15年	1,401,169	1,217,604	973,376	19,605	224,623	168,324	4,939	—	10,302		
16	1,446,352	1,242,763	979,920	19,247	243,596	188,035	5,019	—	10,535		
17	1,540,606	1,295,236	993,826	18,228	283,182	229,163	5,187	—	11,020		
18	1,578,787	1,322,112	999,089	17,077	305,946	240,016	5,187	—	11,472		
19	1,618,485	1,358,094	1,008,473	17,224	332,397	243,603	5,222	—	11,566		
20	1,746,326	1,441,387	1,011,652	10,153	152,582	84,821	623	—	6,495		
21	1,976,739	1,556,416	1,043,439	13,288	199,689	111,008	815	—	8,500		
22	1,192,236	1,029,425	771,374	14,316	243,735	148,960	576	2,316	10,959		
23	1,364,540	1,180,620	889,715	14,729	276,176	167,304	1,484	2,060	13,122		
24	1,480,832	1,289,632	972,947	14,437	302,248	173,499	2,344	1,891	13,466		
25	1,735,216	1,511,001	1,142,664	16,498	351,839	204,813	4,078	1,683	13,641		
26	1,973,874	1,705,499	1,265,811	30,593	409,095	249,319	4,837	1,368	12,851		

第17編 港 湾

廣島港



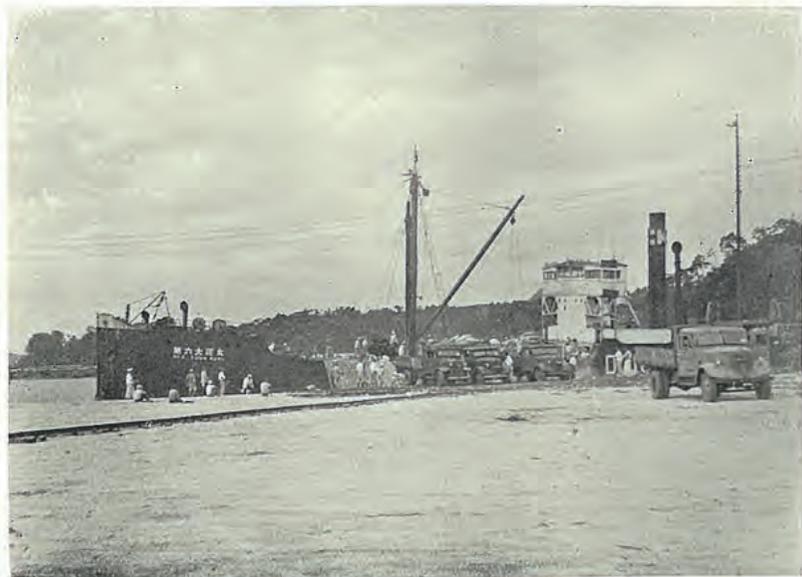
上空から見た広島港
(西日本航空株式会社提供)



新装の市営棧橋
(極東航空株式会社提供)



新設の物揚場



港内作業風景

広島港の概況

戦前において、広島港の隆盛がいかに本市の繁栄に寄与していたかは今更言をまたないが、将来において再び広島市繁栄の一大要素としての広島港の発展には、各方面から大きな関心と期待が寄せられている。しかし、戦後は国内外の諸情勢の変革により、その活動実績はやや伸び悩みの現状にある。

従つて当局においては、広島市繁栄の基本的条件を確立させるために、かねてから積極的な対策が講じられていたが、この度次のような広島港の改修計画がたてられ、一部はすでに本年10月から着工している。すなわち総工費16億円4ヵ年継続事業として1万トン級大型船2隻が同時に着岸出来る岸壁(延長340米)臨港鉄道、道路各2本の敷設更に岸壁東方の海岸10万坪が埋立てられることになっており、この計画が完成すれば、今後の広島港活動の機能は期待大なるものがある。

次に昭和28年中の動きをみると、船舶の入港状況は総隻数19,494隻、総トン数208万7千トンで昨年に比べると隻数0.6%、トン数17%とそれぞれ増加している。また最近は外国航路船の入港が大幅に増加している関係上、大型船の入港が目立っている。

貨物取扱数量の過去における年間最高実績は、昭和11年の出貨約74万トン、入貨188万トン合せて262万トンであつたが、昭和27年にはその28.4%、本年は出貨23万トン入貨55万トン合計約78万トンで11年の29.7%にあたり、この内外国貿易取扱量は総量の12.8%を占めている。

また、県・市営棧橋よりの船舶乗降客数は、この1年間総数約135万人で、昨年よりは15%も増加している。

位置及び地形

瀬戸内海に面する広島湾の北隅に位し、北緯 $34^{\circ}20'$ 東経 $132^{\circ}25'$ を中心とする。

広島港は港域の中央から南方前面に突出した宇品島(向宇品)によつて東西に両断され、東半分は旧宇品港、西半分は工業港地区及び商業港地区に属し、前方には金輪島・峠島・似島・江田島等大小の島々が点在し自然の障壁となつている。また、後方は広島市街を貫流する太田川の7派川が港域にそそぎ水運に利用されている。

泊地水面積

港域内の総水面積は6,430万平方メートルで、その内工業港地域は430万平方メートル、商業港地域は120万平方メートルである。また港域内の水深別泊地水面積は次の通りである。

水深別泊地水面積

(広島港事務所調)

水深別	総数	内 訳	
		防波堤内	防波堤外
総数	2,460	60	2,400
7.3米未満	160	60	100
7.3 ~ 9	610	—	610
9米以上	1,690	—	1,690

港湾施設
船舶泊地
大型船

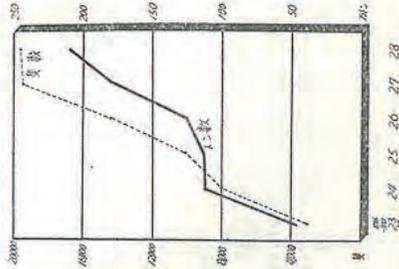
種別	水面積	水深別			摘要
		3.5米~7.3米	7.3米~9米	9米以上	
被覆外	2,400	100	610	1,690	大型船舶地は防波堤外

小型船

泊地名称	経営者	被覆水域		
		所在場所	水面積	水深
宇品島西側船泊	広島県	宇品島西側防波堤内	50	2米~7.5米
宇品島北側	〃	宇品島北側	10	2 ~ 5

泊池けい船設備

種別	名称	水面積	けい船数			けい船の目的
			トン	トン	隻数	
錨地	R 錨地	100	500~1,000	—	30	荷役用
〃	荷役	610	3,000~5,000	—	32	〃
〃	その他	1,090	5,000~8,000	—	64	修理検控及びバラスト待機
〃	予備	600	8,000~10,000	—	24	修船予備



年別入港船舶隻数及び総トン数

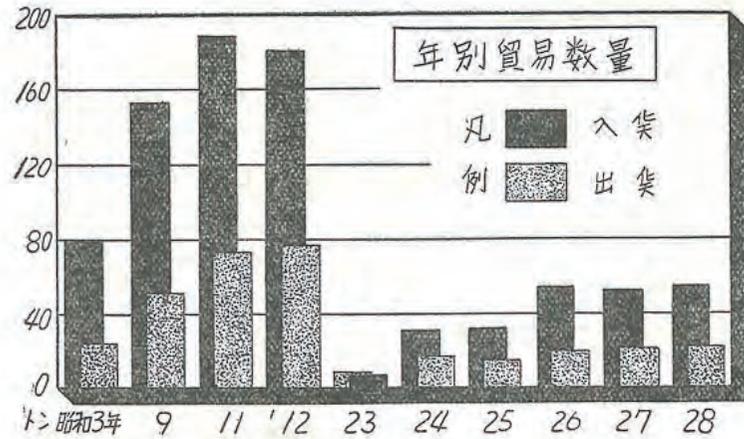
施設	内 容		施 設		内 容	
	延長	面積	野	油	積	置
けいせん岸壁	1,276米	337米	野	油	積	置
〃	〃	〃	起	重	機	機
〃	〃	〃	起	重	機	機
〃	〃	〃	は	し	け	船
〃	〃	〃	ひ	き	船	船

入港船舶数

内外航別入港船舶数

年別	総航		汽航		帆航		船航	
	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数
昭和23年	3,166隻	461,518トン	70隻	96,700トン	3,094隻	364,778トン	2隻	70トン
24	5	15,304	4	15,220	84	3,331	16	1,494
25	12	37,379	12	37,379	—	3,116	5	28
26	24	134,315	24	134,315	—	6,687	210	9,238
27	102	492,338	77	491,291	25	1,047	276	13,497
28	218	685,144	113	681,726	105	3,418	365	16,230

(調査課調)



内国貿易品目別数量及び金額

移 出			移 入		
品 目	数 量	金 額	品 目	数 量	金 額
総 数	227,324	16,341,176	総 数	450,778	8,565,250
米	4,809	278,922	米	44	2,552
穀 類	2,348	75,136	穀 類	488	15,616
砵 油	639	13,287	砵 油	16,646	364,877
その他油脂	1	75	植 物 油	20	2,500
薬 品	4,507	135,210	薬 品	7,244	217,320
石 炭	31,753	184,167	石 炭	254,533	1,476,291
コークス	1,903	32,351	コークス	6,346	107,882
石 灰	151	740	石 灰	2,571	12,598
土 石	—	—	土 石	8,620	30,170
セメント	511	4,241	鉱 物 製 品	184	4,600
鉄	20,164	252,681	鉄 石	96	1,920
金属製品	11,096	521,512	セメント	37,427	310,644
その他金属	34	289	鉄	19,027	384,974
肥 料	1,219	28,037	金属製品	25,099	1,179,653

木 材	77,818	583,635	その他金属	53	4,770
木 製 品	10,403	93,627	肥 料	2,492	57,316
穀 粉	1,269	59,643	木 材	5,341	40,058
魚 獲 物	1,136	28,400	木 製 品	5,648	50,832
飲 食 物	2,413	77,216	魚 獲 物	3,147	78,675
製 紙 原 料	75	6,450	穀 粉	1,278	60,066
陶 器 ・ 硝 子	1,090	27,250	塩	60	870
車 輛 ・ 時 計 ・ 機 械	22,806	11,631,060	飲 食 物	6,163	197,216
雑 品	31,179	2,307,246	製 紙 原 料	90	7,740
			陶 器 ・ 硝 子	280	7,000
			車 輛 ・ 時 計 ・ 機 械	931	474,810
			雑 品	46,950	3,474,300

備考 金額千円未満は4捨5入。

外国貿易品目別数量及び金額

輸 出			輸 入		
品 目	数 量	金 額	品 目	数 量	金 額
総 数	2,455	50,715	総 数	97,373	4,676,217
船 舶	63	530	米	40,574	2,913,763
薬 品	26	4,034	穀 類	53,240	1,635,958
木 材	1,217	14,830	鉄	100	1,656
木 製 品	150	4,925	鉛 石	15	28
飲 食 物	937	3,422	銅	81	9,946
布帛及び同製品	5	4,457	木 材	1,375	15,264
車 輛 ・ 時 計 ・ 機 械	10	8,004	船 舶	12	214
雑 品	37	9,913	魚 獲 物	851	31,227
			飲 食 物	1,125	68,161

内国貿易府県別数量及び金額

移 出			移 入		
都道府県別	数 量	金 額	都道府県別	数 量	金 額
総 数	227,324	16,347,179	総 数	450,778	8,565,252
大 阪	44,185	4,089,488	福 岡	208,336	1,612,029
山 口	41,618	2,215,660	山 口	57,004	871,895
広 島	32,416	2,176,555	大 阪	45,448	2,543,753
愛 媛	23,088	1,848,628	広 島	44,039	1,208,721
兵 庫	17,753	1,279,645	佐 賀	23,593	136,839
和 歌 山	17,113	145,305	愛 媛	20,333	1,074,601
福 岡	15,610	2,908,253	長 崎	18,454	110,555
愛 知	9,014	530,408	兵 庫	10,427	497,573
岡 山	8,731	766,871	香 川	8,115	195,140
香 川	5,012	125,236	愛 知	4,405	33,941
長 崎	2,622	63,961	大 分	3,920	38,095
東 京	2,321	17,408	和 歌 山	2,735	60,176
高 知	2,277	26,327	岡 山	2,399	74,195
北 海 道	1,997	35,979	宮 崎	487	4,526
三 重	1,168	8,760	福 島	333	1,931
徳 島	1,076	34,562	鹿 児 島	202	4,284
宮 崎	323	2,423	神 奈 川	162	82,620
大 分	246	29,540	高 知	119	2,975
そ の 他	754	36,170	徳 島	67	2,144
			そ の 他	200	9,259

備考 金額千円未満は4捨5入。

外国貿易国別数量及び金額

輸 出			輸 入		
国 別	数 量	金 額	国 別	数 量	金 額
総 数	2,445	50,115	総 数	97,373	4,676,217
葡 領 印 度	7	5,876	ア メ リ カ	40,969	1,834,364

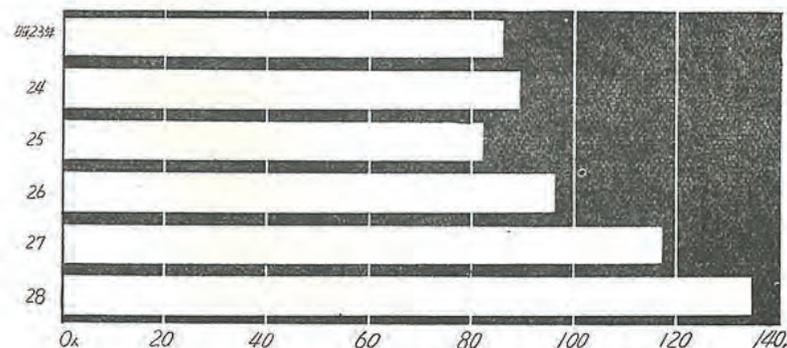
韓 国	2,438	44,239	カ ナ ダ	17,765	592,655
			オーストラリア	7,142	240,433
			中 華 民 国	3,445	252,289
			シ ヤ ム	25,617	1,698,141
			フィリッピン	1,375	15,264
			琉 球	100	1,656
			韓 国	959	41,415

船舶乗降人員

年別乗降人員

年 別	総 数	乗 込 人 員	上 陸 人 員
昭 和 2 3 年	863,731	418,238	445,493
2 4	897,251	424,462	472,789
2 5	825,665	397,924	427,741
2 6	965,931	487,602	478,329
2 7	1,172,845	597,050	575,795
2 8	1,347,879	684,818	663,061

年別船舶乗降人員



航路別乗降人員

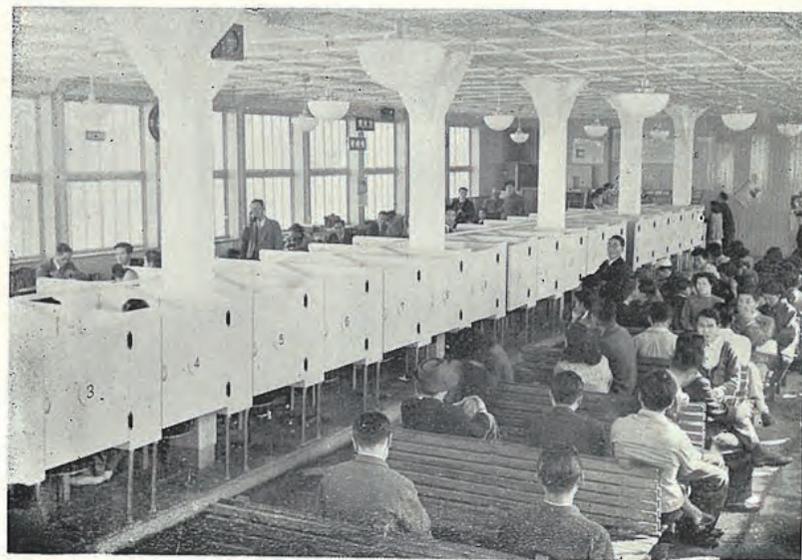
航 路 別	總 數	乘 込 人 員	上 陸 人 員	
總 數	1,347,879	684,818	663,067	
市 營 棧 橋	別 府 線	34,371	19,946	14,425
	宇 和 木 〃	18,063	5,561	12,502
	大 崎 〃	17,253	7,651	9,602
	柳 井 〃	5,436	2,525	2,911
	音 戸 〃	17,770	15,816	1,954
	内 能 美 〃	259,899	132,429	127,470
	飛 渡 瀬 〃	33,597	15,727	17,870
	臨 時	3,888	1,944	1,944
	芸 予 線	89,564	45,595	43,969
	今 治 〃	51,297	27,282	24,015
県 營 棧 橋	倉 橋 〃	24,567	11,823	12,744
	蒲 荊 〃	13,809	7,543	6,266
	東 能 美 〃	191,889	95,078	96,811
	中 村 〃	153,496	78,642	74,854
	大 原 〃	121,456	60,236	61,220
	似 島 〃	134,883	65,301	69,582
	切 串 〃	22,798	10,781	12,017
臨 時	153,843	80,938	72,905	

第18編 勞 働

楽時録



官公労総けっ起大会（デモ行進）
（毎日新聞社提供）



職を求めの人々



失業対策事業就労状況



就労後のひととき(毎日新聞社提供)

労働人口

本市の産業別雇間人口をこの年6月3日現在で行われた「広島市雇間人口調査」の結果よりみると、従業者総数144,834人でこの市内内常住の従業者は118,435人(81.8%)、市外からの流入従業者は総数26,399人で約18%を占めている。これを産業別に分けると最も多いのは、製造業の34,424人(23.9%)、次いで卸売及び小売業の33,653人(23.2%)、以下サービス業21,120人(14.6%)、運輸通信及びその他の公益事業19,121人(13.2%)、公務10,749人(7.4%)……の順になつており、特に注目させられるのは、失対及び日雇労働者が5,633人で全体の約4%を占めていることで、こんにちの世相の一端がうかがえる。

なお、市内常住者のみの産業別構成人口比率を全都市平均及び全国平均と比較すると別表の通りである。

産業別構成人口比率の比較

(調査課調)

産 業 別	広島市			全都市			全 国		
	%	%	%	%	%	%	%	%	
全 産 業	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
卸売及び小売業	24.3	19.6	13.6	3.7	2.1	13.6	10.2	7.8	
金融保険及び不動産業	3.7	2.1	4.6	10.2	7.8	4.6	16.0	14.5	
運輸通信業及びその他の公益事業	10.2	7.8	4.6	16.0	14.5	8.7	6.7	6.9	
サービス業	16.0	14.5	8.7	6.7	6.9	2.7	0.1	—	
公 務	6.7	6.9	2.7	0.1	—	—	4.2	—	
駐 留 軍 関 係	0.1	—	—	4.2	—	—	0.1	0.4	
失業対策事業及び日雇	4.2	—	—	0.1	0.4	—	—	—	
製 造 業	24.3	27.6	15.3	—	—	—	—	—	
分 類 不 能	0.1	0.4	—	—	—	—	—	—	

備考 1. 全都市は昭.25.10.1(国勢調査による)、全国は昭.28.6.末(労働力調査による)現在である。

2. 端数はそれぞれ4捨5入している関係上総数には必ずしも一致しない。

産業別従業者

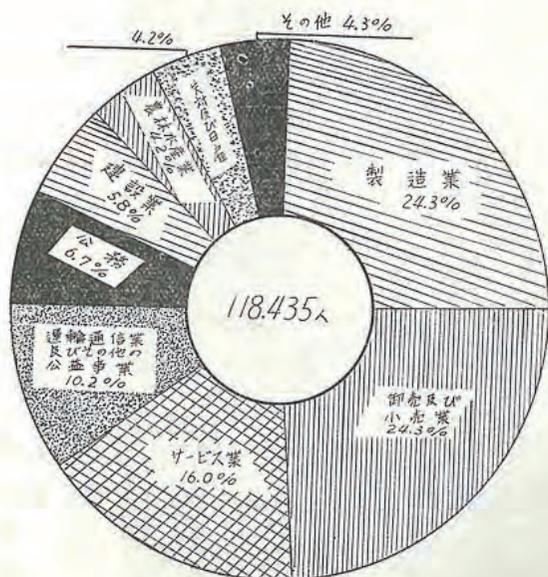
産 業 別	従業者総数			流入従業者			市内常住従業者		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数	144,834	103,514	41,320	26,399	21,165	5,234	118,435	82,349	36,086
農 業	5,248	2,867	2,381	979	767	212	4,269	2,100	2,169
林業及び狩猟業	27	24	3	3	3	—	24	21	3
漁業及び水産養殖業	865	673	192	1	1	—	864	672	192

鉱業	160	134	26	40	27	13	120	107	13
建設業	7,892	7,327	565	1,048	949	99	6,844	6,378	466
製造業	34,424	26,713	7,711	5,644	4,358	1,286	28,780	22,355	6,425
卸売及び小売業	33,653	20,589	13,064	4,889	3,473	1,416	28,764	17,116	11,648
金融及び保険業	5,428	3,705	1,723	1,207	841	366	4,221	2,864	1,357
不動産業	204	172	32	21	18	3	183	154	29
運輸通信及びその他の公益事業	19,121	17,081	2,040	7,006	6,519	487	12,115	10,562	1,553
サービス業	21,120	11,471	9,649	2,160	1,502	658	18,960	9,969	8,991
公務	10,749	9,022	1,727	2,765	2,345	420	7,984	6,677	1,307
駐留軍関係	162	137	25	-	-	-	162	137	25
失業対策事業及び日雇	5,633	3,496	2,137	631	357	274	5,002	3,139	1,863
分類不能の産業	148	103	45	5	5	-	143	98	45

備考 1. 6月3日広島市屋間人口調査による。

2. 上記産業分類は日本標準産業分類によるが、その内「駐留軍関係並びに失業対策事業及び日雇」は特に附加したものである。

産業別従業者数



年令別産業別従業者

産業別	年令別 総数	14才	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50	55	60
		~19才	人	人	人	人	人	人	人	~54	~59
総数	144,834	18,627	24,382	21,370	17,510	16,225	14,997	11,317	8,819	5,639	5,954
農業	5,248	215	318	434	406	471	544	510	548	523	1,279
林業及び狩猟業	27	1	1	4	5	3	1	3	1	5	3
漁業及び水産養殖業	965	56	89	64	89	81	94	81	91	86	134
鉱業	160	13	24	18	24	22	20	17	10	8	4
建設業	7,892	973	1,381	1,123	877	845	871	643	526	407	246
製造業	34,424	6,749	5,615	4,550	4,150	3,710	3,426	2,504	1,912	1,008	800
卸売及び小売業	33,653	4,673	4,903	4,206	3,969	4,037	3,719	2,766	2,244	1,519	1,617
金融及び保険業	5,428	770	1,562	712	542	421	403	367	328	178	145
不動産業	204	6	17	14	15	25	43	23	19	16	26
運輸通信及びその他の公益事業	19,121	1,338	3,973	4,328	2,883	2,267	1,872	1,315	777	221	147
サービス業	21,120	3,119	3,762	3,011	2,481	2,214	1,992	1,573	1,244	829	895
公務	10,749	506	2,274	2,325	1,480	1,402	1,175	771	437	236	143
駐留軍関係	162	3	32	29	17	23	32	10	8	5	3
失業対策事業及び日雇	5,633	182	413	535	554	691	785	715	657	593	508
分類不能の産業	148	23	18	17	18	13	20	13	17	5	4

備考 1. 6月3日広島市屋間人口調査による。

2. 上記産業分類は、日本標準産業分類によるがその内「駐留軍関係並びに失業対策事業及び日雇」は特に附加したものである。

職業紹介

一般的に不景気に見舞われているこんにち、就職問題もまた極めて悲観的である。一般の部（常雇者並びに臨時雇用者）の就職状況をみると、紹介者数に対してその就職率は25年59.3%、26年55.3%、27年49.0%、28年は56.8%とようやく過半数が就職出来る程度である。これに対して日雇関係の部は毎年100%近くが就職している。

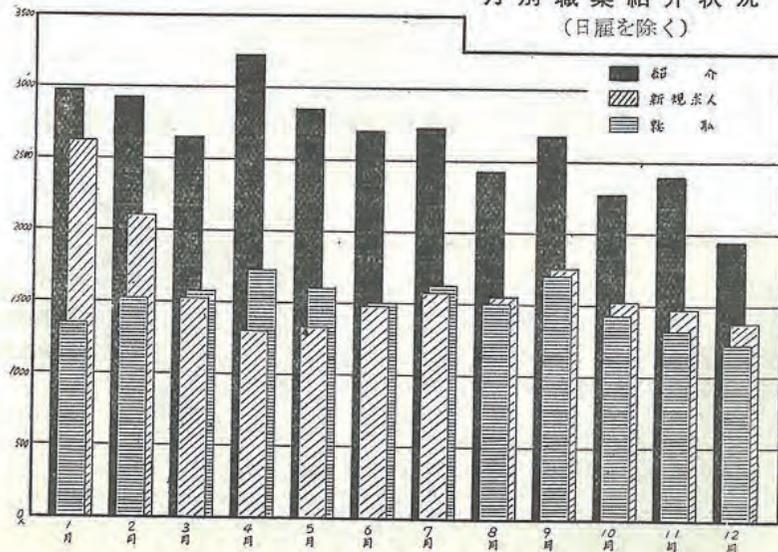
月別紹介状況

(広島公共職業安定所調)

年月別	新規求人		紹介		就職	
	一般	日雇	一般	日雇	一般	日雇
昭和25年	10,488	927,545	13,871	918,243	8,221	911,276
26	11,241	1,172,697	18,618	1,174,916	10,301	1,153,189
27	16,280	1,371,834	28,777	1,377,504	14,105	1,359,762
28	19,687	1,442,575	37,817	1,443,940	18,073	1,424,251
1月	2,638	103,235	2,979	103,709	1,362	102,424
2	2,110	116,731	2,938	116,963	1,520	115,245
3	1,527	132,580	2,643	133,091	1,580	130,923
4	1,305	105,322	3,237	105,324	1,719	103,697
5	1,324	117,314	2,840	117,262	1,598	115,938
6	1,483	115,212	2,692	115,212	1,500	113,136
7	1,583	120,192	2,737	120,136	1,615	118,944
8	1,553	123,494	2,432	123,846	1,508	122,668
9	1,761	116,013	2,688	116,018	1,686	113,966
10	1,532	126,058	2,281	126,050	1,422	124,288
11	1,482	121,422	2,396	121,422	1,338	119,289
12	1,383	145,002	1,954	145,007	1,225	143,733

月別職業紹介状況

(日雇を除く)



産業別紹介状況

産業別	新規求人		紹介		就職	
	一般	日雇	一般	日雇	一般	日雇
総数	19,682	1,442,575	37,817	1,443,940	18,073	1,424,251
農林漁業	22	276	35	276	19	276
鉱業	19	—	83	—	28	—
建設業	919	1,265,181	1,640	1,265,281	874	1,247,824
製造業	10,171	54,995	14,736	55,310	8,935	54,112
卸・小売業	4,590	2,698	8,597	2,702	4,454	2,692
金融及び保険業	444	109	730	109	433	109
不動産業	41	24	75	24	38	24
運輸通信その他 の公益事業	808	99,698	1,676	100,093	724	99,239
サービス業	2,457	18,267	3,812	18,818	2,345	18,653
公務	211	1,327	433	1,327	223	1,322

備考 上記各数とも広島公共職業安定所・宇品出張所大穂分室の合計数である。

失業問題

わが国が現在直面している幾多の重要問題の中には失業者の対策問題も極めて大きな比重を占めている。業界の不振により数多くの労働者達は、容赦なく失業の淵に追いやられていぬいな生活を余儀無く迫られている。

広島公共職業安定所管内の実状をみても、日雇関係の部門はともかく一般部門における失業者の傾向は大幅に増加している。

すなわち、本年の離職票受付人員は、総数7,419人で27年に較べると18.2%、また失業保険の給付人員は総数35,676人で昨年12%とそれぞれ増加している。なお、最近の傾向として女性の離職率が年々上昇している。

一方本市における失業対策事業の実態をみても、その就労適格者は28年末には5,458人(昨年末より10%増)で、これに要する経費は年々予算総額の10%内外が支出され、本年も総額約2億7千万円(最終予算総額の9.7%)の予算が組まれている。

失業保険給付状況

一般の部

(広島公共職業安定所調)

年月別	離職票受付件数			初回受給者			給付実人員			保険金 給付総額
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
昭和25年	4,214	1,692	5,906	3,780	1,511	5,291	—	—	—	136,900,487
26	3,011	1,431	4,442	2,737	1,272	4,009	18,082	8,191	26,273	102,026,110
27	4,075	2,204	6,279	3,078	1,624	4,702	20,401	11,458	31,859	137,450,537
28	4,722	2,697	7,419	4,052	2,154	6,206	23,250	12,426	35,676	192,870,883
1月	439	185	624	411	134	545	1,642	797	2,439	14,614,087
2	299	168	467	271	127	398	1,705	827	2,532	14,292,945
3	297	138	435	233	126	359	1,720	841	2,561	15,533,975
4	591	225	816	472	181	653	1,946	926	2,872	16,091,216
5	340	265	605	348	196	544	1,998	1,009	3,007	16,170,170
6	441	193	634	357	140	497	2,071	1,065	3,136	18,042,560
7	395	239	634	281	176	457	2,107	1,092	3,199	17,801,695
8	400	296	696	337	223	560	2,095	1,132	3,227	15,590,985
9	456	227	683	388	182	570	2,005	1,123	3,128	16,104,745
10	395	178	573	335	151	486	2,043	1,063	3,106	15,839,440
11	391	462	853	372	408	780	1,993	1,330	3,323	15,551,870
12	278	121	399	247	110	357	1,925	1,221	3,146	17,237,195

備考 上記各数とも広島公共職業安定所・宇品出張所・大柿分室の合計数である。

日雇の部

年月別	初回失業認定件数			初回受給者			手帳交付数			保険金 給付総額
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
昭和25年	10,265	8,498	18,763	6,212	5,878	12,090	10,626	5,468	16,094	16,329,180
26	20,997	22,077	43,074	15,630	17,177	32,807	12,605	6,755	19,360	25,154,580
27	24,848	28,693	53,541	18,759	23,451	42,210	11,312	7,216	18,528	39,973,220
28	23,538	31,012	54,550	22,038	32,001	54,039	9,722	7,394	17,116	37,846,170
1月	2,590	2,538	5,128	2,504	2,518	5,022	824	487	1,311	7,052,860

2	1,924	2,684	4,608	1,840	2,650	4,490	914	533	1,447	2,326,980
3	1,961	2,801	4,762	1,883	2,788	4,671	891	669	1,560	1,662,880
4	1,922	2,823	4,745	1,889	2,801	4,690	822	736	1,558	4,649,640
5	1,933	2,603	4,536	1,909	2,600	4,509	759	685	1,444	3,329,740
6	1,894	2,870	4,764	1,865	2,850	4,715	1,007	843	1,850	3,121,340
7	1,919	370	2,289	1,851	2,868	4,719	640	539	1,179	3,324,600
8	1,855	2,860	4,715	1,793	2,794	4,587	857	624	1,481	2,638,750
9	1,885	2,922	4,807	1,824	2,872	4,696	647	590	1,237	3,257,800
10	1,843	2,857	4,700	1,828	2,849	4,677	854	672	1,526	3,058,050
11	1,882	2,810	4,692	1,588	2,402	3,990	972	772	1,744	1,800,390
12	1,930	2,874	4,804	1,264	2,009	3,273	535	244	779	1,623,140

備考 上記各数とも広島公共職業安定所・宇品出張所・大柿分室の合計数である。

失業対策事業

出張所別失業対策事業就労適格者数

(労政課調)

出張所別	昭和27年			昭和28年		
	計	男	女	計	男	女
総数	5,159	2,578	2,581	5,458	2,500	2,958
牛田	59	34	25	71	32	39
尾長	260	133	127	282	129	153
青崎	103	44	59	111	46	65
段原	250	152	98	215	109	106
比治山	142	83	59	201	98	103
仁保	172	40	132	165	60	105
大河	221	118	103	199	76	123
皆実	139	86	53	145	80	65
宇品	555	241	314	572	250	322
似島	32	18	14	36	17	19
基町	328	209	119	356	193	163
宇本直轄	431	229	202	463	229	234

十日市	173	105	68	217	111	106
舟入	233	102	131	241	101	140
観音	182	85	97	189	83	106
巳斐	712	331	381	725	297	428
三篠	222	108	114	231	113	118
草津	93	40	53	112	48	64
市外常住者	852	420	432	927	428	499

備考 上記適格者の外に居住地不明が昭和27年は43人いるので、27年総計は5,202人である。

月別就労人員及び労力費支出状況

年月別	市				県			
	就労人員		支払労力費	就労人員		支払労力費		
	計	男		計	男			
昭和27年	742,002	374,799	367,203	170,805,388	271,657	102,003	169,654	60,692,773
28	812,242	380,263	431,979	206,745,406	290,724	113,304	177,420	72,097,302
1月	55,559	27,553	28,006	13,339,007	19,958	7,797	12,161	4,644,657
2	61,407	29,969	31,438	14,747,620	21,788	8,543	13,245	5,177,618
3	70,555	34,580	35,975	16,951,982	25,336	9,267	16,069	5,991,853
4	58,175	26,264	31,911	13,765,663	20,784	8,274	12,510	4,974,296
5	66,495	30,671	35,824	15,670,088	24,164	9,702	14,462	5,753,040
6	67,873	31,554	36,319	15,988,179	22,626	9,015	13,611	5,393,611
7	72,409	34,423	37,986	18,904,952	26,022	9,782	16,240	6,779,823
8	70,562	33,200	37,362	17,876,105	24,548	9,450	15,098	6,286,552
9	66,449	31,072	35,377	16,369,999	25,227	9,778	15,449	6,161,969
10	71,398	32,167	39,231	18,554,485	25,877	10,023	15,854	6,865,197
11	65,968	29,832	36,136	17,012,433	25,378	10,006	15,372	6,519,710
12	85,392	38,978	46,414	27,514,893	29,016	11,667	17,349	7,548,976

事業別就労人員及び労力費支出状況

事業別	昭和27年		昭和28年	
	就労人員	支払労力費	就労人員	支払労力費
総数	742,002	170,805,388	809,417	206,857,984
街路新設補修事業	147,721	33,502,810	134,197	34,152,190
学校運動場保育園整備事業	81,363	18,377,528	86,839	22,025,000
荒廃市街地	12,349	2,760,000	10,455	2,631,250
公園緑地等	136,074	30,982,500	146,490	37,330,000
道路新設補修	160,167	36,686,020	179,084	45,784,605
河川	7,566	1,800,000	11,410	2,935,625
下水新設補修事業	51,801	12,602,500	31,728	8,175,000
排水	66,732	15,906,441	89,677	23,096,684
農道	37,219	8,656,175	31,486	8,027,575
衛生環境整備事業	41,010	9,531,414	88,045	22,700,055

備考 市営関係のみ

年度別失業対策事業費

区分	昭和21年度	昭和22年度	昭和23年度	昭和24年度
失業対策事業費 対予算総額 (一般会計)	2,393,617	7,372,241	17,936,875	25,157,962
	3.5	5.6	4.2	3.7
区分	昭和25年度	昭和26年度	昭和27年度	昭和28年度
失業対策事業費 対予算総額 (一般会計)	81,223,512	170,594,935	210,576,728	266,313,000
	8.7	12.3	11.0	9.7

労働災害産業別災害発生状況

(広島労働基準監督署調)

産 業 別	昭 和 2 7 年				昭 和 2 8 年			
	総 数	死 亡	休 業		総 数	死 亡	休 業	
			8 日 以 上	8 日 未 満			8 日 以 上	8 日 未 満
総 数	3,367	29	7,477	7,855	3,224	34	7,800	7,390
製 造 工 業	2,429	7	805	1,617	2,158	12	1,029	1,117
金 属 工 業	247	2	138	107	285	2	162	121
機 械 器 具 工 業	1,751	2	381	1,368	1,322	5	502	815
ガ ス ・ 電 気 ・ 水 道 業	21	—	12	9	46	—	34	12
化 学 工 業	34	1	29	4	44	1	28	15
窯 業 及 び 土 石 業	57	1	23	33	32	—	20	12
製 材 及 び 木 製 品 工 業	182	1	140	41	229	—	168	61
紡 織 工 業	4	—	4	—	12	—	11	1
食 料 品 工 業	111	—	57	54	129	1	71	57
印 刷 工 業	15	—	14	1	12	1	10	1
そ の 他 の 工 業	7	—	7	—	47	2	23	22
鉱 業	8	—	8	—	7	1	6	—
運 輸 業	361	3	211	147	279	6	170	103
土 木 建 築 業	334	11	282	41	396	10	327	59
貨 物 取 扱 業	186	1	137	48	317	3	210	104
林 業	15	1	14	—	27	2	24	1
そ の 他 の 産 業	28	6	20	2	40	—	34	6

備考 広島労働基準監督署管内の総数である。

月別災害発生状況

月 別	昭 和 2 7 年				昭 和 2 8 年			
	総 数	死 亡	休 業		総 数	死 亡	休 業	
			8 日 以 上	8 日 未 満			8 日 以 上	8 日 未 満
総 数	3,367	29	7,477	7,855	3,224	34	7,800	7,390
1 月	251	3	114	134	188	4	92	92
2	307	1	122	184	231	4	107	120
3	259	3	119	137	276	1	148	127

4	249	—	118	131	261	3	127	131
5	253	4	114	135	302	1	149	152
6	283	4	126	153	269	3	153	113
7	321	2	135	184	296	6	172	118
8	334	1	145	188	295	3	171	121
9	318	2	139	177	299	2	178	119
10	282	2	116	164	324	1	198	125
11	267	4	120	143	314	2	179	133
12	237	3	109	125	169	4	126	39

労働組合

こんにちの国際情勢並びにわが国の行き詰まりつつある経済事情から、労働者の生活権擁護のために、組合運動はおのずから活発化して来ている。

ベースアップ・諸手当の要求或はその他種々の労働条件改善を叫べば、そのはね返りは特に中小企業において、企業整備更に進んでは工場閉鎖と言うような最悪の事態にまで立ち至ることがある。このようなことから本年も数多くの労働争議が持ち上り、その結果幾多の波乱を巻き起した。広島地方における本年中の主な労働争議を挙げると、中央地区の態度に順応して、まず春季闘争として、1 マーケット・バスケット方式により算出されたベースアップの要求及びストライキ規制法の反対闘争、2 第20回メーデーを中心とする全面的な平和運動、3 夏季手当の獲得闘争、4 秋季年末闘争である。特に秋季年末闘争は、未だかつて見ない強力な共闘態勢をもつて行われた。すなわち国鉄を始めとする3公社・5現業官労組及び一般官公労組が広島地区官公労協議会を結成して、仲裁々定・人事院勧告の完全実施・年末手当1.5ヵ月～2ヵ月分獲得を目標に、超勤拒否・順法・休暇戦術等を広範かつ重点的に展開した。一方民間労組も実行行使を含めた闘争を展開して、それぞれほぼ目的を達成したが闘争手段に行き過ぎがあつたことによつて当局の行政処分を受けた労組幹部があつたことは見逃せない。

なお、市内には今年6月末現在で単位組合数217(組合員数44,817人)、連合団体45組合(組合員数301,735人)が結成されている。

労働組合及び組合員数 (6月30日現在)

(県労政課調)

単 位	組 合		連 合 団 体	
	適用法規別	組合数 組合員数	適用法規別	組合数 組合員数
総 数	組合数 217	組合員数 44,374	総 数	組合数 45 組合員数 301,735
労働組合法	132	23,302	労働組合法	22 183,462
公共企業体等労組法	57	13,774	公共企業体等労組法	13 76,003
国家公務員法	20	2,557	国家公務員法	6 12,614
地方 "	6	3,986	地方 "	3 28,664
地方公営企業労組法	2	695	地方公営企業労組法	1 992

産業別規模別組合及び組合員数 (6月30日現在)

産業別	規模別	総 数		0人 ~49人		50~99		100 ~199		200 ~499		500 ~999		1,000 ~1,999		2,000 以上	
		組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数
総 数	217	44,374	65	7,652	56	3,787	44	6,443	32	10,605	13	9,279	5	7,531	2	5,017	
建設業	15	3,343	3	47	6	393	4	523	1	376	-	-	-	-	-	12,004	
製 造 業	食料品	5	266	2	33	3	233	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	紡 織	1	137	-	-	-	1	137	-	-	-	-	-	-	-	-	
	木材及び木製品	1	5	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	紙及び類似品	1	93	-	1	93	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	印刷出版及び類似品	3	743	1	28	-	-	-	2	715	-	-	-	-	-	-	
	化学薬品及び製品	2	162	-	1	56	1	106	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ゴム製品	4	415	1	46	2	176	1	193	-	-	-	-	-	-	-	
	皮革及び皮革製品	1	82	-	1	82	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ガラス及び土石	2	409	1	29	-	-	-	1	380	-	-	-	-	-	-	
	第一次金属	1	75	-	1	75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
業	金属製品	5	487	1	35	2	154	2	298	-	-	-	-	-	-	-	
	機械器具	3	288	1	40	1	80	1	168	-	-	-	-	-	-	-	
	電気機械器具	3	412	2	57	-	-	-	1	355	-	-	-	-	-	-	
	輸送用機械器具	2	3,753	-	-	-	-	-	-	1	740	-	-	-	-	13,013	
	その他	4	316	2	22	-	-	2	294	-	-	-	-	-	-	-	

卸・小売業	6	1,293	2	24	2	117	-	-	1	326	1	826	-	-	-	-
金融保険業	41	4,083	24	686	12	694	3	492	1	339	-	-	11,872	-	-	
運輸通信その他 の公益事業	21	6,044	4	105	5	320	4	597	5	1,561	21,481	11,980	-	-	-	
サービス業	11	896	7	161	2	141	-	-	2	594	-	-	-	-	-	
公共企業体団体	57	13,774	6	181	12	820	19	2,861	12	3,937	74,814	11,161	-	-	-	
国家公務員団体	20	2,557	5	103	5	353	6	774	4	1,327	-	-	-	-	-	
地方 "	6	3,986	2	50	-	-	-	-	-	-	21,418	22,518	-	-	-	
地方公営企業団 体	2	695	-	-	-	-	-	-	2	695	-	-	-	-	-	

産業別労働争議件数

産業別	総 数		争議行為を伴つたもの				争議行為を 伴わないもの				
	件数	参加人員	小 計		同盟罷業		同盟怠業				
全 産 業	28	21,470	10	14,297	8	11,479	2	2,812	18	7,179	
製 造 業	煙 草	1	1,735	1	1,735	-	-	1	1,735	-	-
	紡 織	1	1,040	1	1,040	1	1,040	-	-	-	-
	化学薬品 及び製品	6	636	-	-	-	-	-	-	6	636
	第一次金属	1	57	-	-	-	-	-	-	1	57
	金属製品	3	326	2	137	2	137	-	-	1	189
	機械器具	1	1,132	1	1,132	1	1,132	-	-	-	-
	輸送用 機械器具	1	3,753	1	3,753	1	3,753	-	-	-	-
	卸売及び小売業	2	337	-	-	-	-	-	-	2	337
	地方鉄道業及び 軌道業	4	7,777	2	3,817	2	3,817	-	-	2	3,960
	運輸に附帯する サービス業	3	2,807	2	2,677	1	1,600	1	1,077	1	130
医療保健業	5	1,870	-	-	-	-	-	-	5	1,870	

労働争議要求別件数

要 求 別	昭和	28	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	27年	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
総 数	38	22	—	—	3	7	2	2	6	7	7	—	2	4
労働協約	2	4	—	—	1	1	—	—	1	1	—	—	—	—
賃金増額	11	7	—	—	2	—	1	1	2	—	—	—	—	1
賃金支払	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
夏季手当	—	3	—	—	—	—	—	1	2	—	—	—	—	—
年末々	8	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
賞与その他賃金要求	8	3	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	1	—
組合に対する不当干渉	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
人事に関する事項	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
解雇反対及び復職要求	—	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—

賃 金

本年6月に実施した職種別民間給与実態調査(特定産業の民間企業体のみについて調査)の結果によると、1人当りの平均給与額は金融業の20,208円が最も高く、最も低いのは卸売及び小売業の11,605円で全体の平均は13,954円となり、昨年に比較すると15.4%の増加を示している。しかし他方において、物価が部分的には下落したのものもあるが、一般的に上昇し家計費の支出が急激に増加(27年の1ヵ月平均より本年は40%の増)しているもので、大半の労働者の生活は相当困難な状態にある。

産業別1人当り給与額(5月分)

産 業 別	常 雇 者		臨 時 日 雇		
	平均給与額	(内)所定外労働時間に対する給与	平均日給	事務職員	そ の 他
全 産 業	13,954円 (13,491)	7,824円 (7,706)	459円 (427)	477円 (500)	459円 (479)
建 設 業	13,693 (12,671)	685 (839)	512 (484)	775 (706)	510 (483)
製 造 業	12,229 (12,818)	2,135 (1,810)	310 (327)	511 (515)	300 (319)
卸売及び小売業	11,605 (11,388)	399 (467)	209 (275)	—	209 (275)
金融保険及び不動産業	20,208 (19,081)	740 (735)	—	—	—
運 輸 業	16,769 (16,362)	2,641 (2,544)	310 (367)	273 (278)	329 (377)
サ ー ビ ス 業	16,922 (14,687)	1,523 (1,290)	925 (925)	—	925 (925)

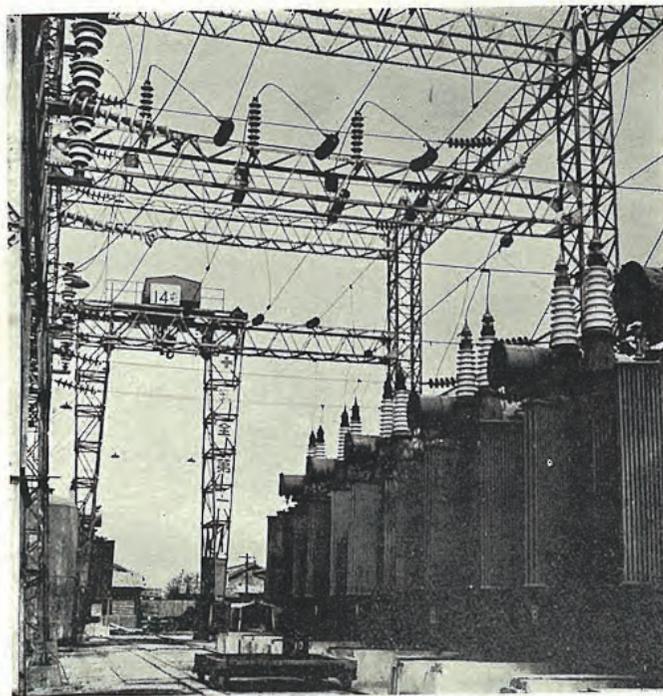
備考 1. 第2回広島県職種別民間給与実態調査による。
2. ()内は広島県6市平均である。

第19編 電気・ガス

中国電力株式会社



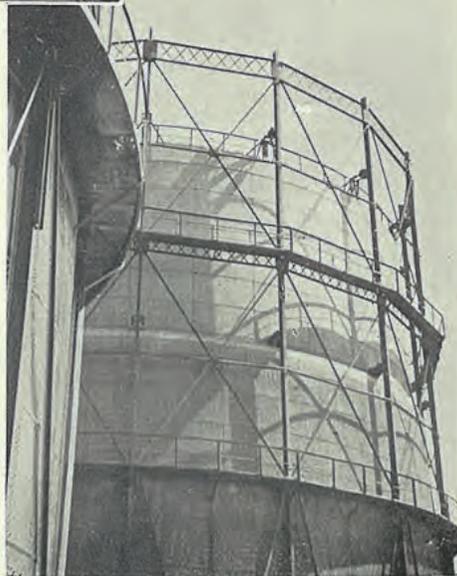
中国電力株式会社本店



広島港変電所



広島ガス株式会社（本社）



ガスタンク

電 気

本市の電気は、中国電力株式会社（本店広島市小町）の供給によつてまかなわれ、その需要は都市の復興・文化の向上に比例して年々増加している。

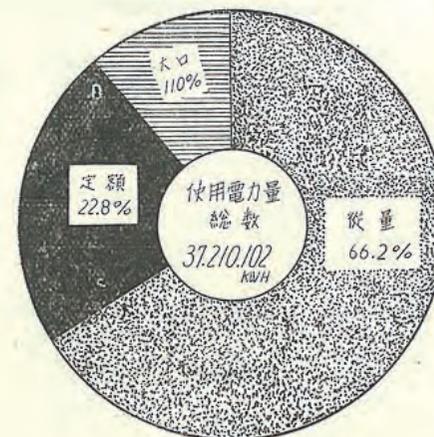
28年中の 使用電力量は、電灯需要（小型機器・ラジオ等を含む）3,721万KWH（27年の8.7%増以下同じ）、電力需要7,927万KWH（3.0%）合わせて11,648万KWH（4.8%）で中電管内総使用量に対して約6%の電力を消費している。

電 灯 需 要

（中国電力株式会社広島支店調）

区 分	総 数	定 額					大 口
		計	一 般	街 路	小型 機 器	ラ ジ オ	
契約口数（口）	74,646	25,226	21,787	3,082	(555)	(10,596)	357
契約灯数・個数 または K W 数	6,702 KW 474,386灯個	54,076灯 個	35,833 灯	6,396 灯	555 個	10,596 個	696 灯
使用電力量 (KWH)	37,210,102	8,472,715	6,500,503	1,201, 902		626,832	143,478
区 分	従 量					大 口	
	計	一 般	街 路	臨 時			
契約口数（口）	48,925	48,896	—	—	29	495	
契約灯数・個数 または K W 数	420,310 灯	420,155 灯	—	—	155 灯	6,702 KW	
使用電力量 (KWH)	24,645,177	24,560,219	—	—	84,958	4,092,210	

電 灯 需 要



電力需要

区分	総数	業務用	小口		
			計	一般	臨時
契約口数 (口)	3,472	59	3,169	3,101	68
契約KW数 (KW)	59,376	5,809	22,830	21,631	1,199
使用電力量 (KWH)	79,273,605	8,727,147	12,921,476	11,860,513	1,060,963

区分	大口					その他
	計	50KW ~ 500KW	500 ~ 3,000	3,000 以上	臨時	
契約口数 (口)	161	121	5	2	33	23
契約KW数 (KW)	29,906	16,298	4,150	7,000	2,458	831
使用電力量 (KWH)	55,838,381	124,336,057	17,174,444	13,426,740	901,140	1,786,601

ガス

市内におけるガスの需要戸数は、この1年間に1,349戸 (前年の15%) が新たに普及して、現在10,089戸となり戦前の状態に接近してきた。これは全戸数に対して約14%に当る。また、消費量もガスストーブ・風呂或いは料理器等の利用増加によつて、年間総消費量は約700万立方メートルで前年の28%増加している。

一方これらの需要に対して円滑な供給を実施するために、生産設備においてもガス炉・門改築・プロデューサーガス製造・要水冷縮器増設等が行われ、現在塔状拭洗器・ガス調整装置が新設されている。

生産設備

(広島ガス株式会社調)

区分	発生炉	ガス当	排送機	圧送機	脱硫機	冷縮器	塔状拭洗器	揚炭機	装出機	炭ガス管	屋内管
原爆前設備数	門8	基2	台3	台2	基3	基4	基1	台1	台1	米264,300	米112,302
現在設備数	7	2	3	4	3	5	1	1	1	—	—
稼働数	5	1	3	3	3	5	1	1	1	329,299	83,873

ガス及び副産物生産量

区分 年月別	石炭消費量	ガス生産量	コークス生産量	コールタール生産量	区分 月別	石炭消費量	ガス生産量	コークス生産量	コールタール生産量
	トン	立方メートル	トン	トン		トン	立方メートル	トン	トン
昭和27年	12,319	6,203,147	8,385	453	6月	1,095	541,600	734	44

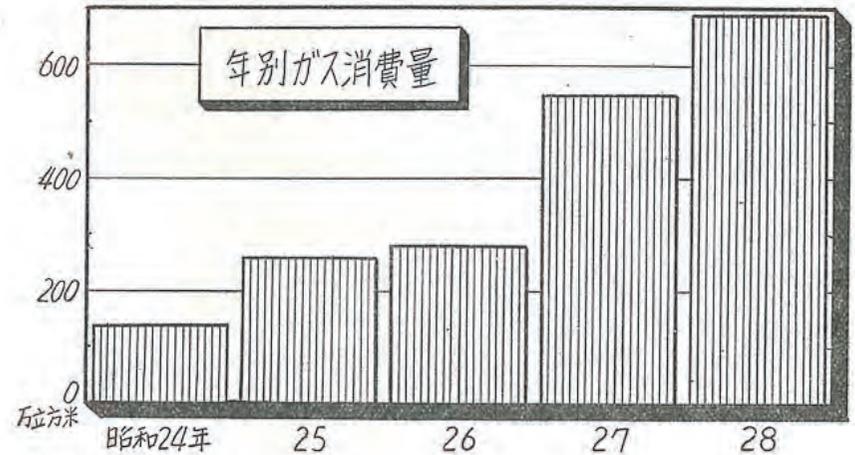
28	14,568	7,476,387	9,753	627	7	962	562,340	645	39
1月	1,591	701,510	1,066	56	8	844	541,842	564	42
2	1,374	626,560	921	48	9	964	551,969	646	48
3	1,419	664,620	949	55	10	1,137	615,660	762	57
4	1,270	611,350	853	48	11	1,274	668,500	853	64
5	1,161	586,530	777	46	12	1,477	803,900	983	74

備考 7月からのプロデューサーガスの生産量は376,957立方メートルでそれぞれの月に含めてある。

需要戸数

区分 年次	総数	家庭用	商業用	医療用	公用	工業用	自家用
	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
昭和27年末	8,740	7,376	1,123	159	45	26	11
28	10,089	8,533	1,311	162	45	27	11

備考 メートル器数による



ガス消費状況

区分 年次	区 分						
	総 数	家庭用	商業用	医療用	公 用	工業用	自家用
昭和24年	1,447,706 立方米	926,189 立方米	210,797 立方米	107,395 立方米	26,843 立方米	134,512 立方米	35,970 立方米
25	2,638,786	1,578,894	539,213	172,740	46,216	193,692	108,031
26	2,840,227	1,530,631	747,423	228,373	46,702	193,744	93,354
27	5,454,773	2,983,029	1,611,223	272,691	161,715	287,674	138,441
28	6,979,427	3,525,615	2,301,779	430,655	200,695	413,102	107,581

全国電灯及びガス需要

(日本統計年鑑)

年 別	電 灯						ガ ス	
	需 要 家 数			契 約 灯 数			需 要 家 数	
	計	定 額	従 量	計	定 額	従 量	計	(内) 家庭用
昭和20年	11,579,702	8,393,748	3,152,532	49,712,122	17,669,439	30,874,958	932,000	—
21	12,471,280	8,931,876	3,510,339	54,448,142	19,288,258	33,794,298	1,049,000	—
22	13,189,215	9,157,428	3,978,541	59,391,932	20,221,142	37,913,385	1,102,000	—
23	13,735,484	9,198,868	4,578,890	65,694,493	20,641,414	42,112,861	1,182,000	—
24	14,345,729	8,864,336	5,505,426	73,950,795	19,868,705	48,825,002	1,264,000	—
25	14,691,001	8,191,776	6,500,850	78,997,603	17,980,140	55,895,845	1,487,002	1,401,380
26	15,097,588	7,549,870	7,547,718	79,941,813	16,314,704	63,627,109	1,731,798	1,635,542

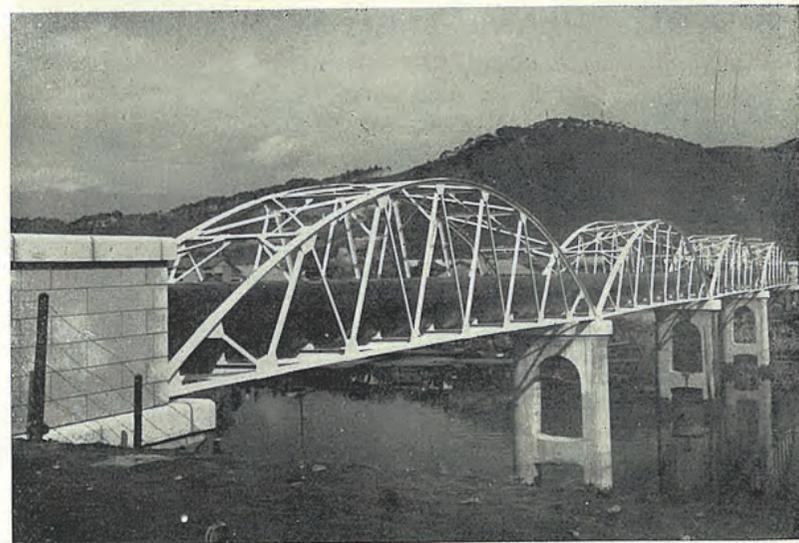
- 備考 1. 電灯は各年度末(3月31日)、ガスは各年末(12月31日)現在。
 2. 契約灯数昭和26年は大口電灯を除く。
 3. ガスの昭和20年~24年は年平均。

第20編 上 水 道

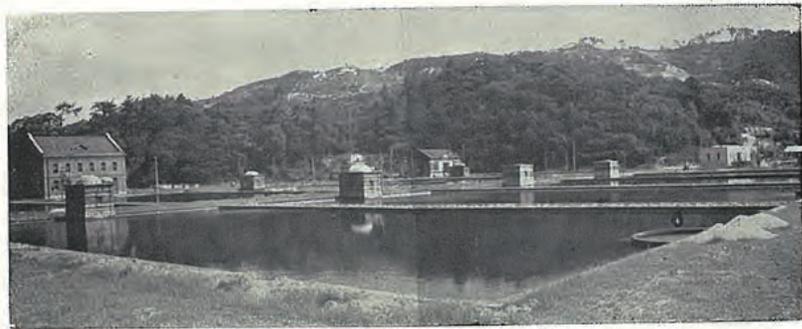
廣島市水道局庁舎



広島市水道局庁舎



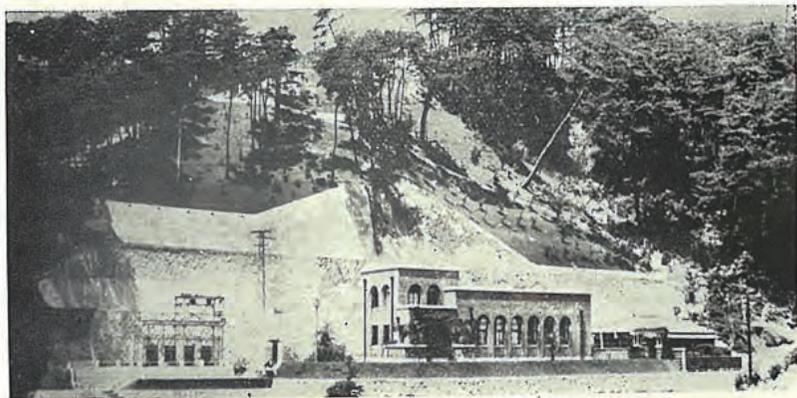
神田橋水管橋(900口径)



水源 地 (浄水場)

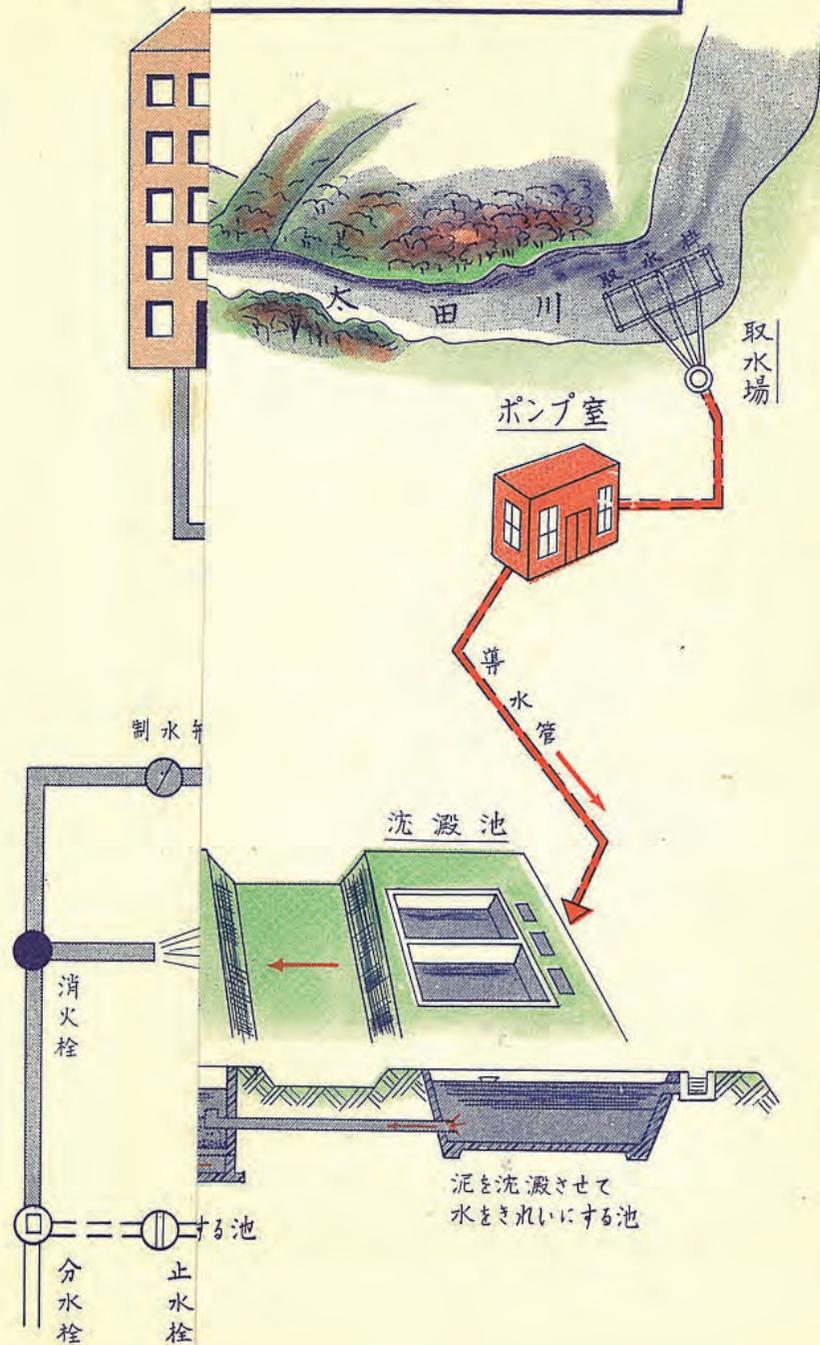


祇園町原村の取水場



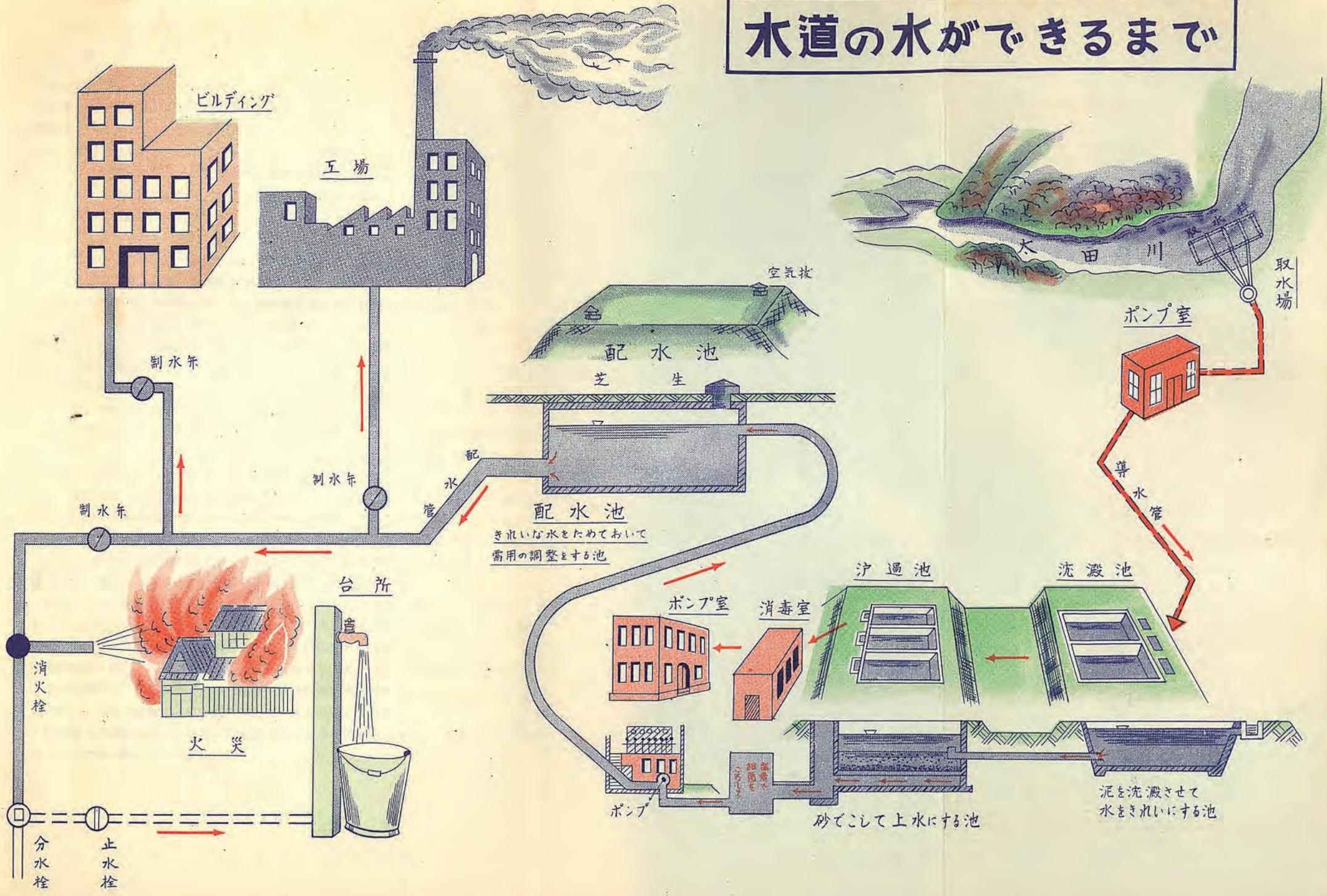
己斐調整場

ができるまで



下
治
す
よ
調
申
は
さ
円
お
開
円
隆
事
人
行
方
れ
る
懸
子
日
し
こ
施
変
最
来

水道の水ができるまで



沿 革

都市生活においてわれわれの生活上必須の飲料水について、当市発足当時は良質の地下水に恵まれず市民の不便は言語に絶するものがあつた。よつて市では市制施行当時（明治22年4月）から上水道の必要性を痛感していたのであるが、何しろ多大な経費を必要とするので、当時の市財政としては時期を待つより外はなかつた。しかるに明治27年に至りようやくこれが具体計画に入り、同年4月まず内務省顧問の英人バルトン氏を招いて実地調査の上、上水道布設計画案をものにし翌28年バルトン氏案による上水道布設方を本省に申請したのであるが、同年11月突然臨時広島軍用水道布設官制が發布となり、本市の申請は一応却下の憂目を見るに至つた。

ここにおいて止むを得ず軍用水道へ市水道の接続方を申請したところ、さいわい許可されたので軍用水道と並行して接続水道の工事を進め、31年8月両者完成（工費軍側64万円・市側29万5千円）と同時に向う30年間軍用水道使用の許可を得、両者を合わせて市において管理することとなり、32年1月から軍並びに市内一円に対しいよいよ待望の給水を開始したのである。その後市制の発展に伴い明治40年3月から41年3月まで工費14万6千円をもつて第1期拡張工事を行い、大正年間に入つて第1次世界大戦により各種事業は興隆し、従つて水道も大正10年5月から同13年6月まで工費190万円をもつて第2期拡張工事を行つた。その後広島市は増々発展し昭和4年の隣接7ヵ町村の合併によつて人口26万人となり、昭和5年8月から10年3月まで工費2百2万5千円をもつて第3期拡張工事を行つて来た。これと昭和17年3月に完成した水源地応急施設工事によつて1日最大10万立方メートルの給水能力を有するに至つたのである。

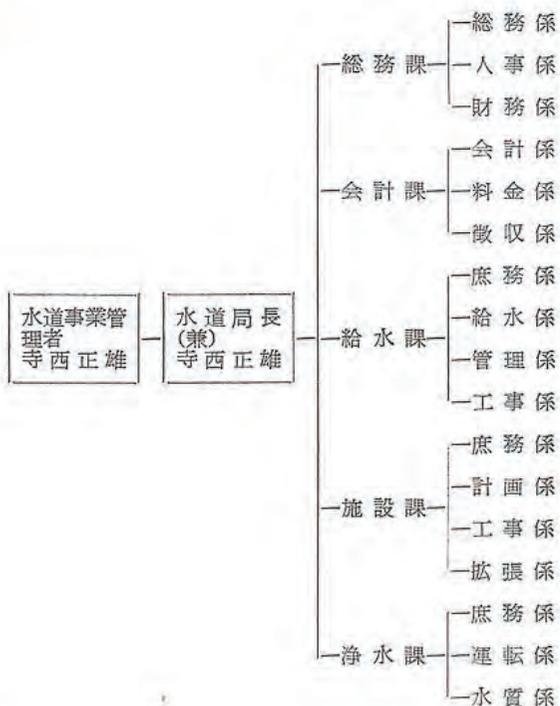
一方支那事変の拡大と当時の国際情勢よりして、将来広島市の飛躍的膨脹が予想せられたので、市では昭和16年度において同30年末における1日最大給水量を20万立方メートルとする第4期拡張を計画したのであるが、工事着手と同時に第2次世界大戦に突入し、情勢の悪化に伴い折角の計画もほとんど中止状態に立ち至つたばかりでなく、20年8月には「原子爆弾」のため上水道施設もまた腰減の被害を被つたのである。

終戦後市街の復旧に平行して戦災復旧工事に全力を注ぎ26年3月大体これを完了、1日6万立方メートルの給水能力にまで復旧することを得たのであるが、市街の復旧は実に目覚ましいものがあり、6万立方メートルの能力をもつてしては到底まかない切れない状態となつた。この難関を切り抜けなお将来の市勢の発展に対応するためには、この際急提拡張工事を実施するの外道はないので、市では前記第4期拡張計画に再検討を加え、これが根本的計画変更を行い、昭和38年度における総人口を40万人と推定し、給水人口35万人/日/人当り最大給水量0.340立方メートル、1日最大給水量12万立方メートルの設備を目途として昭和26年7月以来年々その工事を急いでいる。

水道の水



機 構



所 在 地

水道局(総務・会計)基 町	已斐調整場	已斐町
牛田浄水場(浄水課)牛田町	比治山	比治山町
水道局市役所受付 国泰寺町	元宇品	元宇品町
原取水場 安佐郡祇園町字原	向洋加压ポンプ所	安芸郡府中町
拡張事務所 牛田町(浄水場内)	大河	仁保町大河
	宇品港湾事務所	宇品町

職 員 数

課 係 名	職 員 数			課 係 名	職 員 数								
	合 計	職 員	臨 時 職 員		合 計	職 員	臨 時 職 員						
総 数	449	266	183	管理係	27	12	15						
総務課	計	51	26	25	施設課	計	68	48	20				
	総務係	33	15	18						庶務係	14	6	8
	人事係	7	4	3						計画係	17	14	3
会計課	財務係	11	7	4	浄水課	計	84	50	34				
	計	105	61	44						水質係	5	4	1
	会計係	11	7	4									
料金係	53	23	30	給水係	21	17	4						
徴収係	41	31	10					給水係	21	17	4		
計	141	81	60									給水係	21
給水	19	9	10	給水係	21	17	4						
給水	21	17	4					給水係	21	17	4		

水道施設拡張推移

拡張 期 別	主 要 工 作 物	起 工 年 月 日	完 成 年 月 日	計 画 給 水 量			備 考
				1日/人平均 均給水量	1日/人最大 大給水量	1日最大 配水量	
創 設	牛田取水場(現排水設備)、量水池(廃止)、外燃機送水ポンプ設置、洗滌池2池(現ろ過池)、緩速ろ過池4池、配水池2池、配水井1、量水器室	明治 29年5月	明治 31年8月	70.79	106.19	12,742	計画給 水人口 12万人
第1期 拡 張	緩速ろ過池1池	明治 40年3月	明治 41年3月	70.79	106.19	17,000	計画給 水人口 16万人
第2期 拡 張	牛田取水塔、砂溜池、牛田取水ポンプ所、洗滌池/池(現ろ過池)、緩速ろ過池2池、第2送水ポンプ室、配水池3池、配水井1	大正 10年5月	大正 13年6月	99.11	148.66	36,000	計画給 水人口 25万人

第1回 改良工	既設配水池覆蓋設置	大正 13年6月	大正 14年2月					
	塩素滅菌室設置	大正 14年1月	大正 14年8月					
	内燃機閥据付	大正 15年4月	昭和 2年3月					
第3期 拡張	油送設備設置	大正 15年8月	昭和 2年3月					
	原取水設備設置、接合井、原取水ポンプ室、ろ過給水管、配水池2池、配水井、第二ポンプ所1台増設、己斐調整池	昭和 5年8月	昭和 10年3月	127.42	191.14	82,557	計画給水人口 40万人	
第2回 改良工	比治山ポンプ所設置	昭和 14年5月	昭和 15年12月					
	牛田浄水場応急ポンプ設置	昭和 14年12月	昭和 17年3月	167.00	250.00	100,000	計画給水人口 40万人	
	取水栓補修工事	昭和23年	昭和 27年11月					
	向洋加圧ポンプ所	昭和 26年2月	昭和 26年4月					
第4期 拡張	元宇品調整場設置	昭和 25年12月	昭和 26年4月					
	緩速ろ過池8号第2次世界大戦により中絶	昭和 17年3月	昭和 22年3月	計画 269.50	計画 309.60	計画 200,000	計画給水人口 64万6千人	
変更 第4期 拡張	緩速ろ過池/池、沈澱池/池、浄水池、第三ポンプ所(計画中) 戸坂表流水取水場、沈澱池、急速ろ過場、配水池、仁保調整池、己斐調整池	昭和 26年4月	(計画) 昭和 33年3月	230	340	120,000	計画給水人口 35万3千人	

施設状況

取水・ろ過・滅菌・送水施設

(水道局調)

施設別	区分	戦前	現在
取水設備	取水用ポンプ	4台(内1台予備)	6台(内2台予備)
	最大取水能力	1.32m ³ /s (1台能力0.33)	1.98m ³ /s (1台能力0.33)
ろ過設備	緩速ろ過池	10池(予備2)	12池(予備2)
	有効総面積	16,590m ² (3,316m ² 予備)	21,496m ² (3,582m ² 予備)
	一昼夜標準ろ過速度	7.2m	5.2m
滅菌設備	一昼夜ろ過能力	95,594m ³	93,152m ³
	機械式塩素滅菌器	3基	4基
送水設備	送水用ポンプ	10台 (内予備5台 ディーゼル内燃機 直結ポンプ3台)	10台 (内予備5台 ディーゼル内燃機 直結ポンプ3台)

調整場・加圧ポンプ所

名称	ポンプ台数	能力	調整池容量	備考
己斐調整場	横型タービンポンプ 3台	1台揚水量 2.27m ³ /m	877m ³	第3期拡張時 (昭和5年8月~10年3月建設)
元宇品	横型 3段タービンポンプ 2台	1台揚水量 0.5m ³ /m	126m ³	昭和26年4月建設
比治山	直立型 3段タービンポンプ 1台	1台揚水量 4.6m ³ /m	100m ³	昭和15年12月建設 昭和24年10月改良
向洋加圧ポンプ所	横型タービンポンプ 1台	1台揚水量 7.0m ³ /m		昭和26年4月建設

配水管

口径別配水管延長及び水管橋

口径別	配水管延長		水管橋		
	鑄鉄管 (鋼管を含む)	エタニツト パイプ	水管橋	添架	伏越
総数	(423,809)米 424,692	(3,574)米 4,300	(4) 4	(16) 16	(4) 4
75	5,170	528			
100	259,919	2,833		中央橋・新庄橋	
125	19,244	—			
150	35,486	800			
175	7,350	—			
200	8,482	—			
250	24,311	—		万代橋・横川橋・西大橋・府中橋	
300	16,072	—		御幸橋・相生橋・新大洲橋	
350	6,381	—		本川橋・已斐橋	天満伏越・福島伏越
400	12,986	—	新大橋	元安橋・京橋	
450	13,459	—	猿猴橋	明治橋	住吉伏越・観音伏越
500	7,362	—		三篠橋・猿猴橋	
550	2,958	—			
600	502	—			
650	714	—			
700	71	139			
750	3,972	—	栄橋		
900	253	—	神田橋		

備考 () 内は、昭和28年末の現在数である。

年別配水管の延長

年別	延長	年別	延長	年別	延長
明治35年	89,118 ^米	昭和1年	204,889 ^米	昭和25年	384,455 ^米
40	106,031	5	229,450	26	393,610
大正1年	119,488	10	348,384	27	427,323
5	127,486	15	366,470	28	428,992
10	129,260	20	378,763		

給水状況

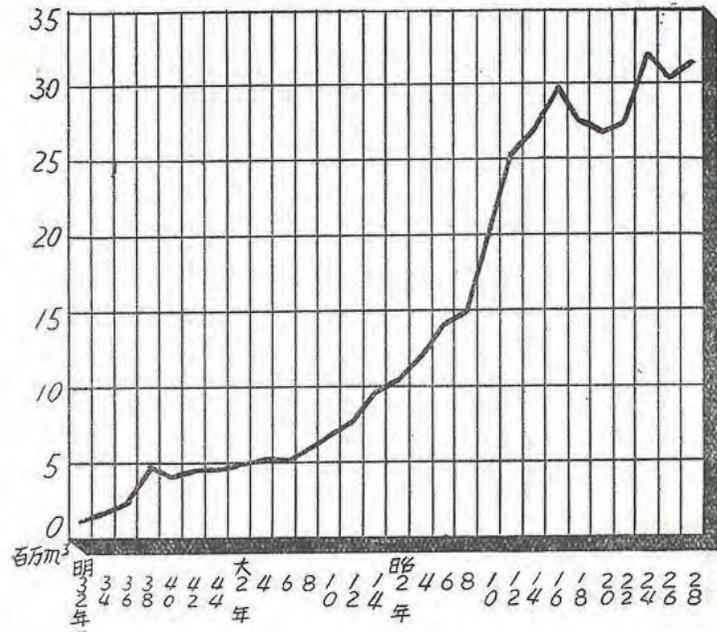
給水普及状況

年別	給水戸口数		普及率		配水管総延長 ^米
	戸数	人口	戸数	人口	
明治35年	16,397 ^戸	81,555 ^人	48.0%	69.0%	89,118
40	22,807	113,405	57.0	85.0	106,031
大正1年	27,538	137,690	61.0	89.0	119,483
5	38,672	135,352	90.0	89.0	127,486
10	37,910	154,431	97.0	97.0	129,260
昭和1年	49,560	197,744	96.0	96.0	204,889
5	53,278	218,439	64.0	81.0	229,450
10	64,487	258,703	79.0	83.0	348,384
15	71,540	287,144	72.0	70.0	366,470
20	—	5,400	—	3.9	378,763
25	52,762	211,048	73.0	73.0	384,455
26	53,957	221,832	70.0	73.0	393,610
27	57,233	237,233	71.0	75.0	427,323
28	60,124	251,268	71.0	76.0	428,992

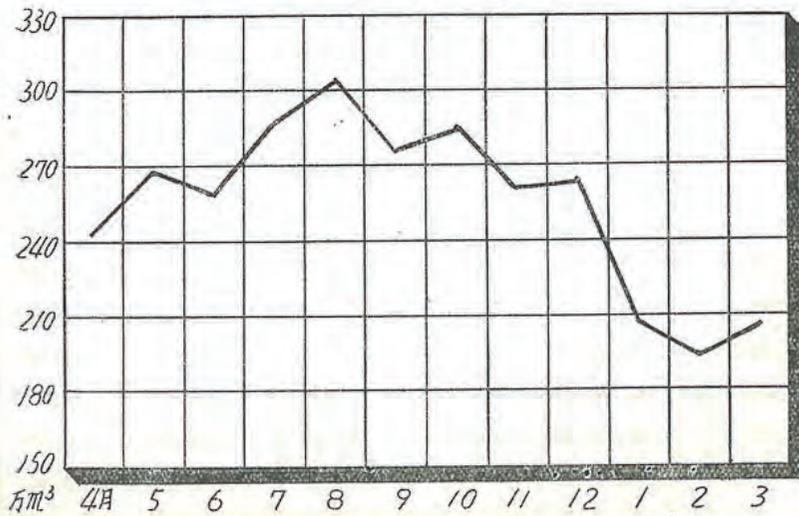
年別1日平均及び1日最大給水量

年別	年間総給水量	1日最大給水量		1日平均給水量	1日/人平均給水量
		月日	給水量		
昭和21年	26,156,550 ^{立方米}	7・10	85,993 ^{立方米}	71,661 ^{立方米}	0.621 ^{立方米}
22	26,968,305	3・30	88,662	73,885	0.527
23	27,545,553	8・5	90,506	75,467	0.399
24	29,205,141	9・8	96,015	80,013	0.399
25	30,666,300	8・24	100,820	84,017	0.398
26	30,215,325	9・19	99,337	82,781	0.373
27	28,880,439	8・27	94,948	79,124	0.337
28	31,419,803	8・24	97,000	86,002	0.342

年度別配水量



昭和28年度月別配水量



口径別量水器設備数

總数	13耗	20耗	25耗	40耗	50耗	75耗	100耗	150耗	200耗	250耗
個 9,707	個 6,058	個 1,357	個 1,720	個 309	個 122	個 78	個 40	個 19	個 3	個 1
34	—	—	—	—	15	7	11	1	—	—

備考 下段は複管式メーター

水道復旧並びに補強改良事業

事業種別	工事費 総額	昭和28年 度までの 実施額	昭和29年 度以降 残工事額	摘 要
総額	千円 1,417,465	千円 380,525	千円 1,030,940	
水道事業	223,022	72,082	150,940	区画修理事業にともなう配水管の移設工事(昭和24年度より5ヵ年計画)
第4期拡張工事	1,112,850	232,850	880,000	昭和27年度より6ヵ年計画
災害復旧事業	75,593	75,593	—	戦災以来の災害復旧費

給水工事及び修理事件数

給水工事			修繕工事	
申込	設計	使用管類延長	屋内	道路上
5,149 件	4,656 件	133,658 米	33,760 件	3,179 件

備考 修繕工事は昭和27年度の合計である。

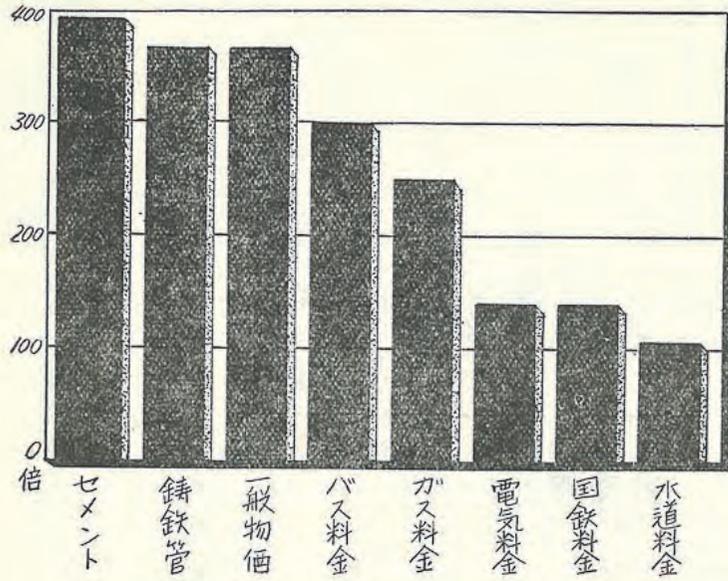
現行水道料金表及び変遷表

用途別	用途及び賦課標準異動	自昭.23.8./ 至昭.24.3.3/	自昭.24.4./ 至昭.26.11.30/	自昭.26.12./ 在	備	考
専 用	戸5人迄 人増す毎に 交陸/本につき	50.00	80.00	110.00	1) 量水器使用料 13耗~20 20ヶ~30 25ヶ~40 2) 共用陸の鍵、鑑札の再交付の 場合 鑑/個につき 45 鑑札/個につき 5	
		10.00	15.00	20.00		
運 合	戸5人迄 人増す毎に	9.00	9.00	20.00		
		40.00	65.00	90.00		
共 用	戸5人迄 人増す毎に	10.00	15.00	20.00		
		25.00	40.00	60.00		
浴 槽	人増す毎に 個につき	5.00	8.00	15.00		
		—	—	20.00		
牛・馬・豚 家 事 用	個につき 頭につき	—	—	20.00		
		—	—	20.00		
計	10立方米迄 1立方米超過毎に	50.00	80.00	80.00		
		6.50	10.00	10.00		
官公署・学校用	20立方米迄 1立方米超過毎に	100.00	160.00	200.00		
		6.50	10.00	13.00		
営 業 用	20立方米迄 1立方米超過毎に	160.00	250.00	250.00		
		10.00	15.00	15.00		
工 場 用	50立方米迄に 1立方米超過毎に	200.00	400.00	2,000.00		
		6.50	10.00	13.00		

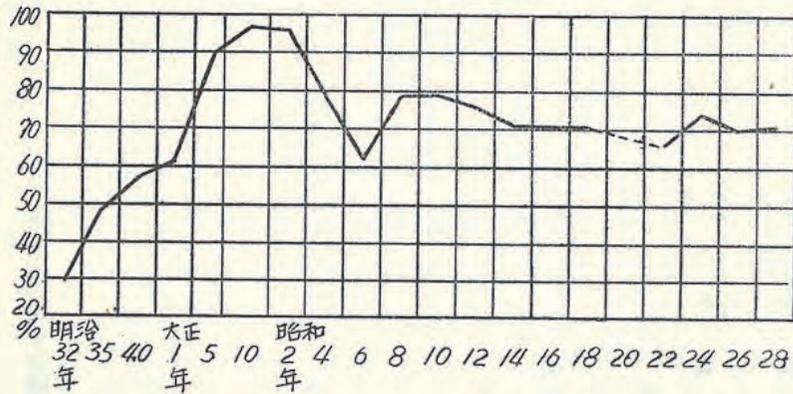
用途別	用途	自昭.23.8./ 至昭.24.3.3/	自昭.24.4./ 至昭.26.11.30/	自昭.26.12./ 在	備	考
湯 屋 用	10立方米迄 1立方米超過毎に	200.00	320.00	650.00	100立方米迄 650.00	
		3.00	5.00	7.00		
船 舶 用	岸壁給水/立方米につき 運搬給水/立方米につき	—	—	13.00		
		6.00	10.00	60.00		
原動力/時工事 用その他	20立方米迄 1立方米超過毎に	400.00	640.00	1,000.00		
		20.00	82.00	35.00		
娯楽散水の その他	20立方米迄 1立方米超過毎に	—	—	900.00		
		—	—	50.00		
共 用 栓	10立方米迄 1立方米超過毎に	40.00	65.00	65.00		
		5.00	8.00	8.00		
消 火 栓	演習用その他に使用する もの/立方米につき 火災用	—	—	35.00		
		—	—	無		

港外/漕を超える毎に下記の通り
加算
/立方米につき 15円
夜間荒天時 5割増

各種料金の倍率表
(昭・28・10現在・基準年次 昭・11)

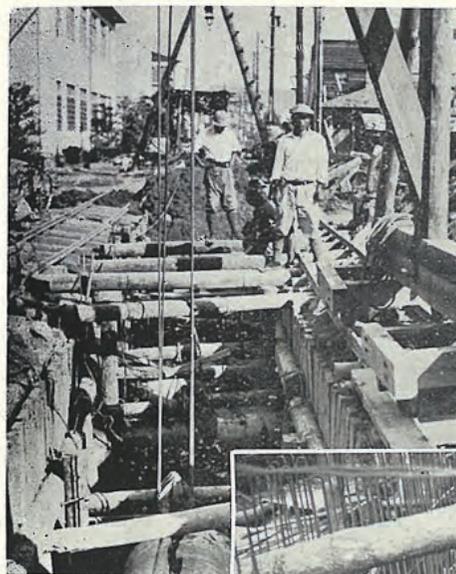


給水戸数の普及率



第21編 下 水道

鐵水不識段



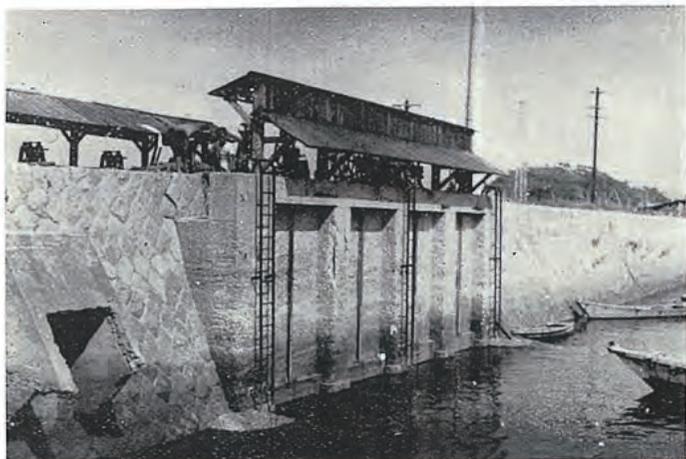
下水管布設工事



暗渠築造工事



同完成



樋門 (南観音町)



下水管滑掃



抽水所 (御幸橋)

概要

本市は、太田川の川口の7つの川にまたがる沖積デルタの上に立っており、市街地の大部分が高水面よりも低位にある特殊な地勢にある。従つて下水道の創設は、わが国でも最も古い一つに数えられている。すなわち、明治33年には早くも事業計画を樹立、同41年3月に着工、主として旧市内一円(排水面積約5/3ヘクタール)に施行し、大正15年5月完工した。

その後、市勢の発展に呼応して年々若干の増補工事を行つてきたが、満洲事変を契機として人口は急増したので、下水道の全面的改良の必要に迫られ、昭和10年度より下水道調査費を予算に計上して、改良下水道の計画を急ぐこととなつた。しかるに昭和20年8月6日の原爆被害により、ついに計画の完成をみるに至らず、当時の貴重な関係資料の大半を散逸又は焼失した。

戦後、都市復興計画に伴つて再検討し、昭和24年に戦災区域はもとより、全市にわたる根本的な改良下水道計画を樹立した。これを同年都市復興5ヵ年計画事業の一環として工事に着手、昭和26年主務省より第1期下水道築造事業(10ヵ年継続)の施行認可を得て現在施行中である。

現在施設の概要

管 き よ

暗 き よ (昭和28年末現在)

(下水課調)

種 別	形 状	口 径 別 延 長					
		総 数	40糎未満	40糎以上	45糎以上	100糎以上	150糎以上
		米	米	米	米	米	米
総 数		194,660	137,040	14,970	33,440	7,090	2,720
陶 管	円 形	155,280	120,980	11,100	23,200	—	—
鉄筋コンクリート管	〃	27,780	16,060	2,490	6,670	1,880	680
現場打暗きよ	馬てい形・船形・卵形	11,600	—	1,380	3,570	5,210	1,440

開 き よ

種 別	幅員別				
	総 数	1米未満	1米以上	2米以上	3米以上
硬質構造(石積)	米 197,960	米 38,880	米 91,440	米 42,780	米 24,860

ポンプ場

名称	ポンプ施設				排水能力 m ³ /s	排水区域	
	ポンプ型式	口径	馬力	台数		区域名	面積 ヘクタール
總数				37	34.87		3,263
宇品抽水所	横型軸流	800	150	4	5.80	宇品町一円	207
江波	〃	800	110	1	1.35	舟入・江波	111
庚午	〃	750	100	3	3.60	古田・庚午	509
観音	〃	750	100	3	3.60	観音一円	349
鶴見	〃	700	100	1	1.07	鉄砲・流川・幟・ 平塚・鶴見・宝・	110
御幸橋	堅型軸流	800	150	2	3.20	基・八丁堀・袋・ 国泰寺・平野	388
千田	〃	800	150	2	3.20	大手・千田	100
大洲	〃	800	100	3	4.03	大洲・矢賀	504
東雲	〃	800	100	2	2.68	東雲・段原	234
大河	複吸水渦巻	650	80	3	3.12	皆実・翠・霞・旭 ・大河	403
牛田	〃	600	60	1	0.71	牛田一円	124
覆町	〃	600	60	1	0.71	覆・堺・新市	16
常盤	〃	550	60	1	0.57	白鳥一円	58
広瀬	〃	550	60	1	0.57	広瀬一円	19
青崎	〃	350	30	3	0.66	向洋一円	131

ポンプ場沈砂池

ポンプ場名称	形式	池数	池の寸法				総有効 容量 立方米	計画 滞流 時間 分	計画流速 cm/S
			長又は径 米	幅 米	深 米	水深 米			
庚午抽水所	長方形	1	14.00	10.00	3.40	1.50	210,000	1.00	24.00
観音	〃	1	14.00	10.00	3.40	1.50	210,000	1.00	24.00
鶴見	〃	1	10.50	6.00	5.40	1.50	94,500	0.60	30.00

貯当池

名称	貯当池 の目的	池数	構造	形状寸法			総有効 容量 立方米	貯当 時間	
				形状	長 米	幅 米			深 米
千田貯当池	放流調節	1	土当・石 積護岸	てい形	320.00	100.00	3.00	96,000	3
吉島	〃	1	〃	〃	160.00	130.00	2.50	52,000	8
江波	〃	1	〃	〃	230.00	150.00	2.70	93,100	6
南観音	〃	2	〃	長方形	{ 160.00 250.00	{ 73.00 70.00	{ 1.40 1.60	44,300	3
庚午	〃	2	〃	てい形	{ 75.00 320.00	{ 50.00 43.00	{ 0.80 1.80	27,700	2
青崎	〃	1	〃	〃	145.00	13.00	1.10	20,070	1

ひ門及び吐口

種別	型式	構造	数量
ひ門	上下開閉式	鉄製扉・電動巻揚	2 カ所
〃	〃	木製扉・手動巻揚	26
〃	自在扉開閉式	〃	12
吐口	〃	木製扉	82

かんがい所

名称	ポンプ施設				かんがい 能力 m ³ /s	かんがい区域	
	型式	口径	馬力	台数		区域名	面積 ヘクタール
總数				7	7.64		478
空轉灌溉所	複吸水渦巻	400	53	1	0.34	観音農区	86
小網	〃	300	25	2	0.17	〃	86
河原	〃	400	80	1	0.50	江波	79
吉島	〃	300	25	1	0.19	吉島	60
新多聞	〃	350	30	2	0.44	東雲	167

私設下水道普及状況

排水区名	私設下水道義務区域			私設下水道施設済区域			普及率	昭和28年 施行済 戸数
	面積	戸数	人口	面積	戸数	人口		
総数	850	31,770	118,460	458	14,600	66,840	47	1,060
尾長	77	2,070	7,980	66	1,120	4,400	54	4
大洲	40	2,080	7,950	20	1,010	3,890	48	9
段原	67	4,940	17,490	37	2,650	10,400	53	49
翠	12	190	810	4	50	200	26	—
白鳥	37	1,560	6,320	17	660	2,600	42	40
鶴見	111	5,520	20,290	45	2,060	7,940	37	314
千田	268	6,950	26,860	148	2,880	11,790	41	342
吉島	22	580	2,280	7	170	10,100	29	19
江波	149	4,600	17,960	68	2,510	9,650	54	236
観音	53	1,760	6,800	40	1,080	4,160	61	30
草津	14	920	3,720	6	410	1,710	44	17

改良下水道計画概要及び実施状況

本市の改良下水道は、合流式を採用して同一管きよ内に雨水及び汚水（家庭汚水・し尿・工場排液）を収容し、附近の水流に直接放流することを避け、まず流末に設ける下水処理場にすべて導流して適当に処理した上、河海にポンプ排水するもので、豪雨などにより管きよ内の下水水量が増加して通常汚水量の3倍以上に達した場合に限り、超加水量を余水吐より放流する計画である。この改良下水道は河海の清浄保持につとめると共に、し尿処理の問題をも同時に解決して平和記念都市の文化的衛生施設としての使命を果さんとするものである。なお、全体計画概要は次表のとおりである。

改良下水道全体計画概要

計画区域	排水面積	計画排水人口	排水方式	下水基準			施設			事業費概算
				降雨強度	雨水算定式	1人/日最大汚水量	時間最大汚水量	管きよ	ポンプ場	
市全域 (山林その他を除く)	約 3,400	400,000	合流式	45	デュクリ チーグラ ー公 式	350	490	約 353,000	15	約 630億円

この計画を実施するには、総工費30億円余の巨費を要する大事業であつて、本市財政の現状よりして到底短時に完成することは不可能であるので、これを第1期・第2期に分けてその重要度に応じて施行する方針である。

なお、認証事業別の計画概要及び進捗状況は次のとおりである。

事業別計画概要

事業名	施行区域	排水面積	計画排水人口	施設			起工年月日	完工年月日	事業費概算
				管きよ	ポンプ場	汚水処理場			
総数		2,430	288,700	239,490	9	1			2,162,600
第1期下水道築造事業	戦災区域	1,170	163,400	221,100	4	1	昭. 26.4.1	昭. 36.3.31	1,579,600
宇品幹線下水道築造事業	宇品町部 牛田・尾長・大洲 段原・旭 吉島・江波・草津	30	4,300	490	—	—	昭. 27.4.1	昭. 29.3.31	11,000
排水施設整備事業		1,230	121,000	(幹線水路) 17,900	5	—	昭. 26.4.1	昭. 36.3.31	(都市計画決定のみ認可) 572,000

事業別進捗状況

事業別	施工年度	施行内容			事業費	進捗率
		種別	工種	数量		
総数				(管きよ) 19,090 (ポンプ場) 3カ所	254,048	11.0
第1期下水道築造事業	27年まで	管きよ	千田・鶴見・江波排水区幹線築造	11,590米	117,680	6.0
		ポンプ場	鶴見ポンプ場築造(一部完了)	1カ所	28,000	15.0
	28年	管きよ	千田・鶴見・江波排水区幹線築造	7,120米	80,804	4.0
宇品幹線下水道築造事業	27年まで	管きよ	幹線築造	380	10,200	93.0
	28年	〃	〃 (第2期)	160	4,200	41.0
排水施設整備事業	27年まで	ポンプ場	江波ポンプ場築造(一部完了)	2カ所	17,364	3.0
	28年	〃	吉島 〃 (第1期)	1カ所	4,979	0.9

第22編 市民生活

新中興市 蘇州



初秋の城跡(毎日新聞提供)



市内河川の水泳



八月の川祭り



盂蘭盆お嘉参り (毎日新聞社提供)



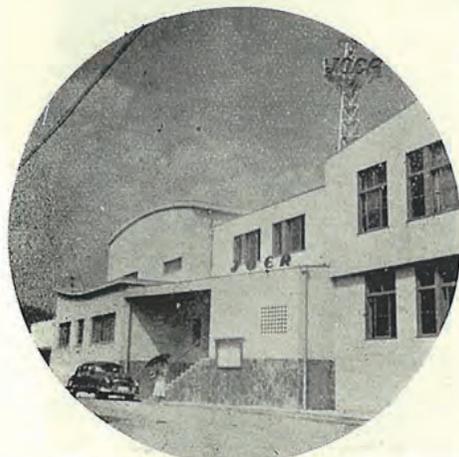
盆踊り



広島中央放送局 (JOFK)



放送合唱団

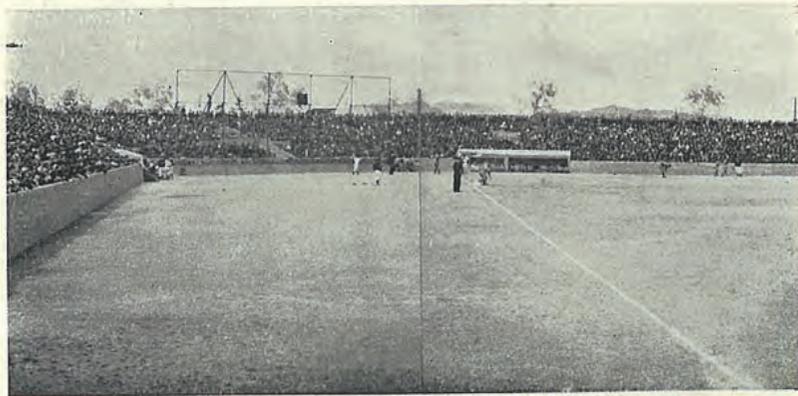


ラジオ中国 (JOER)

宝塚劇場



東洋座



広島球場



魚のせり風景

広島中央魚市場



広島市中央卸売市場



中央卸売市場の朝



専売公社広島地方局（工場内部）



亥の子風景

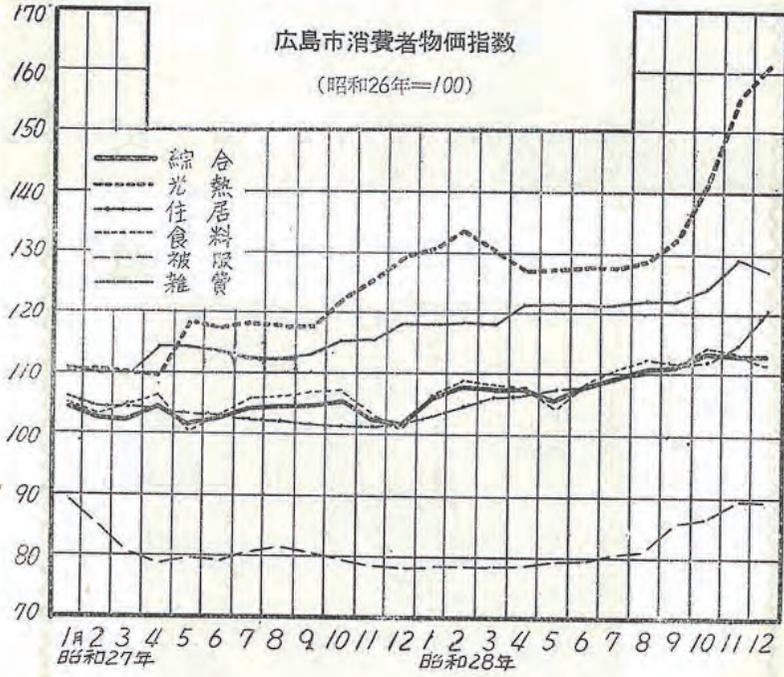
市 民 道 徳

- 一、強い信念を持つて平和のためにつくしましょう。
 - 一、正直で謙譲な市民になりましょう。
 - 一、思うことを正しく言える市民になりましょう。
 - 一、言葉は静かに愛想よくいたしましょう。
 - 一、他人の私事についてよくないうわさをすることはやめましょう。
-
- 一、会合の時間はきちんと守りましょう。
 - 一、交通規則を守り老幼婦女子に席を譲りましょう。
 - 一、公園や道路に紙くずやきたない物を捨てないようにいたしましょう。
 - 一、草木鳥獣を愛しましょう。
 - 一、服装を正し胸を張り大手を振つて歩きましょう。

物 価

物価は、部分的には下落を示した品目も見受けられるが、全般的には季節的変動により、多少の高低をたどりながら漸騰の気配にある。

昭和28年末現在における本市の消費者物価指数（昭和26年を100とした場合）を大分類別にみると、最も高騰しているのが光熱費で160.6（この1年間に30%騰貴以下同じ）、続いて雑費127.3（9.2%）、住居費120.9（17.9%）、食料費111.9（5.4%）となっている。また被服費は26年に比べれば10.5%の下落となつているが、28年中に10.8%の騰貴を示しており、結局総合指数は113.0で11月の1年間に7%も騰貴した。



広島市消費者物価指数 (昭和26年=100)

(総理府統計局調)

年 月	総合	食料	被服	光熱	住居	雑費
昭和27.1	106.0	106.5	78.7	130.6	103.0	118.1
2	107.9	109.1	78.7	133.8	104.8	118.5
3	107.3	108.6	78.8	130.3	106.4	118.3
4	107.5	107.9	78.9	127.2	106.8	121.5
5	105.9	104.8	79.4	127.1	107.4	121.7
6	108.0	108.5	79.6	127.3	108.4	121.6
7	109.7	111.0	80.8	127.7	109.7	121.6
8	111.1	112.9	81.1	128.7	110.4	122.4
9	111.2	111.8	85.8	132.2	111.4	122.2
10	113.7	114.3	86.5	141.5	112.2	124.5
11	113.1	113.3	89.4	155.6	115.0	129.1
12	113.0	111.9	89.5	160.6	120.9	127.3

家 計

収入 (勤労者世帯)

本市の勤労者世帯における昭和28年1ヵ月平均の実収入総額は24,962円 (全都市平均より約1,100円 (4.1%) 低い) で、この内訳は勤務先からの収入が23,128円 (92.7%)、残りの1,834円 (7.3%) が内職・その他の事業収入となつている。また、この勤務先からの収入額 (23,128円) を世帯員別にみると、世帯主21,034円 (91%)、妻206円 (0.9%)、その他の世帯員1,888円 (8.2%) となつている。

なお、昭和26年を100とした場合、全都市平均の実収入額指数は、27年125.9、28年157.4と大幅に増加している。

支出 (全世帯の消費支出)

収入が増加すれば購買力も高まり、いきおい家計支出の膨張をもたらす結果となる。

本市全世帯の昭和28年中における1ヵ月平均の消費支出額は21,310円 (内現物支出は1,110円) で、前年の1ヵ月平均に比較すると6,174円 (40.8%) 増加しており、これを全都市平均に比べると802円 (3.6%) 下廻つている。次に消費支出金額を分類別にみると、食料費10,716円 (50.3%、前年は53.2%以下同じ)、被服費2,895円 (13.6%・13.6%)、住居費及び光熱費2,182円 (10.2%・9.6%)、雑費5,517円 (25.9%・23.6%) となり前年より支出率の上昇したのは、住居費及び光熱費の0.6%・雑費2.3%で減少した費目は食料費2.9%また被服費は前年と変わらない。

なお、本市の消費支出金額の推移をみると次の通りである。

昭和26年平均		昭和27年平均		昭和28年平均	
平均支出金額	比率	平均支出金額	比率	平均支出金額	比率
12,376 ^円	100.0 [%]	15,136 ^円	122.3 [%]	21,310 ^円	172.2 [%]

家 計 収 支 (勤労者世帯)

昭和28年を通じて勤労者世帯のみについて実支出額と実収入額とのバランスをみると、別表のように本市においては1,598円、全都市平均においては1,338円とそれぞれ黒字となつている。

区 分	実 収 入 額	実 支 出 額	差 額
広 島 市	24,962 ^円	23,364 ^円	1,598 ^円
全 都 市 平 均	26,025	24,687	1,338

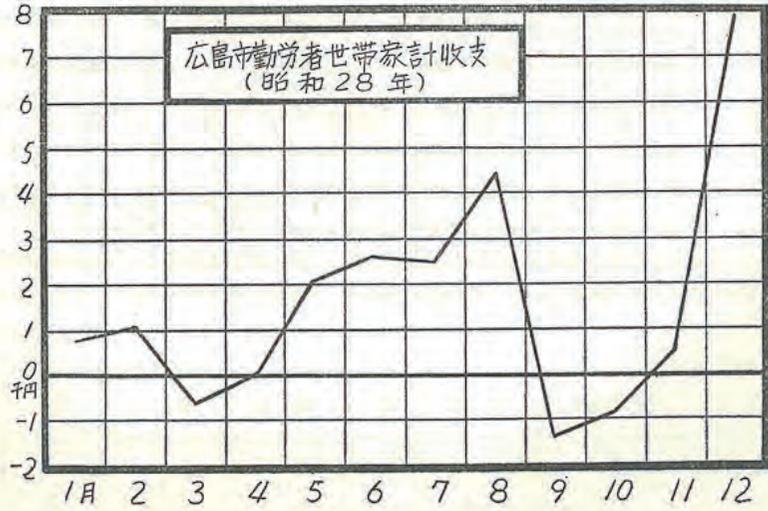
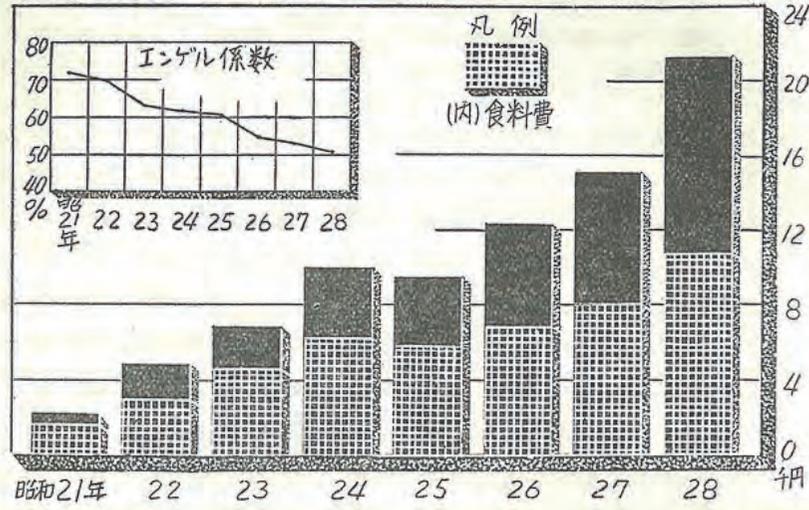
備考 現金のみである。

全世帯平均1ヵ月間の支出金額 (広島市)

(総理府統計局調)

区分 年月別	消費支出					被服費 エンゲル係数	住居費 光熱費	雑費	非消費 支出額	調査 世帯	1世帯 平均 人
	総 額	食 料	費	その他	エンゲル係数						
昭和21年 平 均	2,221	1,597	619	978	71.9	185	199	240	22	172	1
22	4,397	3,050	1,117	1,933	69.4	390	360	597	79	172	4.45
23	7,274	4,605	1,740	2,865	63.3	833	638	1,198	208	130	4.35
24	10,072	6,215	2,582	3,633	61.7	964	861	2,032	673	180	4.42
25	9,535	5,800	2,332	3,468	60.8	1,031	807	1,897	380	159	4.39
26	12,376	6,816	2,614	4,202	55.1	1,684	1,078	2,798	2,296	96	4.53
27	15,136	8,052	3,085	4,967	53.2	2,051	1,456	3,577	2,722	96	4.41
28	21,310	10,716	4,196	6,520	50.3	2,895	2,182	5,517	5,638	96	4.77
1月	17,816	8,532	3,284	5,248	47.9	1,978	2,330	4,976	4,530	96	4.51
2	17,880	9,080	3,771	5,309	50.8	1,597	2,119	5,084	4,426	96	4.74
3	19,883	10,555	4,464	6,091	53.0	2,040	1,978	5,310	4,402	96	4.81
4	20,201	10,564	4,340	6,224	52.3	2,586	1,878	5,173	4,823	96	4.79
5	18,168	9,710	3,787	5,923	53.4	1,869	1,567	5,022	4,839	96	4.82
6	18,610	10,092	3,982	6,110	54.2	2,214	1,748	4,556	5,881	96	4.79
7	21,833	10,812	4,267	6,545	49.5	3,246	2,129	5,646	7,555	96	4.83
8	22,651	11,717	4,229	7,488	51.7	2,345	2,117	6,472	6,185	96	4.79
9	22,179	10,615	4,028	6,587	47.9	3,227	2,436	5,901	4,665	96	4.81
10	22,958	11,463	4,142	7,321	49.9	3,420	2,033	6,042	4,793	96	4.78
11	21,855	10,329	4,178	6,151	47.3	4,000	2,613	4,913	5,476	96	4.77
12	31,685	15,121	5,874	9,247	47.7	6,225	3,232	7,107	10,080	96	4.77

広島市全世帯平均1カ月間の総支出金額



勤労世帯の平均収入及び支出金額 (広島市) (昭和28年中)

区分	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均
世帯数	55	57	60	63	58	59	56	54	54	55	58	57	57
世帯人員数	4,32	4,65	4,58	4,60	4,71	4,78	4,86	4,85	5,11	5,09	5,10	4,95	4,80
有業人員数	1,27	1,28	1,27	1,24	1,22	1,20	1,30	1,39	1,44	1,44	1,50	1,47	1,34
収入総額	29,373	27,880	31,008	32,545	31,535	32,587	38,473	39,384	35,480	34,611	36,121	56,838	35,486
実収入総額	18,232	19,052	20,613	22,237	22,207	23,223	28,423	29,956	22,652	23,108	24,554	45,281	24,962
勤め先からの収入	16,240	17,405	19,028	20,737	20,887	21,945	27,120	28,596	20,913	20,910	21,666	42,088	23,128
世帯主収入	15,056	16,220	17,799	19,430	19,393	20,556	25,309	25,632	18,487	17,918	18,641	37,961	21,034
妻の収入	51	—	225	262	233	229	241	617	—	198	138	280	206
その他の世帯員収入	1,133	1,185	1,004	1,045	1,261	1,160	1,570	2,347	2,426	2,794	2,887	3,847	1,888
事業及び内職収入	593	699	620	563	292	390	562	414	347	506	522	1,118	552
その他の収入	1,399	948	965	937	1,028	888	741	946	1,392	1,692	2,366	2,075	1,282
収入以外の収入	3,433	3,488	3,011	4,359	3,584	2,545	3,677	4,125	5,168	5,061	5,570	5,302	4,110
前月からの繰入金	7,708	5,340	7,384	5,949	5,735	6,819	6,367	5,294	7,655	6,436	5,996	6,253	6,411
記入不備	—	—	—	—	9	—	6	9	4	6	1	2	3
現物総額	901	747	868	833	611	828	1,044	1,690	1,309	1,077	1,354	1,731	1,083
支出総額	29,373	27,880	31,008	32,545	31,535	32,587	38,473	39,384	35,480	34,611	36,121	56,838	35,486
実支出総額	17,425	17,965	21,262	22,214	20,092	20,596	25,861	25,416	24,096	23,997	24,091	37,428	23,364

消費支出	15,993	16,023	18,990	19,623	17,407	17,703	21,216	21,800	21,776	21,811	21,349	31,655	20,445
飲食費	6,926	7,518	9,612	9,566	8,999	8,810	9,564	10,264	9,183	10,184	9,357	12,892	9,406
主食	2,808	3,192	3,950	3,877	3,628	3,622	3,748	3,750	3,595	3,816	3,784	5,142	3,743
非主食	4,118	4,326	5,662	5,689	5,371	5,188	5,816	6,514	5,588	6,368	5,573	7,750	5,663
住居光熱費	2,366	1,678	1,825	1,950	1,530	1,641	1,888	2,136	2,757	1,293	2,553	3,450	2,089
被服費	2,207	1,720	2,362	2,671	1,901	2,354	3,851	2,644	2,978	3,769	4,239	7,447	3,179
その他の諸費	4,494	5,107	5,191	5,436	4,977	4,898	5,913	6,756	6,858	6,565	5,200	7,866	5,771
非消費支出	1,432	1,942	2,272	2,591	2,685	2,893	4,645	3,616	2,320	2,186	2,670	5,773	2,919
勤労所得税	605	739	974	1,248	1,133	1,566	3,038	2,201	994	884	950	4,133	1,539
その他の税	331	482	609	609	709	557	710	616	581	535	656	852	604
社会保険費	409	540	496	575	590	603	691	554	614	628	781	551	586
その他の非消費支出	87	181	193	159	253	167	206	245	131	139	283	237	190
消費支出以外の支出	4,973	4,081	3,694	4,203	4,565	5,484	6,787	5,709	4,501	4,753	5,430	9,936	5,343
預金への繰越金	6,975	5,834	6,052	6,080	6,878	6,504	5,823	8,253	6,879	5,861	6,659	9,380	6,765
記入不備	—	—	—	48	—	3	2	6	4	—	13	94	14
現物総額	901	747	868	833	611	828	1,044	1,690	1,309	1,077	1,354	1,731	1,083

主 食

主食配給日数

(農水産課調)

種 別	昭和27年	昭和28年	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
総 数	日 185	日 180	日 15	日 14	日 15	日 16								
内地米	144	123	8	11	10	11	12	10	10	12	11	11	9	8
準内地米	—	13.5	3	—	1	1	—	2	2	1.5	—	1	1	1
外 米	41	42.5	4	3	4	3	3	3	3	1.5	4	3	5	6
内地もち米	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1

主食配給数量

年 月	総 数	一般消費世	生 産 世 帯	工 場 用 事業用	個 人 労務用	妊婦用	在宅核用 患者
昭和27年	21,143	19,219		1,890		34	
28	22,888	20,682	190	1,787	170	38	22
1月	1,845	1,672	7	146	15	2	3
2	1,746	1,573	9	148	11	2	3
3	1,865	1,689	14	143	14	3	2
4	1,875	1,703	15	139	14	3	2
5	1,881	1,707	17	140	12	3	2
6	1,892	1,723	19	132	13	3	2
7	1,930	1,734	21	156	13	3	2
8	1,937	1,741	23	153	15	3	2
9	1,950	1,747	26	157	15	3	2
10	1,951	1,749	26	155	15	3	2
11	1,945	1,756	11	160	13	3	2
12	2,070	1,886	3	159	18	3	2

備考 端数を4捨5入している関係上、総数と内訳とは必ずしも一致しない。

中央卸売市場

場内営業者数

(中央卸売市場調)

区分	総数	そ菜	果実	加工水産物	鮮魚	びん詰	漬物	鶏卵	その他
卸売人	27	3	6	4	3	3	1	1	—
仲買人	53	17	19	9	—	—	8	—	—
附属営業者	30	—	—	—	—	—	—	—	30

月別入荷状況

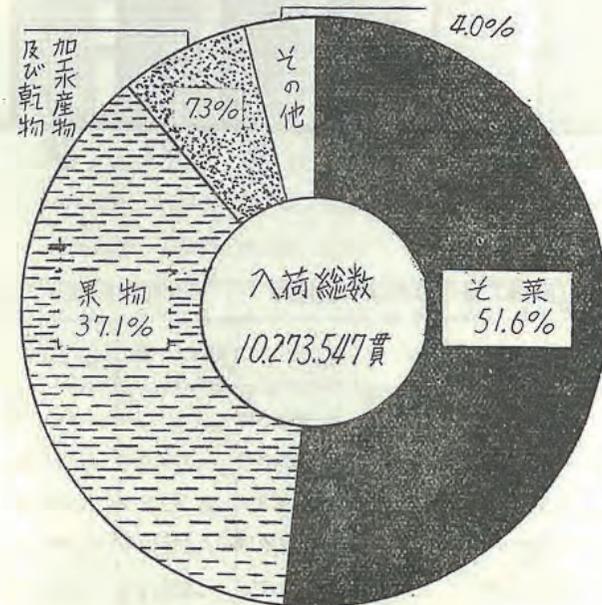
年月別	総数	そ菜類	果実類	生鮮水産物類	加工水産物及び乾物類	味漬物類	その他
昭和25年	6,127,665	3,476,512	1,965,566	285,194	400,393	—	—
26	6,242,977	2,824,919	2,652,561	193,029	572,468	—	—
27	9,045,264	4,370,494	3,640,309	225,309	718,293	90,859	—
28	10,273,547	5,305,372	3,814,547	282,450	749,044	122,134	—
1月	867,746	351,760	429,550	17,167	64,037	5,232	—
2	828,123	395,038	351,455	18,980	56,539	6,111	—
3	759,350	312,827	359,139	31,300	46,638	9,446	—
4	714,602	317,260	302,415	22,383	62,102	10,442	—
5	781,842	438,338	255,986	20,505	56,682	10,331	—
6	703,337	407,063	211,317	18,257	55,585	11,115	—
7	856,379	527,654	244,662	19,869	53,258	10,936	—
8	891,336	417,510	391,318	17,876	52,960	11,672	—
9	847,375	457,578	287,479	21,221	69,580	11,517	—
10	974,894	559,782	314,747	22,683	66,033	11,649	—
11	890,945	487,040	280,828	22,913	86,875	13,289	—
12	1,157,618	633,522	385,651	49,296	78,755	10,394	—

地域別入荷状況 (昭和28年中)

地域別	対総数	対前年比	総数	そ菜類	果実類	生鮮水産物類	加工水産物及び乾物類	味漬物類	その他
	%	%		貴	貴	貴	貴	貴	貴
総数	100.00	13.58	10,273,547	5,305,372	3,814,547	282,450	749,044	122,134	—
広島県	61.19	23.52	6,286,265	4,408,832	1,656,326	104,118	49,319	67,670	—
北海道	2.84	69.24	291,605	94,364	—	928	196,313	—	—
東北	12.57	525.21	1,291,599	201,389	1,024,609	—	65,601	—	—
関東	1.00	45.71	102,680	48,801	—	2,665	46,087	5,127	—
中部	4.45	13.77	457,373	132,035	273,675	1,965	21,680	28,018	—
近畿	1.14	49.41	117,164	67,327	6,852	32	34,353	8,600	—
中国 (広島県を除く)	6.91	7.14	709,789	95,856	221,335	166,724	220,342	5,532	—
四国	7.30	5.36	750,235	170,582	553,859	3,844	21,950	—	—
九州	1.97	22.18	202,422	86,186	14,516	2,146	92,387	7,187	—
外国及びその他	0.63	60.11	64,415	—	63,375	28	1,012	—	—

備考 △印=減を示す。

中央卸売市場品目別入荷数量 (昭和28年中)



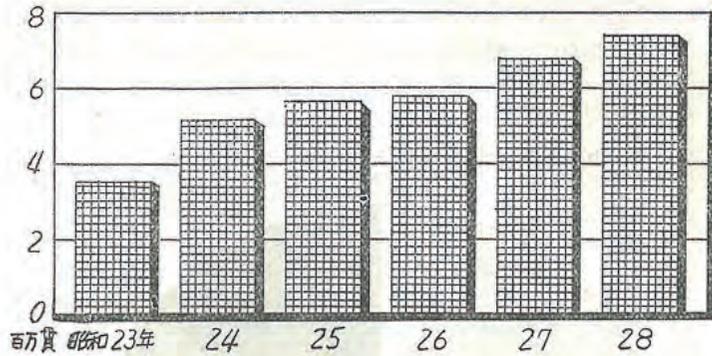
中央魚市場

魚類入荷及び消費数量

(広島中央魚市場商業協同組合調)

年 別	昭和23年	昭和24年	昭和25年	昭和26年	昭和27年
(貫) 入荷量	3,566,903	5,233,900	5,747,894	5,825,149	6,837,059
年 別	昭 和 2 8 年				
	総 数	市内消費	郡部消費	加 工 用	
(貫) 入荷量	7,424,582	2,969,833	2,375,866	2,078,883	

中央魚市場年別入荷数量



たばこ・塩及び酒

広島地方局(直轄工場)のたばこ製造高

(専売公社広島地方局調)

年 月 別	総 数	ビ ー ス	光	新 生	ゴ ー ル デ ン バ ッ ト	鶴
昭和23年	千本 2,846,019	千本 640,715	千本 964,532	千本 —	千本 653,790	千本 586,982
24	4,110,137	126,061	1,083,013	779,016	1,187,020	935,027
25	4,385,040	27,540	585,321	1,022,373	2,553,663	196,143
26	4,685,891	—	1,692,317	1,256,219	1,712,315	25,040
27	4,980,325	758,282	1,714,759	1,259,212	1,248,072	—

28	5,290,423	1,470,860	877,543	1,107,744	1,834,276	—
1月	353,546	82,000	51,840	100,872	118,834	—
2	411,594	100,000	92,980	90,600	128,014	—
3	447,407	99,720	127,741	111,144	108,802	—
4	450,618	132,040	76,621	83,664	158,293	—
5	472,490	127,100	73,140	88,968	183,282	—
6	460,865	119,840	80,860	85,608	174,557	—
7	452,126	144,000	57,120	80,736	170,270	—
8	430,466	134,000	61,621	76,704	158,141	—
9	475,701	139,320	72,480	89,496	174,405	—
10	467,834	149,000	60,660	99,000	159,174	—
11	415,374	137,000	51,340	93,000	134,034	—
12	452,402	106,840	71,140	107,952	166,470	—

たばこの消費高

(専売公社広島出張所調)

年 別	総 数	富 士	ビ ー ス	光	鶴	新 生	ゴ ー ル デ ン バ ッ ト	朝 日
昭和25年	千本 454,037	千本 —	千本 3,946	千本 46,216	千本 71,331	千本 132,286	千本 162,188	千本 1,468
26	439,368	—	11,153	132,037	7,304	130,610	137,182	2,088
27	476,499	—	62,166	181,836	—	118,608	97,990	2,869
28	534,585	1,807	128,065	162,011	—	136,879	91,711	3,704
年 別	ハ ッ ピ ー	き き よ う	み の り	富 貴 煙	特 殊 品	輸 入 輪 入 小 店 売 店 舗 数	た ば こ	数
昭和25年	千本 7,593	千本 10,886	千本 17,477	千本 24	千本 622	千円 ?	?	店 307
26	—	10,040	8,275	—	679	?	?	589
27	—	3,696	8,833	—	501	3,182	?	566
28	—	2,845	7,188	—	375	15,229	?	575

備考 1. 特殊品とは、アストリア・桃山・日光の3種類である。
2. 総数は輸入たばこを除いたものである。

塩消費数量

(専売公社広島地方局調)

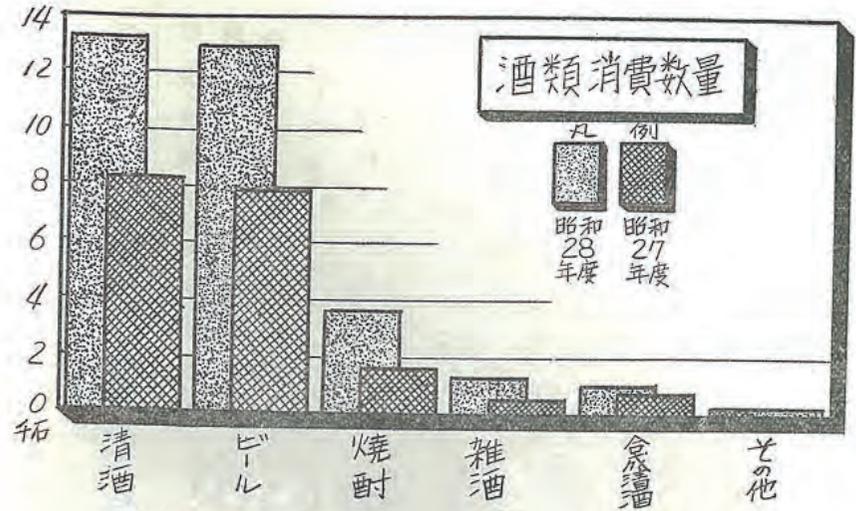
年月別	総数	小売人売	直接消費者売	年月別	総数	小売人売	直接消費者売
昭和25年	2,490,021	1,396,140	1,093,881	5	195,314	108,822	86,492
26	2,976,456	1,552,570	1,423,886	6	211,211	137,930	73,281
27	2,811,162	1,623,819	1,187,343	7	196,954	119,593	77,361
28	2,652,484	1,588,647	1,063,837	8	224,815	136,935	87,880
1月	217,464	127,944	89,520	9	209,661	122,060	87,601
2	182,175	104,815	77,360	10	239,356	146,556	92,800
3	195,283	99,482	95,801	11	259,794	156,293	103,501
4	174,865	95,985	78,880	12	345,592	232,232	113,360

酒類消費数量

(広島国税局調)

年月別	総数	清酒	合成清酒	白酒	味噌	焼酎	ビール	果実酒	雑酒	その他
昭和27年度	19,707	8,341	850	—	183	1,609	7,955	—	705	64
28	32,520	13,330	1,090	20	203	3,648	12,896	7	7,332	—
4月	2,347	1,114	67	12	34	221	701	1	197	—
5	2,634	926	70	1	7	288	1,171	—	171	—
6	2,611	805	60	—	10	293	1,347	—	96	—
7	2,547	660	46	—	13	315	1,413	—	100	—
8	3,736	606	62	—	15	344	2,615	—	94	—
9	2,773	924	60	—	17	288	1,387	—	97	—
10	2,590	1,288	92	—	17	316	783	—	94	—
11	2,356	1,211	97	—	18	294	638	—	98	—
12	3,131	1,859	119	—	21	318	713	—	101	—
昭和29年1月	2,391	1,281	109	—	21	284	594	—	102	—
2	2,283	1,184	131	1	13	322	546	—	86	—
3	3,121	1,472	177	6	17	365	988	—	96	—

備考 昭和27年度の「その他」は白酒と果実酒の合計である。



文化・娯楽

娯楽施設 (昭.28.1.31)

(県税務課調)

映画館	演劇館	野球場	競輪場	ダンス場	麻雀場	パチンコ		玉突場	旅館	料理店	キャバ	飲食店	喫茶店	芸妓	特殊下宿	
						店数	台数								下宿数	下宿人
23	2	1	1	15	16	105	6,589	6	360	22	130	1,113	113	69	203	460

映画演劇場

名称	所在地	名称	所在地
東洋座	鉄砲町	太陽館	的場町
広島興映画劇場	的場町	ステーションシネマ	松原町
広島帝劇	鉄砲町	広栄座	大手町
ラッキー映画劇場	立町	南座	皆実町
双葉映画劇場	東魚屋町	広島宝塚劇場	堀川町
広島映画劇場	荒神町	港映画劇場	宇品町
福屋名画劇場	八丁堀	新天地劇場	新天地
銀座東宝	針屋町	旭映画劇場	横川町
平和劇場	荒神町	竹久映画劇場	舟入町

有楽映画劇場	小網町	文化映画劇場	基町
衆楽映画劇場	己斐町	日本劇場	荒神町
草津花月劇場	草津本町	第二有楽劇場	南観音町
若草劇場	小網町	第三有楽劇場	江波町
向洋銀映劇場	仁保町青崎	広島花月	西観音町

映画館入場者数

総数	1月	2	3	4	5	
5,045,800 ^人	554,000 ^人	328,000 ^人	400,200 ^人	453,400 ^人	430,000 ^人	
6	7	8	9	10	11	12
418,200 ^人	391,800 ^人	442,300 ^人	443,300 ^人	449,300 ^人	380,900 ^人	354,400 ^人

放送局

放送施設

N.H.K. 広島中央放送局 上流川町 第1放送 (JOFK) 790キロサイクル
 第2放送 (JOFB) 1,050キロサイクル
 ラジオ中国 (R.C.C) 上柳町 (JOER) 1,240キロサイクル

ラジオ聴取者状況

(広島中央放送局調)

区分 年別	年末聴取 契約者数	年間増加数		年間減少数		差引年間 増加数	普及率
		加 入	転 入	廃 止	転 出		
昭和23年度	34,443	10,181	1,716	2,861	737	8,299	53%
24	40,373	8,167	2,035	3,058	1,214	5,930	59
25	45,068	7,626	2,028	3,461	1,498	4,695	61
26	46,614	4,212	1,673	3,094	1,245	1,546	61
27	51,382	7,941	2,306	3,625	1,854	4,768	64
28	56,456	9,040	2,254	4,472	1,748	5,074	67

広島球場

広島球場入場者数

(県税事務所調)

総数	プロ野球	高校及びその他の野球
202,600 ^人	180,000 ^人	22,600 ^人

第23編 都市建設

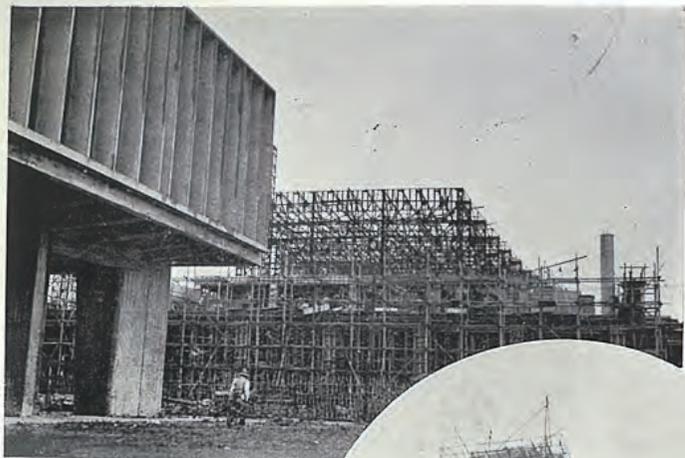
新設市港 蘇89業



上空から見た八丁堀附近 (西日本航空)



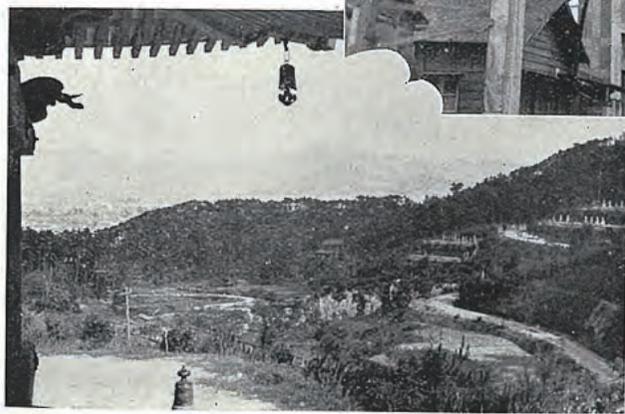
八丁堀附近の道路整備工事



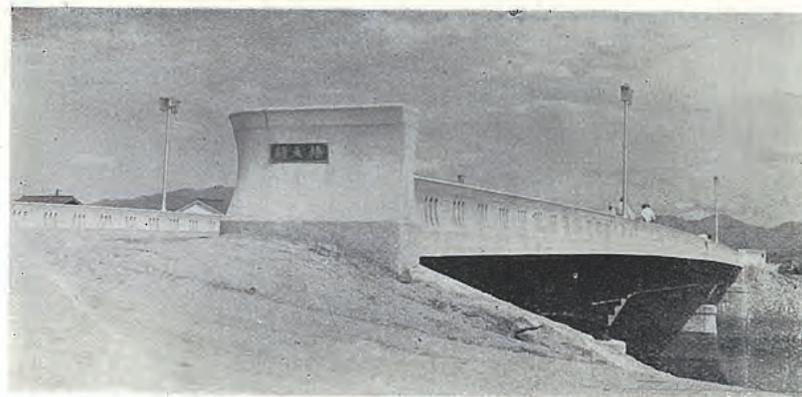
平和記念公園に建設中の公会堂
(毎日新聞社提供)



世界平和記念聖堂(毎日新聞社提供)



三 滝 墓 苑



緑 大 橋



駅 前 橋



架 設 中 の 夷 午 橋

日本国憲法第九十五条の規定に基く広島平和記

があるとする場合には、国有財産法（昭和二十三年法律第七十三号）第二十八条の規定にかかわらず、その

広島平和記念都市建設計画図

（都市計画画）

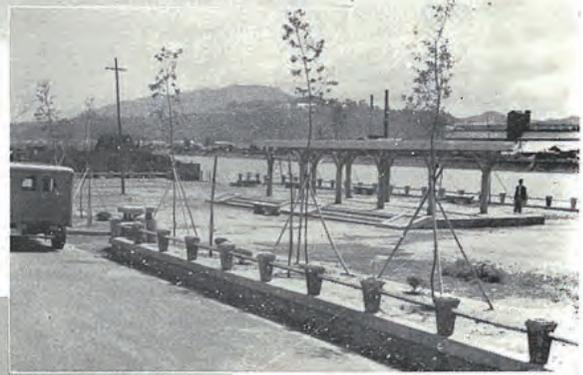


										凡例
工業地	準工業地	商業地	住居地	墓	公園	緑地	鉄	道	都市計画街路	広島市区境界
域	域	域	域	苑	地					

河岸緑地



昭和町

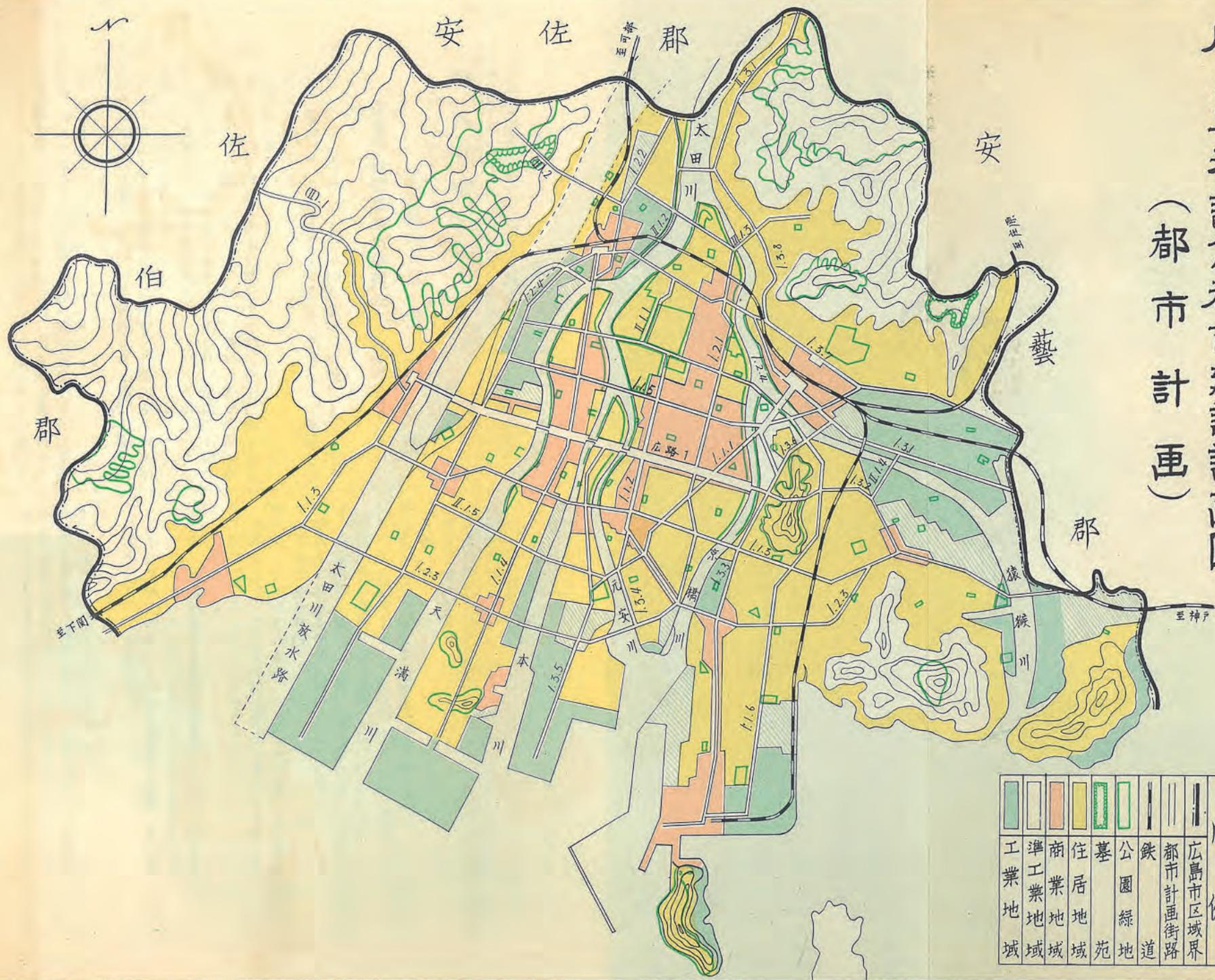
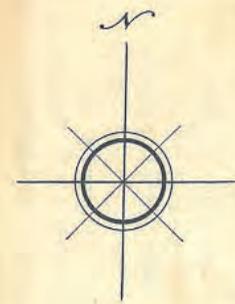


平野町



大手町

廣島平和記念都市建設計画図 (都市計画画)



	公園緑地
	住居地域
	商業地域
	準工業地域
	工業地域
	鉄道
	都市計画街路
	広島市区域界
凡例	

日本国憲法第九十五条の規定に基く広島平和記念都市建設法をここに公布する。

御名御璽

昭和二十四年八月六日

内閣総理大臣 吉田 茂

広島平和記念都市建設法 (法律第二百十九号)

(目的)

第一条 この法律は、恒久の平和を誠実に実現しようとする理想の象徴として、広島市を平和記念都市として建設することを目的とする。

(計画及び事業)

第二条 1 広島平和記念都市を建設する特別都市計画(以下平和記念都市計画という)は、都市計画法(大正八年法律第三十六号)第一条に定める都市計画の外、恒久の平和を記念すべき施設その他平和記念都市としてふさわしい文化的施設の計画を含むものとする。

2 広島平和記念都市を建設する特別都市計画事業(以下平和記念都市建設事業という)は平和記念都市建設計画を実施するものとする。

(事業の援助)

第三条 国及び地方公共団体の関係の諸機関は、平和記念都市建設事業が、第一条の目的にたらし重要な意義を持つことを考え、その事業の促進と完成とにできる限りの援助を与えなければならない。

(特別の助成)

第四条 国は平和記念都市建設事業の用に供するために必要

がある認められる場合においては、国有財産法(昭和二十三年法律第七十三号)第二十八条の規定にかかわらず、その事業の執行に要する費用を負担する公共団体に対し、普通財産を譲与することができる。

(報告)

第五条 1 平和記念都市建設事業の執行者は、この事業がすみやかに完成するよう努め、少くとも六箇月ごとに、建設大臣にその進捗状況を報告しなければならない。

2 内閣総理大臣は、毎年一回国会に対し、平和記念都市建設事業の状況を報告しなければならない。

(広島市長の責任)

第六条 広島市の市長は、この住民の協力及び関係諸機関の援助により、広島平和記念都市を完成することについて、不断の活動をしなければならない。

(法律適用)

第七条 平和記念都市建設計画及び平和記念都市建設事業については、この法律に特別の定がある場合を除き、特別都市計画法(昭和二十一年法律第十九号)及び都市計画法の適用があるものとする。

附則

1 この法律は、公布の日から施行する。

2 この法律施行の際現に執行中の広島特別都市計画事業は、これを平和記念都市建設事業とし、第二条第二項の趣旨に合致するように都市計画法第三条の規定による手続を経て、これを変更しなければならない。

昭和二十四年五月十日 衆議院通過

五月十一日 参議院通過

七月七日 住民投票

概 要

都市として370年余の歴史を持ち明治以降太平洋戦争までは、主として軍都としての性格をもつて発展を遂げてきた本市が、戦争終幕において/発の原子爆弾により瞬時にして焦土と化し、75年間不毛の地と言われる程までに破滅し尽されてから、早くも8年有余の歳月が経過した。

未曾有の大戦災直後から、屈せず立ち上つた市民のたくましい復興意欲は、今日なお復興途上ながらも、市街の面目を一新して整然たる都市の建設を具現して来た。大小の幹線街路は縦横に走り、建築物は次々と建ち並び、7つの清流には多数の堂々たる橋梁がかかり、公園緑地は次第に緑を増し花を添え、すべてが新しい構想の下に着々と建設を進められつつある。

また、昭和24年8月6日「広島平和記念都市建設法」が、世界平和の理想を広島市に象徴しようとする市民の熱烈なる要望に応じて公布せられ、ここに広島は単なる戦災復興のみでなく、自由と平和を愛する世界の都市「広島」として、大きな理想に向つて建設の歩みを進めている。

この平和記念都市の建設に当つては、同法の公布後間もなく平和文化都市建設協議会が建設省内に設置され、同年10月にはその第1回協議会が開催され、別表のような総合的事業計画が一応樹立されたが、これに要する事業費は総額276億円の巨額に達し、しかもその大半を国庫に依存する状態にあるため、特に緊急を要するもののみを再検討して、その結果いはゆる「平和記念都市建設事業5カ年計画」(別掲)を樹て、目下これに基づいて事業の推進に全力が傾注されている。(注 事業計画には事業の進展に伴わないその都度若干の追加変更がある)

なお、本年は5カ年計画が満てられて第4年目にあたるが、その事業の進ちよく率を予算額の面からみると、本年度までに約50%を示している。

平和記念都市建設の主要構想

都市計画上の本市理想人口を40万人と定め、焼失中心市街地(400万坪)の復興土地区画整理を根幹として、昭和21年から着手し現在までに決定された計画の主なるものは次の通りである。

- 1 原爆々心地に近く、本市の中心部に位する中島地区約3万7千坪を平和記念公園として計画、同公園を平和記念施設として指定し、平和記念館及び慰霊碑を設ける。
- 2 広島城跡を含む基町地区約17万8千坪を中央公園とし、レクリエーション並びに文化施設を配置して、市民生活の基盤とする。
- 3 市内中央部を東西に横断する幅員100米の広路を計画し、交通幹線としてその機能を發揮させる外、市内を貫流する各河川と相まつて、防火的機能を具備させ、また、観光・市民のレクリエーションにも役立たせる。
- 4 市内を貫流する太田川各派川には、それぞれ河川美を生かし、保健衛生の見地から面積約6万5千坪の河岸緑地を計画し、更に山部緑地6カ所114万坪を考慮した。
- 5 幹線街路網は、中国地方の中核都市としての将来の交通量等に留意して、27路線延

長9万5千米(主として幅員20~40米)の幹線街路を配置し、これに關係する橋梁(43橋)はすべて永久橋を架設する。

- 6 周辺の山地部に近代的墓苑2カ所面積約6万坪を計画し、市内に散在する墓地を出るだけ整理してこれに移転させる。
- 7 大公園(記念公園を含む)7カ所面積約50万坪、小公園74カ所約20万坪の公園を配し、公園系統を樹立して市民生活に寄与させる。この公園面積は河岸緑地を含めると、本市の土地利用面積に対して約7%、都市計画人口40万人に対して1人当たり約1.9坪に当るものである。
- 8 市内の大部分が満潮時には、水面以下になる關係上、下水道の整備は緊急を要するので、中心市街地排水面積約35万坪に対して下水道計画を実施し、周辺部地区には排水路10路線、附設排水ポンプ場6カ所の施設整備を実施する。
- 9 用途地域を指定して、土地の合理的統制を図り、また、防火対策として防火地域を指定し、耐火構造建築の促進を図り危険地区には防火水槽を配する。
- 10 市街地を幾多の水害から守るため、また、河岸及び港湾の完全利用を図るため、既定計画である太田川放水路の促進完成を図る。

平和記念都市建設事業全体計画

(計画課調)

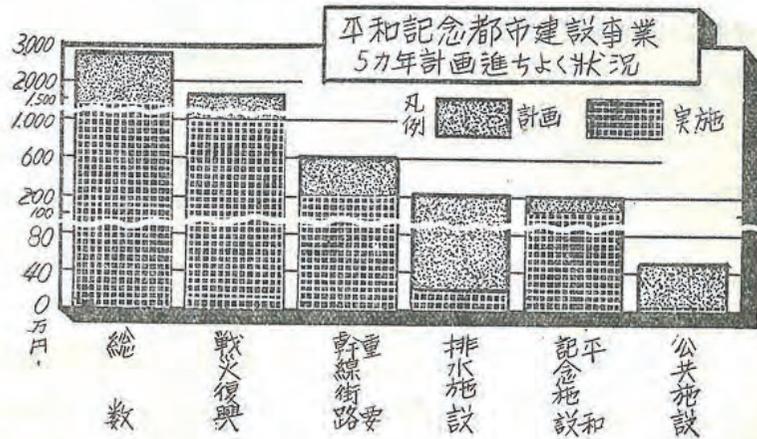
事業区分	総額	昭和25年度より4カ年計画	後年度
	千円	千円	千円
総額	27,676,492	15,132,736	12,484,356
小計	15,278,222	8,529,806	6,748,476
戦災復興	5,160,632	4,132,368	1,028,264
平和記念施設	713,410	713,410	—
排水施設	473,830	473,830	—
幹線街路	8,000,000	2,874,748	5,125,252
都市公共施設	930,350	335,450	594,900
小計	4,326,280	2,805,640	1,520,640
文教施設	1,709,000	1,469,160	239,840
住宅	1,467,200	536,900	930,300
観光	453,900	303,900	150,000
厚生	696,180	495,680	200,500
小計	8,071,990	3,796,690	4,275,300
河川改良	2,200,000	2,200,000	—
港湾改修	5,811,990	1,596,690	4,215,300

備考 昭和24年10月計画案(第1回平和文化都市建設協議会)

平和記念都市建設事業5カ年計画

事業区分	5カ年 計画	実 施				合 計	進 ち よ く 率
		昭和 25年度	昭和 26年度	昭和 27年度	昭和 28年度		
総 額	2,886,800	350,000	347,900	350,000	372,897	1,420,797	49%
戦災復興	1,685,700	248,880	248,600	264,000	275,384	1,036,864	61%
平和記念施設	219,918	25,980	32,100	30,000	35,513	123,593	56%
排水施設	270,020	5,970	6,440	6,000	5,000	22,510	8%
重要幹線街路	646,582	70,070	60,760	50,000	55,000	235,830	36%
公共施設	64,580	—	—	—	2,000	2,000	3%

備考 1. 昭和25年度分には、昭和24年度補正予算分(8千万円)を含む。
2. 本表は、都市計画事業国庫補助を対象とした事業計画である。



事業の進ちよく状況

(一) 戦災復興事業
事業面積表

地区名	区 域	計画面積	昭和24年8月 再検討による 事業面積
総 数		4,000,000 坪	3,102,000 坪
東 部	元安川以東(但し中島町の一部を含む)	2,374,000	1,756,000
西 部	〃 以西(〃 除く)	1,626,000	1,346,000

事業実施状況

事業区分	昭和21年度 から 昭和24年度	昭和25年度	昭和26年度	昭和27年度	昭和28年度	合 計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
総 額	160,539	248,880	248,600	264,000	275,384	1,036,864
区画整理	105,907	94,053	120,600	150,000	155,000	519,653
街 路	25,188	68,146	54,328	46,000	43,884	212,358
ガ ス	1,890	4,000	3,000	2,000	1,500	10,500
鉄 軌 道	3,920	7,980	5,600	2,000	10,000	25,580
公共空地	3,754	7,681	6,000	5,000	5,000	23,681
河川水路	4,200	—	—	3,000	4,000	7,000
上 水 道	5,790	17,480	18,840	18,000	18,000	72,320
下 水 道	9,890	49,540	40,232	38,000	38,000	165,772

備考 1. 昭和25年度分には昭和24年度補正予算分を含む。
2. ガス・鉄軌道には会社の負担分を含まない。

1 (復興) 地区区画整理事業

区 分	計画事業量	実 施 量			進ちよく率
		昭和27年度 ま	昭和28年度 で	合 計	
仮換地発表面積(坪)	3,102,000	3,212,000	—	3,212,000	100%
確定測量(坪)	3,102,000	2,927,250	174,750	3,102,000	100%
建物移転(戸)	16,500	7,860	2,295	10,155	62%
使用開始面積(坪)	3,102,000	1,732,171	668,680	2,400,851	77%

備考 仮換地発表面積が事業計画量を超過するのは、発表後事業面積が縮小されたため、本地区は引き続き実施する計画である。

2 街路事業
幅員別街路延長

幅員	延長	幅員	延長	幅員	延長	幅員	延長	幅員	延長	幅員	延長
米	米	米	米	米	米	米	米	米	米	米	米
合計	237,673	50	426	30	14,125	22	1,415	11	894	6	60,476
100	3,110	40	8,969	27	3,523	20	5,189	10	39,581	4	6,436
80	233	36	4,535	25	4,919	15	21,234	8	62,548		

側溝築造

区 分	昭和27年度まで	昭和28年度	合 計
総 数	156,260 ^米	44,535 ^米	200,795 ^米
幹線街路	48,155	5,305	53,460
補助街路	108,105	39,230	147,335

街路樹

樹 木	本 数	樹 木	本 数	樹 木	本 数	樹 木	本 数
総 数	3,679 ^本	あおぎり	20 ^本	け や き	4 ^本	い ち よ う	203 ^本
ぶらたなす	(405)	ほ ぶ ら	244	や な ぎ	993	さ る す べ り	77
にせあかしあ	(336)	ぎんぼぶら	123	せんたん	389		

備考 () 内は、戦災前の植栽分を示す(再掲)

緑地帯植栽樹木

樹 木	本 数	樹 木	本 数	樹 木	本 数	樹 木	本 数
総 数	468 ^本	ぼめがし	18 ^本	金 木 犀	10 ^本	そ の 他 の 緑 地 帯	210 ^本
100米道路緑地帯	258	花あかしや	15	かいどう	10	さんごじゆ	112
ゆりの木	50	ゆりかり	14	さざんか	10	ゆ つ か	63
百日紅	35	木蓮(白)	11	け や き	7	か い づ か い ぶ き	35
梅	26	くさまき	11	桜	6		
ヒマラヤシダー	19	移木犀	10	く す	6		

備考 100米道路緑地帯分には花及び灌木を除き、その他の緑地帯分は灌木のみである。

3 ガス及び鉄軌道事業

区 分	昭和27年度まで	昭和28年度	合 計
ガ ス	26,952 ^米	3,180 ^米	30,132 ^米
軌 道(復線)	2,077	430	2,507

備考 本事業は街路変更に伴うガス及び鉄軌道の移設工事である。

4 公共空地整備事業

区 分	昭和27年度まで	昭和28年度	合 計
児 童 公 園	(24カ所) 29,600 ^坪	(4カ所) 6,200 ^坪	(28カ所) 35,800 ^坪
三 滝 墓 苑	15,700	3,000	18,700
河 岸 緑 地	32,200	7,600	39,800

5 河川水路事業

実 施 地 区	昭和27年度まで	昭和28年度	合 計
横川・三篠町地区	1,750 ^米	430 ^米	2,180 ^米

備考 本事業は区画整理に伴う排水路の移設整備事業である。

6 上・下水道

区 分	昭和27年度まで	昭和28年度	合 計
上 水 道	36,107 ^米	12,274 ^米	48,381 ^米
下 水 道	18,715	6,197	24,912

備考 本事業は、区画整理に伴う上・下水道の移設工事であるが、上水道は第4期拡張工事と相まって、また、下水道は第1期下水道築造事業の一環として実施されている。

(二) 記念施設事業

区 分	昭和27年度まで		昭和28年度		合 計	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
総 数	坪(基)	千円	坪	千円	坪(基)	千円
記 念 館	439	—	—	35,573	—	123,593
	テラス 422	20,000	—	—	テラス 422	20,000
	本館 1,668	49,000	(内装)	32,025	テラス 402	81,025
記 念 碑	1	3,000	—	—	1	3,000
記 念 公 園	13,390	16,080	4,000	3,488	17,390	19,568

備考 本事業には、上記の工事以外(国庫補助非対象)に、在広財界人の寄附により、集会所(公会堂)の建設が着工された。建坪890坪(内屋内646坪)、階数3階(地下1階、地上2階)、延坪2,357坪(内屋内2,049坪)、収容人員2千名、構造鉄筋コンクリート(一部鉄骨)、総工事費2億5千万円。

(三) 排水施設事業

区 分	昭和27年度まで		昭和 28 年度		合 計	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
ポンプ場	2カ所	千円 17,510	1カ所	千円 5,000	3カ所	千円 22,510
排水路	610米	4,000	—	—	610米	4,000

備考 排水路工事は昭和24年度に幹線街路の附帯工事として実施したものである。

(四) 都市幹線街路事業

重要幹線街路事業費内訳

区 分	5カ年計画	実 施 額			進捗 率
		昭和27年度まで	昭和28年度	合 計	
総 額	千円 646,582	千円 180,830	千円 55,000	千円 235,830	% 36
橋りょう	324,580	108,580	55,000	163,580	52
一般街路	114,970	42,070	—	42,070	37
舗 装	90,832	30,180	—	30,180	33
立体交さ	116,200	—	—	—	—

橋 り よ う

名 称	昭和27年度まで		昭和 28 年度		合 計	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
総 額	米	千円 108,580	米	千円 55,000	米	千円 163,580
新明治橋	95×7.5	28,780	—	—	95×7.5	28,780
昭和大橋	225.4×6.0	23,700	—	—	225.4×6.0	(8,155) 23,700
緑大橋	72.5×15.0	51,000	—	—	72.5×15.0	51,000
庚午橋	3/3.0×6.0	5,100	継 続	12,500	工事中	(26,687) 17,600
駅前橋	—	—	62.5×30	42,500	幅15完成	42,500

備考 () 内は別途災害復旧費充当金額を示す。

補 装

路線番号	昭和27年度まで		昭和 28 年度		合 計	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
総 数	米	千円 30,180	米	千円	米	千円 30,180
1. 1. 2	1,350×5.5	3,800	—	—	1,350×5.5	3,800
1. 1. 3	1,070×6.0	4,880	—	—	1,070×6.0	4,880
1. 1. 5	600×5.25 1,068×5.25	9,000	—	—	600×5.25 1,068×5.25	9,000
1. 2. 1	1,050×6.0	4,200	—	—	1,050×6.0	4,200
1. 2. 4	1,205×6.0	6,000	—	—	1,205×6.0	6,000
1. 3. 5	810×5.5	2,300	—	—	810×5.5	2,300

一 般 街 路 (区画整理区域外都計街路新設拡幅)

路線番号	昭和27年度まで		昭和 28 年度		合 計	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
総 数	米	千円 42,070	米	千円	米	千円 42,070
1. 1. 3	280×15	3,170	—	—	280×15	3,170
1. 2. 2	256×15	3,080	—	—	256×15	3,080
1. 2. 3	1,121×15 97×15	14,780	—	—	1,121×15 97×15	14,780
1. 3. 5	—	—	—	—	—	—
1. 3. 7	727×25 606×25	8,780	—	—	727×25 606×25	8,780
(Ⅰ)・1	559×6	3,700	—	—	559×6	3,700
(Ⅰ)・2	1,031×6	8,560	—	—	1,031×6	8,560

(五) 都市公共施設事業

公 園

名 称	昭和27年度まで		昭和 28 年度		合 計	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
総 数	坪	千円	坪	千円	坪	千円
尾長公園	—	—	2,118	2,000	2,118	2,000
草津公園	—	—	118	600	118	600
	—	—	2,000	1,400	2,000	1,400

(六) 防火水槽施設事業

区 分	昭和27年度まで		昭 和 28 年 度		合 計	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
防火貯水槽	個 12	千円 4,610	個 8	千円 3,348	個 20	千円 7,958

備考 / 個当りの容量40トン

(七) 太田川改修事業

事業概要

1 位 置

山手川を幅280~400米開さくし、河口より約6.2軒附近で本川より分流させる。

2 こう水処理計画

計画こう水量は 6,000m³/s で、こう水を放水路分流点の水門により調節し4,000 m³/s を放水路より放流し、残余の 2,000m³/s を本川並びにその他の河川に分流させる。なお、放水路開さくに伴つて福島川は埋立てられる。

3 事業費

総 額	昭和7年度 ~20年度	昭和21年度 ~27年度	昭 和 28 年 度	昭和29年度以降
千円 8,670,034	千円 5,632	千円 806,902	千円 407,500	千円 7,450,000

(註) 本事業は、国営により昭和7年より15カ年継続事業として着工したが、戦争のため総延長9.2軒の内36%に当る3.3軒(下流)が完成したのみで、それ以外は18年より工事が中絶していたものである。

(八) 広島港改修事業

第1期修築事業概要

1 計 画 目 標

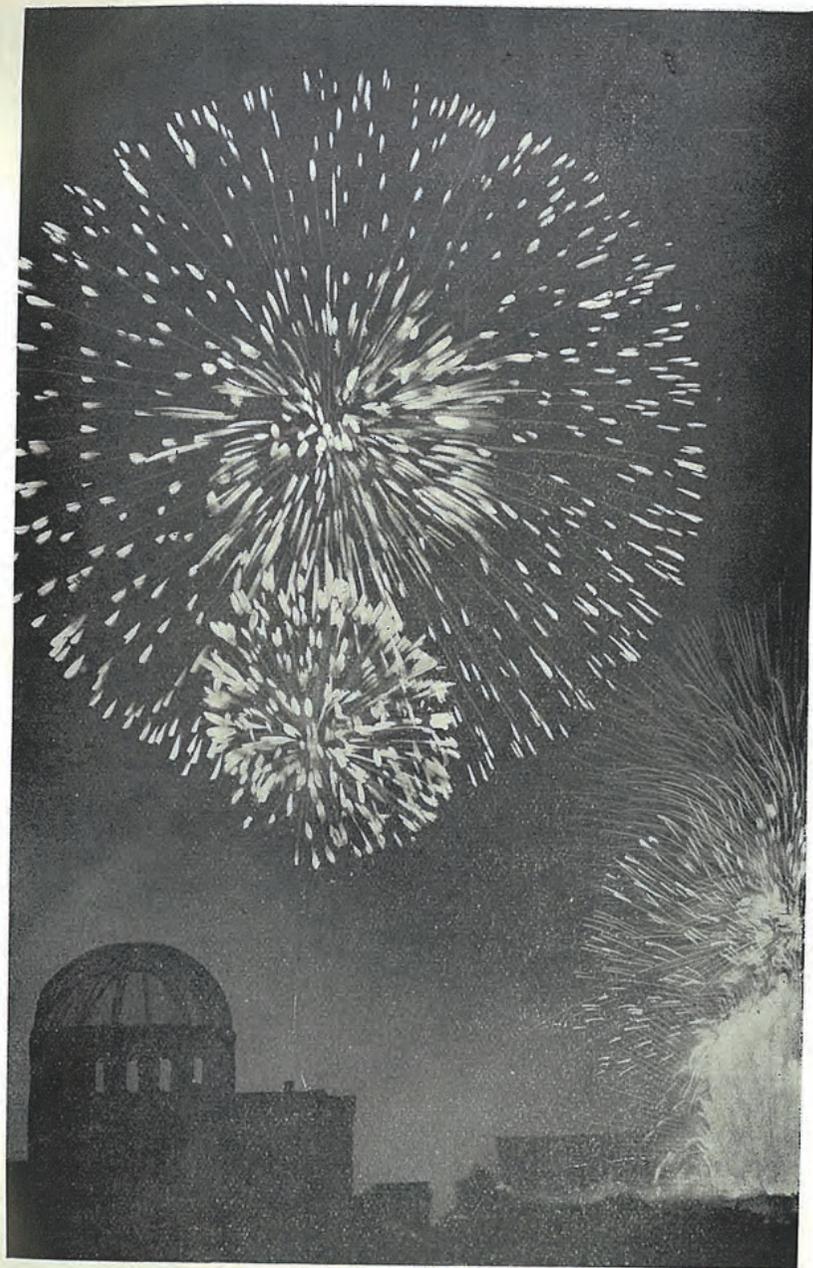
取扱貨物量260万トン(年間) 乗降船客12,000人(1日)

2 工事の実施状況

区 分	昭和27年度まで	昭 和 28 年 度	合 計
物 揚 場	380米	—	380米
護 岸	17米	—	17米
しゆんせつ 道 路	83,000立方米 1,350米	— 730米	83,000立方米 2,080米
鉄 道 引 込	—	1,176米	1,176米
岸壁(1万トン級)	—	井筒工事 145米	井筒工事 145米
工 事 費	140,800千円	51,500千円	192,300千円

第24編 観 光

光 輝 燄 火



平和記念公園を採どる花火

概 要

本市は清流太田川の河口三角州に発展し、古来より山紫水明、温和な気候に恵まれ、優美な風景の土地として知られてきた。かつて天正17年毛利輝元がこの地に移り広島と命名してから、すでに364年を経過したが、この間封建時代の城下町としてあるいは諸戦役・事変の軍事基地として幾多の変遷をとげ、多くの遺跡を残し広島に遊ぶ人の目を楽ませってきた。しかし、これら多くの遺跡は戦禍によりほとんど消え失せ、代つて原爆の戦火を経た新しい国際的観光都市となり、観光対象物は原爆の破壊力を示す若干の被害記録物と、これを乗り越えて進む生存者の建設譜であり、徹底的な破壊に打ち勝つて建設されつつある平和記念都市の姿である。本市は高度の技術を結集した平和記念施設たる中島の平和記念公園をはじめ大小の公園緑地、川を生かした河岸緑地、交通量に留意した街路網等を有する理想的平和記念都市建設を推進しているので、将来はこの近代的都市自体が観光対象となり、広島を世界恒久平和の発祥地たらしめることを望む平和愛好者及び諸団体の来訪が予想され、すでに世界連邦アジア会議や世界仏教徒アジア会議が進んで広島の地で開催されている。このように内外を問わず来訪客の著しいのも本市の平和都市の性格に立脚した観光都市の特色である。

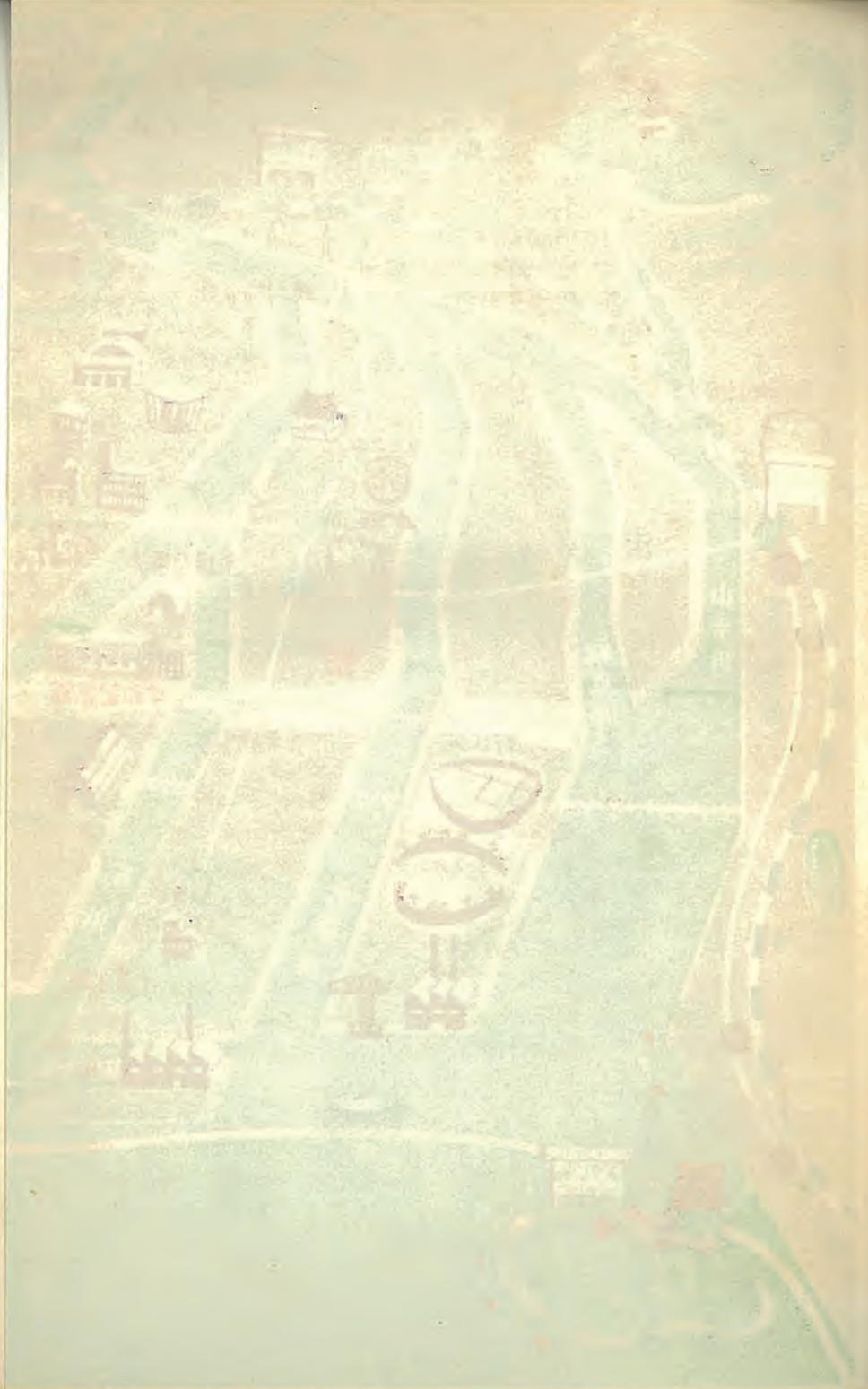
市街を合流する7つの川は、その水清く山緑を影し民家を写し夜のネオンを浮べて市街の美観を一入増し、相生橋をはじめ30有余の橋りようを縫つてゆるやかに瀬戸内海に注いでいる。おだやかな瀬戸内海は市の前面に大小様々な島を浮べ、その風光の美は遊覧客を陶醉させるに充分である。夏は至る所にキャンプ村や海水浴場が設けられ、レクリエーションを楽しむ人々にぎわう。東方には呉港や、瀬戸内海の風光を一望できる野呂山高原がある。西に下れば手の届くところに子供の別天地楽々園、日本三景の1つ安芸の宮島、再建された岩国の錦帯橋、湯来温泉がある。さらに北方背後地には桜と鶴鯛の三次、つじとスキーでにぎわう道後山公園、冠山高原、芸北の幽境三段峡及び帝釈峡、西日本の怪井沢と言われる八幡高原等将来性のある県立公園がある。別府温泉や道後温泉は海路至便の距離にあつて広島市の観光に気軽く接続できる。これらはいずれも本市観光とタイアップされた広範囲な観光ルート圏を形成しており、四季を通じてこれら各地を巡遊する人がすこぶる多い。

本市の観光行政に協力するため、広島市観光協会が設けられ、観光誘致宣伝、市内観光ルート・ミス広島の選定及び観光客の案内等活発に活動している。

なお、本年4月より中国観光バス(株)が誕生して観光客の遊覧案内の業務を開始した。

広 島 名 産

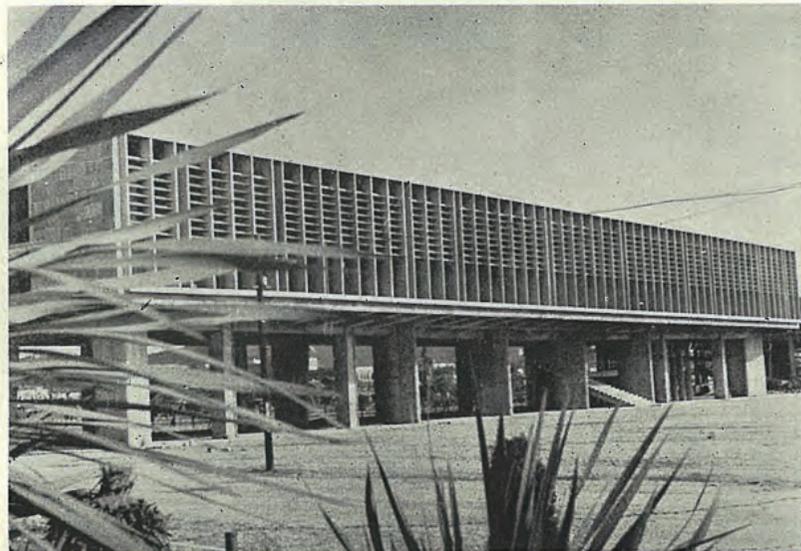
縫針 ミシン針 ゴム製品 缶詰 除虫菊製品 製線 和傘 仏壇木製品 機械工具
柿羊羹 味付海苔 のしかき 川魚料理 生牡蠣 広島菜 牡蠣めし 牡蠣船料理 清酒



観 光 施 設

平 和 記 念 館

幅員100米の平和大通りと爆心地との中間に建設中の本館は、東西に長い壮麗な鉄筋コンクリート建造物で、平和運動を推進するにふさわしい施設の一部である。完成の暁には



全長250米、最高20米、幅40米となる。現在建築されているのは原爆資料陳列館であるが、将来はこの建物の東側に平和文化運動事務室・研究討論会用の小会議室・美術展覧会場等に使用出来る会館等が建築され、西側には地元財界人の寄贈により2千余人を取容出来る日本有数の大公会堂が近く着工されることになっている。これらをつなぐ陳列館の階下は、平和大通りから慰霊碑のある平和記念公園に入る支関として巨大な支柱の間を通り抜けるようになることになっている。

旧産業奨励館

爆心地にあり、アトム広島の代表的被害記念物として残され、内外人の訪れは数知れず、その廃きよと化した容姿は恐るべき原爆の破壊力と惨禍を今日も如実に物語っている。



慰霊碑

瀬心地に近い中島の平和記念公園内にあり、昭和27年8月6日の式典において除幕式を行ったものである。この碑の中の石函には過ぐる昭和20年8月6日の原子爆弾に倒れた死没者を全国にわたって調査して判明した58,293柱の氏名を謹記された返去帳が安置奉納されている。この石函の正面には「安らかに眠つて下さい……」の辞句が刻み込まれ、年中世界各国の人々が訪れて敬けんな祈りを捧げている。毎年8月6日にはこの慰霊碑前でおそそかに慰霊式並びに平和記念式が行われる。



原爆資料館

基町中央公民館の北隣にあり、原爆被害に関する種々の貴重なる資料を一堂に集め、あの生々しい惨状の一部を一般来訪者の観覧に供して、当時の状況をしのばせている。本館の資料は永久に保存され、将来は中島の平和記念館内に移される予定である。

似島

広島港より船で約30分、金波銀波の瀬戸内海国立公園内に浮ぶ市内南端の島で、その山容美しく「安芸の小富士」の別称がある。戦時中は東洋一の陸軍検疫所があったが、現在戦災孤児育成所の似島学園があり、孤児達がこの健康的な環境で明朗に育っている。



不動院

市の北端牛田町の清流太田川に臨む閑静な環境にあり、天正2年僧行基の開基と伝えられ、豊臣時代安国寺恵瓊が豊太閤に請うて再建し不動院と称した。金堂は室町時代禅宗建築の傑作の一つに数えられ、木造薬師如来は藤原時代の典型的な作品であり、ぼん鐘とともに国宝である。



東照宮

二葉の里にあり、正保3年藩主浅野光晃の創建にかり、徳川家康の霊が祭つてある。境域5,300平方米、社殿は南面し石段5/段である。往時は社殿壮麗、祭礼儀式も極めて盛大であつた。

三滝観音道場

三滝町の山林中にあり、1千年の昔弘法大師唐国より帰朝の途次この地に立寄り、「聖観音菩薩」の種字を天然石に彫刻し巖くつに安置した。以来その靈験のあらたかなこと、四季山水の風致雅趣の深さにより、一般信徒のつえ引く者絶えず、現在は水害、原爆の被害により、道場の荒廃はなほだしので修築工事中である。



向 宇 品

瀬戸内海国立公園内にあり、植物学上貴重な資料を多く蔵し、山頂からは紺青の湾内に点在する風光明媚な島々や、躍動する広島港を一望のうちに展望することが出来る。また、夏には海水浴場が開設せられ、市民の身近ないこいの場所としても有名である。



千田廟と千田男爵銅像

往年日本の大玄関として名声のあつた宇品港は、明治17年時の県令千田貞暁によつて起工せられ、工費30余万円5カ年余の歳月を経て完成した。その後4年日清戦争とともに宇品港は重要基地となり、累次の戦役事変には陸軍輸送基地として、国運の進退に大いに寄与して来た。市民は千田県令の偉大なる業績をしのび、大正4年宇品町御幸通り北端に、高く広島湾の海波を眺める銅像を建立し、後に千田廟を祭り毎年4月盛大に千田祭を執行している。

広 島 城 跡

広島城は西国の雄毛利輝元が、京都聚楽第を模してこの地に天正19年2カ年の歳月を費して築造したもので鯉城、在間城、当磨城、石黒城等の別称があつた。明治27年日清戦争の時大本営が城内に設置され、続いて師団司令部が置かれていたが、5層の天主閣をはじめすべての建物は原爆により全壊焼失して、今では礎と築石が昔をしのばせている。



比治山公園

市の東部にあり、山容が虎のふした形に似ているので臥虎山の別称がある。面積16町余四季のながめを楽しめる丘陵公園であり、山頂より南面すれば広島湾の風光を、西面すれば市街の8割を展望出来る絶好の場所である。西側山腹には山陽文徳殿、頼家の墓及び多聞院があり、南側山頂にはA.B.C.C(原爆傷害調査委員会)がある。



山陽文徳殿

比治山公園山腹にあり、漢学者頼山陽の百年祭を記念するために昭和9年10月15日本市が創建したものである。



頼家の墓

頼家一門の墓は多聞院附近にある。山陽の父春水・長男津庵・叔父杏平等朱子学学者として藩主に仕えた人々及び母梅子等20数基に上るが山陽・三樹三郎の墓はここにはない。



縮景園

上流川町北端にあり、旧藩主浅野家の別邸で「泉邸」として通っている。元和6年に浅野長晃が起工し、後累代の藩主が規模を広め修補した。浅野重晟の時、園池を中華民国の杭州西湖の景に模して面目を更新した。境



として遊ぶ人が多い。

長寿園

市の北端、太田川の清流に沿う約300米の堤で桜樹多く、花見の名所として有名である。



域4町余坪あり、奇石珍木の配置は巧妙を極め、ちまたの雑念を一時忘却しなから幽境に遊ぶ感があり、行楽の人々にぎわっている。

広島遊園地

仁保町本浦の山腹にあり、春は桜とつつじ、秋は藤の名所

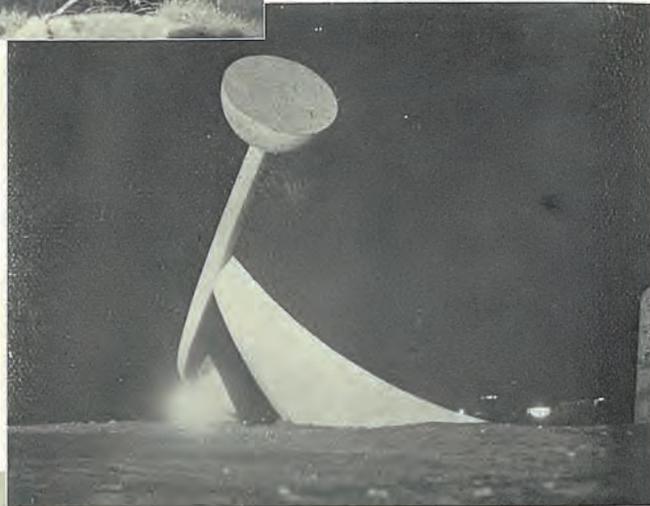
東亞殉道無名士女之碑

本市新川場町の本照寺境内に満蒙同胞援護会広島県支部（支部長 本照寺住職 寛義章氏）によつて昭和28年3月31日建立・除幕式を行い、同時に碑の内部に大東亜戦争並びに原爆による行方不明者の氏名を謹記した小石を納入、入魂式を挙げる。その碑には極東軍事裁判にインド代表として出席し、唯一人日本無罪論を主張したダビノール・パール博士によつてベンガル語碑文が刻み込まれている。



平和大橋

百米道路が貫く中島の東側、元安川にかかる平和大橋と、西側の本川にかかる西平和大橋の欄干とともにイサム野口氏



の設計によるもので、その新たな感覚によるデザインは盛り上がりつつある平和都市にふさわしい逸作である。

広島音頭

ピカで焼けよが 涙が降ろが

こころ広島 元気で伸びる

伸びるみどりの二葉山

ソウトモ ソウトモ ソヂヤナイカ

来い来い見に来い 寄つて来い

お城の鯉なら はねて来い

宇品朝霧 宮島夜霧

ぬれて広島 色ますものを

なぜにあなたは ひと夜ぎり

ソウトモ ソウトモ ソヂヤナイカ

来い来い見に来い 寄つて来い

お城の鯉なら はねて来い



第25編 附 録

広島よいとこ

一、春の堤は桜花

会うて別れる七筋が

シヤンシヤンシヤンときて太田川

こころ広島のお兄さんだよ

ヤットコドンときてドンと踊れ

二、たまに逢瀬はせかれても

相生橋ならまた会える

シヤンシヤンシヤンときて橋の上

粹なあの娘のめぐりあいだよ

ヤットコドンときてドンと踊れ

三、出舟入舟泊り舟

あかぬ別れに夜があける

シヤンシヤンシヤンときて夜があける

瀬戸は音戸の煙雨だよ

ヤットコドンときてドンと踊れ

四、安芸は宮島殿島

鹿の鳴く音がきさそら

シヤンシヤンシヤンときて気もそぞろ

ひいたみくじは大吉だよ

ヤットコドンときてドンと踊れ

五、夜は金座か新天地

踊るあの娘の流し眼に

シヤンシヤンシヤンときて気が踊る

あれは広島のお嬢さんだよ

ヤットコドンときてドンと踊れ

市 施 設 一 覽

名 称	所 在 地	電 話	名 称	所 在 地	電 話
市 役 所	国泰寺町	南 { 0101 1112	園 芸 指 導 所	庚午北町	—
(出 張 所)			中央卸売市場	水主町	西 2041
東 京 出 張 所	千代田区日比谷公園市政会館内	—	(厚 生 局)		
三 篠 〃	打越町	西 2553	東 公 益 質 屋	稲荷町	—
牛 田 〃	牛田町	中 3252	西 〃	天満町	—
尾 長 〃	愛宕町	南 3793	東 鱗 保 館	尾長町	南 1036
基 町 〃	八丁堀	中 2750	西 〃	福島町	西 1472
十日市 〃	榎町	西 2218	東鱗保館保育園	尾長町	南 1036
己 斐 〃	己斐町	西 2327	西 〃 〃	福島町	西 1472
草 津 〃	草津東町	西 4524	青 崎 〃	仁保町字洋	(呼)南3802
観 音 〃	観音本町	西 1936	仁 保 〃	仁保町淵崎	(呼)南1831
舟 入 〃	江波町	西 1621	楠 那 〃	仁保町楠那	(呼)南1618
段 原 〃	段原大畑町	南 4052	大 河 〃	仁保町大河	(呼)南0322
比治山 〃	東雲町	南 3792	元 宇 品 〃	元宇品町	(呼)南1910
青 崎 〃	仁保町青崎	南 3802	南 観 音 〃	南観音町2丁目	(呼)西0236
仁 保 〃	仁保町淵崎	南 1831	基 町 〃	基町	(呼)西0277
大 河 〃	旭町	南 3794	己 斐 〃	己斐上町	(呼)西2943
皆 実 〃	皆実町3丁目	南 3801	草 津 〃	草津東町	(呼)西4391
宇 品 〃	宇品町	南 5896	江 波 〃	江波南町	(呼)西4474
似 島 〃	似島町	似島 26	神 崎 〃	河原町	(呼)西2400
(総 務 局)			竹 屋 〃	竹屋町	(呼)南5536
競輪競馬事務局	宇品町	南 4530	古 田 〃	古田町高須	(呼)西3501
児童文化会館	基町	西 3425	三 篠 〃	楠木町3丁目	(呼)西1219
(産 業 局)			こ ぼ と 〃	宇品町13丁目	(呼)南0533
商工相談所	国泰寺町	南 0101	庚 午 〃	庚午北町2丁目	—
観光案内所	松原町(広島百貨店内)	南 1877	わかくさ 〃	若草町	—
工芸指導所	東雲町	南 0527	南 三 篠 〃	南三篠町	南 0220
家畜市場	福島町	西 2717	千 用 〃	千田町2丁目	南 3921

保養院	宇品町/3丁目	南	1345	水道局市役所受付	国泰寺町	南	{ 0101 / 1112
喜生園	佐伯郡観音村	五日市	2/	原取水場	安佐郡祇園町	中	0689
産院	宇品町/3丁目	南	1345	拡張事務所	牛田町	中	4409
乳児院	"	"	"	宇品港湾事務所	宇品町	中	5/22
東診療所	尾長町	南	1036	已斐調整場	已斐町	西	0253
西 "	福島町	西	1472	比治山 "	比治山町	中	5888
母子寮	基町	西	0277	元宇品 "	元宇品町	南	30/8
身体障害者授産場	江波町	一		向洋加圧ポンプ所	安芸郡府中町	南	3308
戦災児育成所	佐伯郡五日市町	五日市	64	大河 "	仁保町大河	一	
福祉事務所	国泰寺町	南	0101	(消防局)			
向西館	中広町	西	0749	消防局	大手町8丁目	西	42/1
と畜場	福島町	西	1452	東消防署	段原大畑町	南	5/81
東保健所	富士見町	南	1151	西 "	大手町8丁目	西	0269
西 "	東観音町	西	0170	(選挙管理委員会事務局)			
社会保険広島市民病院	基町	中	2432	選挙管理委員会事務局	国泰寺町	南	{ 0101 / 1112
舟入病院	舟入幸町	西	{ 0170 / 0171	(教育委員会事務局)			
中央診療所	舟入幸町	"	"	教育委員会事務局	国泰寺町	南	5542
(建設局)				浅野図書館	比治山本町(山陽支店内)	(呼)南	1939
港湾事務所(市営棧橋)	宇品町	南	1098	中央公民館	基町	西	2552
広島海員会館	"	南	4908	児童図書館	"	一	
東部復興事務所	基町	西	1506	(監査事務局)			
(水道局)				監査事務局	国泰寺町	南	{ 0101 / 1112
水道局(総務・会計・給水・施設課)	基町	中	2201~5	(市議会事務局)			
牛田浄水場(浄水課)	牛田町	中	0072	市議会事務局	国泰寺町	南	1656

主要官公署

名称	所在地	名称	所在地
(県庁関係)		広島県税事務所	霞町
広島県庁	霞町	広島県消防学校	"
広島県議会事務局	"	広島中央児童相談所	基町

広島県衛生研究所	宝町	広島地方裁判所	基町
広島社会保険出張所	鷹匠町	広島家庭裁判所	"
広島県食品工業試験場	比治山本町	広島簡易裁判所	"
広島県水産試験場	草津南町	(法務局)	
広島耕地出張所	尾長町	広島高等検察庁	基町
広島第一総合公共職業補導所	宇品町8丁目	広島地方検察庁	"
広島第二公共職業補導所	霞町	広島地方区検察庁	"
広島身体障害者公共職業補導所	宇品町8丁目	広島法務局	"
広島公共職業安定所	基町	中国公安調査局	上流川町
広島土木出張所	"	広島矯正保護管区本部	吉島町
広島港事務所	宇品町	広島少年鑑別所	宇品町
広島復興事務所	基町	広島保護観察所	"
広島県教育委員会事務局	霞町	広島拘置所	基町
広島県教育研究所	雑魚場町	広島刑務所	吉島町
広島県選挙管理委員会事務局	霞町	(厚生省)	
広島県人事委員会事務局	"	中国医務出張所	宇品町
広島県農業委員会事務局	"	中国地区麻薬取締官事務所	霞町
広島県地方労働委員会事務局	"	中部復員連絡局広島支部	仁保町
安芸海区漁業調整委員会事務局	宇品町	広島検疫所	宇品町
広島県監査委員事務局	霞町	(農林省)	
広島県警察本部	"	広島食糧事務所	南蟹屋町
広島県警察学校	"	広島食糧事務所(広島出張所)	水主町
広島県広島市東警察署	稲荷町	内海区水産研究所	宇品町
広島県広島市西警察署	大手町/丁目	広島営林署	基町
広島県宇品警察署	宇品町	広島統計調査事務所	皆実町
(総理府)		広島統計調査事務所(広島出張所)	水主町
人事院広島地方事務所	基町	神戸植物防疫所広島支所	宇品町
広島管区監察局	"	(労働省)	
下関入国管理事務所(広島出張所)	宇品町	広島労働基準局	霞町
(最高裁判所)		広島労働基準監督署	基町
広島高等裁判所	基町	広島婦人少年室	霞町

(建設省)	
中国四国地方建設局	霞町
広島国道工事事務所	仁保町
太田川工事事務所	基町
広島営繕工事事務所	霞町
(文部省)	
教育施設部	
広島工事事務所	千田町
(通商産業省)	
広島通商産業局	基町
広島鉱山保安監督部	〃
工業技術院電気試験所	三篠本町
広島支所	
(大蔵省)	
中国財務局	霞町
広島国税局	〃
国税庁広島監察官室	〃
国税庁広島監督官室	〃
広島東税務署	大手町
広島西税務署	水主町
広島税関支署	宇品町
(運輸省)	
中国海運局	宇品町
広島陸運局	二葉の里
広島陸運事務所	〃
第六管区海上保安本部	宇品町
広島海上保安部	〃
広島地方気象台	江波町
広島港工事事務所	宇品町
(日本国有鉄道)	
広島鉄道管理局	二葉の里
中国地方自動車事務所	〃
広島地方資材部	〃

広島	島	駅	松原町
横	川	駅	横川町
己	斐	駅	己斐町
宇	品	駅	宇品町
(郵政省)			
中国電波管理局			宇品町
広島郵政監察局			基町
広島郵政局			〃
広島地方貯金局			千田町
広島郵便局			基町
広島駅前郵便局			松原町
広島鉄道郵便局			大須賀町
宇品郵便局			宇品町
(日本専売公社)			
広島地方局			皆実町
広島出張所			富士見町
(国家地方警察)			
中国管区監察局			霞町
(日本電信電話公社)			
中国電気通信局			基町
広島電気通信部			東白島町
中国電気通信資材配給局			基町
広島電話局			下中町
広島西電話局			北覆町
広島南電話局			国泰寺町
広島電報局			基町
広島駅前電報局			松原町
宇品電報局			宇品町
広島搬送通信部			比治山本町
広島無線通信部			基町
広島電信施設所			〃
広島統制電話中継所			比治山本町
二葉無線中継所			二葉の里

主要商工業事業所

事業所名	所在地	事業内容
(商 業)		
株式会社ヒロスイ	草津南町	鮮魚
中国石油株式会社	舟入川口町	石油
山陽木材防腐株式会社広島出張所	〃	防腐加工木材
株式会社福屋	八丁堀	百貨店
株式会社広島天満屋	鉄砲町	〃
マツダモーターズ株式会社	〃	自動三輪車
東芝商事株式会社広島支店	〃	電気器具
株式会社セビロヤ洋服店	堀川町	洋服
十和株式会社	京橋町	織維製品
広島食糧協同組合	桐木町	主食
株式会社広島ダイハツ商会	〃	自動三輪車
広島百貨株式会社	松原町	百貨店
広島駅弁当株式会社	〃	駅弁当
広島いすゞ自動車株式会社	西蟹屋町	自動車
米田物産株式会社広島支店	中島本町	タイヤ・チューブ
株式会社管野商店	吉島羽衣町	金物
砂谷酪農協同組合直営	大手町	牛乳
広島県織維製品商業協同組合	西魚屋町	織維製品
中国石炭株式会社	研屋町	石炭
株式会社小田政商店	〃	織維製品
山陽モーターズ株式会社	千田町	自動車
広島日産自動車株式会社	三篠本町	〃
広島トヨタ自動車株式会社	広瀬北町	〃
日本食堂株式会社広島営業所	松原町	食堂
株式会社ポーラ化粧品 広島支店	上柳町	化粧品
(工 業)		
西美電気工業株式会社	東蟹屋町	強電器具
藤野綿業株式会社	〃	綿

個人立	島 病 院	45	外 科	細工町
市 立	広島市保養院	4/	内 科	宇品町 1,200
会社附属	中電病院	4/	各 科	大手町 7丁目
個人立	広島脳病院	4/	精神科	白島西中町
〃	土谷病院	42	{ 耳鼻科	大手町 8丁目
〃	大内病院	33	外科	〃 7丁目
〃	植田病院	3/	産婦人科	立 町
法人立	比治山病院	30	精神科	東雲町
個人立	杉本病院	30	眼 科	大手町 7丁目
〃	原田病院	29	外 科	広瀬元町
〃	永田病院	27	{ 内産婦人科	古田町 古江
〃	岡本病院	26	外 科	基 町 /
〃	更生堂病院	25	〃	轅 町
会社附属	日鋼病院	22	全 科	仁保町
個人立	竹内病院	22	外 科	宇品町 537
〃	武市病院	2/	〃	荒神町
〃	網本病院	2/	産婦人科	国泰寺町 80
国立	日本専売公社広島病院	20	{ 内外科	皆実町 / 丁目
市 立	広島市立産院	20	〃	宇品町 1,134
個人立	平和病院	20	{ 産婦人科	猿楽町
〃	水野病院	20	耳鼻科	研屋町
〃	中村病院	20	内 科	東観音町
〃	中山病院	20	{ 小児科	段原新町
〃	藤井病院	20	{ 産婦人科	塩屋町
〃	大下病院	20	外 科	小網町
〃	吉崎病院	20	〃	段原末広町
〃	秋山病院	20	産婦人科	横川町
〃	沢崎病院	20	〃	段原大畑町
〃	井植病院	20	〃	上流川町
〃	正岡病院	20	〃	猫屋町
〃	真田病院	20	〃	皆実町 2丁目
〃	坪井病院	20	皮膚科	上流川町

備考 病床数20床以上の病院

度量衡換算表

寸	尺	間	町	里	種	米	料	時	呎	碼	鎮	哩
1	0.1	0.01667	0.00028	0.00001	3.03030	0.03030	0.00003	1.19303	0.09942	0.03314	0.00151	0.00002
10	1	0.16667	0.00278	0.00008	30.30303	0.30303	0.00030	11.9303	0.99419	0.33140	0.01506	0.00019
60	6	1	0.01667	0.00046	181.818	1.81818	0.00182	71.5820	5.96516	1.98839	0.09038	0.00113
3600	360	60	1	0.02778	10909.1	109.091	0.10909	4294.92	357.910	119.303	5.42288	0.06779
129600	12960	2160	36	1	392727	3927.27	3.92727	12884.8	12884.8	4294.92	195.224	2.44029
0.33	0.033	0.0055			1	0.01	0.00001	0.39370	0.03281	0.01094	0.00050	0.00001
33	3.3	0.55	0.00917	0.00025	100	1	0.001	39.3701	3.28084	1.09361	0.04971	0.00062
33000	3300	550	9.16667	0.25463	100000	1000	1	39370.1	3280.84	1093.61	49.7097	0.62137
0.83820	0.08382	0.01397	0.00023	0.00001	2.54	0.0254	0.00003	1	0.08333	0.02788	0.00126	0.00002
10.0584	1.00584	0.16764	0.00279	0.00008	30.48	0.3048	0.00030	12	1	0.33333	0.01515	0.00019
30.1752	3.01752	0.50292	0.00838	0.00023	91.44	0.9144	0.00091	36	3	1	0.04545	0.00057
663.854	66.3854	11.0642	0.18440	0.00512	2011.68	20.1168	0.02012	792	66	21	1	0.01250
53108.4	5310.84	885.139	14.7523	0.40979	160934	1609.34	1.60934	63360	5280	1760	80	1
寸	尺	間	町	里	種	米	料	時	呎	碼	鎮	哩

面積

平方尺	坪	畝	段	町	平方里	平方米	アール	ヘクタール	平方料	平方呎	平方碼	エーカー	平方哩
平方尺	10.027780	0.000930	0.000090	0.00001		0.091830	0.000920	0.00001		142.3330	0.988420	0.09820	0.00002
坪	36.0000	10.033330	0.033330	0.00033		3.305790	0.033060	0.00033		5123.9835	58323.953690	0.00082	
畝	10800.0	30	1	0.1	0.01	99.173600	0.991740	0.009920	0.00010	153720	1067.50	118.61	0.02450
段	1800.0	300	10	1	0.1	0.000060	0.9917350	0.099170	0.00099	10675.0	1186.1	0.245070	0.00383
町	108000	3.000	100	10	0.000640	9917.3699	17350.99	1740.00992		106750	1186.1	2.450665	9.95504
平方里		155520	15552	1555.2	1	154235	1542.35	15.4235				381.22	
平方米	10.89000	0.302500	0.010080	0.001010	0.00010	1	0.01	0.0001		1550.00	10.7639	0.195990	0.000250
アール	108930.2500	1.008330	100830.01008			100	1	0.0001	0.0001	155000	1076.39	19.5990	0.02471
ヘクタール				1.00833		100	1						0.38610
平方料	302500	10083.3	1008.33	100.8330	0.06484					10.006940	0.00077	247.106	
平方呎	0.007030	0.000200	0.00001			0.00065				143.090	10.1111	0.00002	
平方碼	1.011710	0.028100	0.000940	0.000090	0.00001	0.092900	0.000930	0.00001		1295.09	9	10.00021	
エーカー	9.105420	0.252930	0.008430	0.000840	0.00008	0.836130	0.008360	0.00008		43560	4840	10.00156	1
平方哩	44070.2	1224.1740	80574.08057	4.080570	0.00026	4046.8540	46850.40	4690.00405				647.630	
	783482.6	1163261	63261	63261	1630	16793	25899.9258	9992.58999					

立積及び容量

合	升	斗	石	立方寸	立方尺	立方坪	立方米	立	ガロン	英ガロン	立方呎	立方碼
合	1	0.1	0.01	0.001	6.482700	0.006480	0.00003	180.39	0.000180	0.03968	11.0081	0.006370
升	10	1	0.1	0.01	64.82700	0.064830	0.00030	1803.9	0.001801	0.39682	110.081	0.063700
斗	100	10	1	0.1	648.2700	0.648270	0.00300	18039.1	0.01804	3.96816	1100.81	0.637040
石	1000	100	10	1	6482.70	6.482700	0.03001	180391.80	0.018039	39.6816	11008.1	6.370440
立方寸	0.154260	0.015426	0.001542	0.000154	15.426	0.154260	0.001542	154.26	0.001542	1.5426	15.426	0.001542
立方尺	154.257	15.4257	1.54257	0.15426	1000	10.00463	27826.50	0.27832	782657.350946	12112	698.080	982680.03640
立方坪	33319.5333	3331.95333	333.19533	33.3195	216000	216	1	6.01052	6010.52	1587.81	1322.16	3667842
立方碼	0.005540	0.000554	0.000055	0.000005	0.035940	0.00004	1	0.001	0.00020	0.000220	0.061020	0.00004
立方米	5543.52554	554.35255	55.43525	5.54352	35937.0	359.3700	3593.70	359.37	35937.0	35937.0	3593.70	359.37
立	5.543520	0.554352	0.055435	0.005543	55.4352	0.554352	0.005543	5.54352	0.005543	0.055435	0.554352	0.005543
ガロン	20.98642	0.98642	0.209864	0.020986	209.8642	2.098642	0.020986	20.98642	0.020986	0.209864	2.098642	0.020986
英ガロン	25.20062	2.520062	0.252006	0.025200	252.0062	2.520062	0.025200	25.20062	0.025200	0.252006	2.520062	0.025200
立方呎	0.090840	0.009084	0.000908	0.000090	0.588900	0.00059	1	16.3871	0.00020	0.004330	0.00361	10.000580
立方碼	156.975	15.6975	1.56975	0.156975	1569.75	15.6975	0.156975	156.975	1.56975	15.6975	156.975	1.56975
	4238.35423	423.83542	42.38354	4.23835	27475.827	47580.12720	764556.0	764557.64	556201.973	168.179	46656	27

分	包	100分	斤	貫	匁	カラット	瓦	匁	グラム	オンス	封度	英吋	米	吋
分	1	0.1	0.0010.00063	0.0001	375	1.875	0.3750.00038		5.78704	0.013230.00083				
包	10	1	0.010.00625	0.001	3750	18.75	3.750.00375		57.87040	0.132280.00827				
100包	1000	100	1	0.625	37.50	1875	375	0.375	5787.04	13.228	0.827			
斤	1600	160	1	0.16	600000	3000	600	0.6	0.00069259.2621.1640	1.322750.000590.00066				
貫	10000	1000	6.25	1	18750	18750	3750	3.750.00375	57870.4	132.2758.267200.003690.00413				
匁	0.002670.00027				1	0.005	0.001		0.015430.00004					
カラット	0.533330.05333	0.000530.00033	0.000330.00005		200	1	0.2	0.0002	3.086420.00705	0.00044				
瓦	2.666670.26667	0.002670.00167	0.00027		1000	5	1	0.001	15.43210.03527	0.00220				
匁	2666.67	266.667	2.66667	1.66667	0.26667	5000	1000	1	0.0015432.135.27342.204590.000980.00110					
匁		266667	2666.67	1666.67	266.667			1000	35273.42204.590.984191.10229					
グラム	0.172800.01728	0.000170.00017	0.000170.00002		64.80.32425		0.06480.00007		10.002290.00014					
オンス	75.60007.56000	0.075600.04725	0.00756		28350141.75028.35030.028350.00003	437.5	1	0.06250.000030.00003						
封度	1209.63120.963	1.209630.75600	0.12096		453600	2268	453.6	0.45360.00045	7000	16	10.000450.00050			
英吋		2709502709.50	1693.44270.950					1.01606					1.12	
米		24.19202419.20	1512.00241.920					907.1780.90718					32000	20000.89286

全国都市一覧表 (昭.29.4.1現在)
(◎印=県庁所在地)



北海道地方

- ◎ 1 札幌市
- 2 函館市
- 3 小樽市
- 4 旭川市
- 5 釧路市
- 6 帯広市
- 7 北見市
- 8 夕張市
- 9 岩見沢市
- 10 網走市
- 11 苫小牧市
- 12 苫小牧市
- 13 美内市
- 14 美内市
- 15 美内市
- 16 別府市

東北地方

青森県
◎ / 青森市 弘前市 八戸市

秋田県
◎ / 秋田市 能代市 横手市 大館市

山形県
◎ / 山形市 米沢市 鶴岡市

5 潟西市
6 男鹿市
7 本荘市

4 酒田市
5 新庄市

岩手県
◎ / 盛岡市 石巻市 古川市 奥州市

宮城県
◎ / 仙台市 石巻市 塩釜市

福島県
◎ / 若松市 福島市 郡山市 白河市 原町市

7 喜多方市
8 相馬市
9 須賀川市
10 磐城市
11 常磐市



関東地方

群馬県
◎ / 前橋市 桐生市 高崎市 伊勢崎市 太田市

埼玉県
◎ / 川越市 越谷市 熊谷市 河口市 浦和市 大宮市

東京都
◎ / 八王子市 立川市 武蔵野市

神奈川県
◎ / 横浜市 横須賀市 川崎市 平塚市

6 林市
7 沼田市
8 富岡市
9 藤岡市
10 渋川市

6 行田市
7 秩父市
8 所沢市
6 飯沼市

4 三鷹市
5 青梅市
6 府中市

5 鎌倉市
6 藤沢市
7 小田原市
8 茅ヶ崎市

栃木県
◎ / 宇都宮市 足利市 栃木市 佐野市

茨城県
◎ / 水戸市 日立市 土浦市 古河市 石岡市

千葉県
◎ / 千葉市 銚子市 船橋市 木更津市 野田市 佐原市 茂原市 佐倉市 成田市 東金市



中国地方



山口県
 1 下野市
 2 宇部市
 3 山口市
 4 山陽市
 5 徳山市
 6 防府市
 7 松山市

山口市
 8 岩国市
 9 小野市
 10 光市
 11 長門市
 12 柳井市
 13 美祿市

鳥根県
 ◎ 1 萩市
 2 浜田市
 3 雲田市
 4 田原市

市市市市市市
 5 大田市
 6 安来市
 7 江津市

広島県
 ◎ 1 広島市
 2 尾道市
 3 呉市
 4 福山市
 5 三原市

市市市市市市

6 因幡市
 7 松原市
 8 府中市
 9 三庄市
 10 庄原市

鳥取県
 ◎ 1 鳥取市
 2 米子市
 3 倉吉市

岡山県
 ◎ 1 岡山市
 2 倉敷市
 3 津山市
 4 玉野市
 5 児島市

市市市市市市
 6 玉野市
 7 笠岡市
 8 西大寺市
 9 井原市
 10 総社市

四国地方



愛媛県
 ◎ 1 松山市
 2 今治市
 3 宇和島市

市市市市市市
 4 八幡浜市
 5 新居浜市
 6 西条市

高知県
 ◎ 1 高知市
 2 中村市
 3 宿毛市

香川県
 ◎ 1 高松市
 2 丸亀市
 3 坂出市
 4 善通寺市

徳島県
 ◎ 1 徳島市
 2 鳴門市
 3 小松島市

九州地方

福岡県
 ◎ / 1 佐賀市 市
 2 唐津市 市
 3 伊万里市 市
 長崎県
 ◎ / 1 長崎市 市
 2 佐世保市 市
 3 島原市 市
 4 諫早市 市
 5 大村市 市
 6 福江市 市

鹿島市 市
 武生市 市
 鳥栖市 市



奄美大島(鹿児島県)



熊本県
 ◎ / 1 熊本市 市
 2 八代市 市
 3 人吉市 市
 4 荒尾市 市
 鹿児島県
 ◎ / 1 鹿児島市 市
 2 川内市 市
 3 鹿屋市 市
 4 枕崎市 市
 5 串木野市 市

市 市 市 市
 侯名渡山鹿
 5 6 7 8
 市 市 市 市
 6 7 8 9 10
 市 市 市 市 市 市

福岡県
 ◎ / 1 福岡市 市
 2 久米市 市
 3 門司市 市
 4 小倉市 市
 5 若松市 市
 6 大牟田市 市
 7 八幡市 市
 8 畑市 市
 9 方谷市 市
 10 飯塚市 市
 11 田川市 市
 12 柳川市 市
 13 入女市 市
 14 築後市 市
 15 甘木市 市
 16 山田市 市
 17 大川市 市

大分県
 ◎ / 1 大分市 市
 2 別府市 市
 3 中津市 市
 4 日田市 市
 5 佐伯市 市
 宮崎県
 ◎ / 1 宮崎市 市
 2 都城市 市
 3 延岡市 市

市 市 市 市
 6 杵臼市 市
 7 津久市 市
 8 久田市 市
 9 竹崎市 市

市 市 市
 4 日向市 市
 5 小南市 市
 6 日向市 市



昭和29年11月5日 印刷
 昭和29年11月30日 発行

編集 広島市 総務局 調査課
 発行所 広島市 役所
 広島市 国泰寺町 39番地
 電話 南④0101・1112
 印刷所 広鉄印刷株式会社
 広島市 東雲屋町 117
 電話 南④1643・6149
 [非売品]

